

令和 3 年度「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」における
アンケート調査業務
報告書

愛知県芸術劇場
2022 年 1 月

目次

1 調査概要	1
(1)調査の目的	1
(2)調査の内容・方法	1
ア 来場者アンケート調査	1
イ 関係者アンケート調査	4
2 来場者アンケート調査の結果	9
(1)アンケート回収状況	9
(2)各公演の結果	13
ア 【オケフェス】愛知県芸術劇場(中部フィルハーモニー交響楽団)	13
イ 【オケフェス】岐阜市サラマンカホール(セントラル愛知交響楽団)	20
ウ 【オケフェス】武豊町民会館(名古屋フィルハーモニー交響楽団)	28
エ 【オケフェス】長久手市文化の家(愛知室内オーケストラ)	37
オ 「トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学」	42
カ 「DaBY アソシエイトコレオグラファー鈴木竜トリプルビル」	50
キ 【久屋ぐるっとアート連携プロジェクト】クラウン・マイム、人形劇	57
ク 【久屋ぐるっとアート連携プロジェクト】金管五重奏演奏会	62
(3)来場者アンケートの考察	67
ア 回答者のおおまかな属性	67
イ 行政区域を越えた回答者と初来場の回答者	67
ウ 回答者のライブエール来場の動向	69
エ 新型コロナウイルス感染症と舞台芸術鑑賞の動向	70
3 関係者アンケート調査の結果	73
(1)市町ホール担当者	73
ア 岐阜市サラマンカホール	73
イ 長久手市文化の家	74
ウ 武豊町民会館	75
エ 春日井市民会館	76
オ 幸田町民会館	77
(2)実演芸術等の民間事業者	78
ア Dance Base Yokohama	78
イ ダンスハウス黄金 4422	79
ウ 愛知人形劇センター	80
エ Hisaya-odori Park	80
(3)制作事務等担当者	81
ア クラシック名古屋	81
イ DECORATION LABORATORY	81
(4)関係者アンケートの考察	82
ア 連携によるメリット、デメリット	82
イ 今後の連携や愛知県芸術劇場への期待	83
ウ 制作事務等担当者からみた本事業	86
4 事業効果、連携・支援をめぐって	87

【資料】 各公演 来場者アンケート 質問票.....	89
----------------------------	----

1 調査概要

(1) 調査の目的

愛知県芸術劇場では、令和3年度文化庁助成「大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業」の地域連携型「公益社団法人日本芸能実演家団体協議会」による「JAPAN LIVE YELL project」に係る、地域企画の実施運営を受託している。新型コロナウイルス感染症の拡大は2021（令和3）年になっても落ち着くことはなく、舞台芸術の分野では活動は再開していても感染拡大の波に翻弄される日々が続いている。こうした状況のなかで、「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」事業は、「コロナ禍からの舞台芸術復興」をテーマに多くの施設・団体と連携し、多様な事業を展開することでニーズを掘り起こして圏域内を再活性化すること、そして新型コロナウイルス感染症の終息後も、「連携」をキーワードに愛知県・中部地区の新たなプラットフォームの形成に繋げることを狙っている。

本調査では「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」の対象事業について、来場者を対象としたアンケート調査と、事業遂行にあたる関係者を対象としたアンケート調査を行う。この2つの調査を通じ、舞台芸術の潜在的なニーズや来場者の「コロナ下」「コロナ後」の舞台芸術の鑑賞動向、連携をはじめとした関係者の考え方を把握し、事業効果及び、今後の地域における舞台芸術振興のあり方検討のための、一材料を提供することを目的とする。

(2) 調査の内容・方法

来場者を対象としたアンケート調査と、事業遂行にあたる関係者を対象としたアンケート調査は、以下のように行う。

ア 来場者アンケート調査

(ア) 対象

対象公演は「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」の以下全公演である。

■あいちオーケストラフェスティバル2021

- ・愛知県芸術劇場（中部フィルハーモニー交響楽団）10/15
- ・岐阜市サラムンカホール（セントラル愛知交響楽団）11/4
- ・長久手市文化の家（愛知室内オーケストラ）11/21
- ・武豊町民会館（名古屋フィルハーモニー交響楽団）1/7

■愛知県芸術劇場のダンス公演

- ・トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学 10/1-3
- ・愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohama×ダンスハウス黄金 4422 連携プロジェクト DaBY アソシエイトコレオグラファー鈴木竜トリプルビル 12/3-5

■久屋ぐるっとアート2021連携プロジェクト

- ・クラウン・マイム、人形劇（@愛知県芸術劇場）11/6
- ・金管五重奏演奏会（@Hisaya-odori Park）11/6-7

これら全公演の来場者を対象とする。

本報告書では公演名の表記は、公演名の一部を使用することがある。また、「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」は「ライブエール事業」、「あいちオーケストラフェスティバル 2021」は「オケフェス」と表記することがある。

（イ）質問内容

アンケートの質問は、（Ⅰ）属性について（Ⅱ）公演について（Ⅲ）劇場について（Ⅳ）新型コロナウイルス感染症についての4種類とする。（Ⅰ）属性は、性別や年齢、居住地などの一般的な来場者情報とし公演における来場者の傾向を把握する。（Ⅱ）公演は、来場動機や内容満足度など、来場した公演にかかわる情報で、（Ⅲ）劇場は、来場した劇場の来場回数や普段劇場で鑑賞する公演ジャンルなど、来場者の劇場との関わりを聞く項目である。（Ⅰ）から（Ⅲ）により、公演来場者の属性の傾向や今後のニーズなどの把握に繋げる。（Ⅳ）は、新型コロナウイルス感染症に特化した項目で、屋内の公演については劇場の感染症対策の満足度を聞く。そして、全公演を対象に、感染拡大を受けてのホール・劇場等での公演鑑賞の動向を聞くこととする。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の2021年以降の状況を確認する。感染拡大の波は2021年1月に第3波（愛知県に2回目の緊急事態宣言）、5月に第4波（愛知県に3回目の緊急事態宣言）が到来した。そして東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されていた8月には第5波が到来し、愛知県では「まん延防止等重点措置（3回目）」が8月から9月まで適用された。そして、新たな変異株オミクロン株により、2022年の1月は第6波がこれまでにない規模で到来し、愛知県にも「まん延防止等重点措置（4回目）」が適用される状況であった。

令和3年度のライブエール事業は、2021年の10月1日から始まり、11月、12月、そして最後が2022年の1月7日であるため、感染拡大の波の最中にはいずれもあらず、またワクチン接種が進んだこともあってか、コロナ禍にあっても比較的感染状況は落ち着いていたと言えるかもしれない。

新型コロナウイルス感染拡大が来場者の公演鑑賞動向にいかに影響したかを把握するために、本調査では、来場者の記憶に新しい、感染拡大の第4波と第5波が到来した2021年4月から9月までの6ヶ月のコロナ下の期間について、ホール・劇場等での公演鑑賞の回数やオンライン配信の視聴利用の経験を聞くこととする。また、ライブでの公演鑑賞は、2019年の4月から9月のコロナ以前の6ヶ月の期間と比較した回数変化も聞く。そして、今後コロナ禍がしばらく続く場合、またコロナが終息した場合の鑑賞方法を聞く。これらの項目により、コロナ感染症をめぐって回答者の舞台芸術の鑑賞動向を公演ごとに把握し、今後の新たな公演鑑賞スタイルの検討に繋げる。

（ウ）質問項目と方法

公演ごとの質問項目は次の表の通りである。（1）～（4）の種類で合計A～Xまで24項目とする。公演によって項目を設定した（該当するものに○）。なお、各アンケートの質問項目は質問票として巻末に掲載している。

来場者アンケートの質問項目一覧

質問項目／種類		事業名	フォー エス ティ バル	ダンス の 系譜学	鈴木 トリ プル ビル	久屋 ぐる っと アート
A	公演日	(Ⅱ) 公演		○	○	
B	性別	(Ⅰ) 属性	○	○	○	○
C	年齢	(Ⅰ) 属性	○	○	○	○
D	居住地	(Ⅰ) 属性	○	○	○	○
E	職業	(Ⅰ) 属性	○	○	○	○
F	在勤地	(Ⅰ) 属性	○	○	○	○
G	公演情報入手先 ※1	(Ⅱ) 公演	○	○	○	○
H	内容満足度	(Ⅱ) 公演	○	○	○	○
I	チケット価格満足度	(Ⅱ) 公演	○	○	○	
J	来場動機 ※1	(Ⅱ) 公演	○	○	○	○
K	感想・要望	(Ⅱ) 公演	○	○	○	○
L	劇場来場回数	(Ⅲ) 劇場	○	○	○	
M	よく鑑賞に出かける公演ジャンル ※1	(Ⅲ) 劇場	○	○	○	○
N	劇場のコロナ対策	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	
O	対策が十分でないと感じた場合の理由	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	
P	コロナ禍のホール公演鑑賞回数	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
Q	コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
R	今後のコロナ禍における鑑賞動向	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
S	コロナ禍における配信の利用経験	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
T	今後のコロナ禍における配信の利用動向	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
U	今後のコロナ終息時の鑑賞方法	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
V	オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件 ※1	(Ⅳ) コロナ	○	○	○	○
W	オーケストラフェスティバル（他公演）への来場 ※1	(Ⅲ) 劇場	○※2			
W	ダンスの系譜学への来場	(Ⅲ) 劇場			○	
X	間隔を空けない配席時の来場可能性	(Ⅳ) コロナ	○			

※1複数回答の項目

※2愛知県芸術劇場はなし

来場者の回答方法は、愛知県芸術劇場の従来の方法である公演ごとの Web（QR コード配布）を基本とし、場合によっては紙媒体での回答に対応する。特に、市町ホールの公演は、各ホールの状況に応じた項目・方法とする。なお回答の集計は、公演日終了から 10 日間を目安に得た回答をもとに、マイクロソフト 365 を利用した単純集計と、一部項目で属性によるクロス集計を試みる。感想・要望の自由記述の分析は、本報告書では行わない。

イ 関係者アンケート調査

(ア) 対象

対象は来場者アンケート同様に全公演とし、事業遂行にあたる各公演の＜関係者＞を対象とする。なお「あいちオーケストラフェスティバル」には、参考として昨年度の関係者も含める。対象者の詳細は以下の通りで、合計 11 名である。

	公演名	対象者（団体名、担当者）
(1) 市町ホール 担当者 (5名)	あいちオーケストラフェスティバル2021	
	岐阜市サラマンカホール (セントラル愛知交響楽団) 11/4	ア 岐阜市サラマンカホール ／岡田進司氏
	長久手市文化の家 (愛知室内オーケストラ) 11/21	イ 長久手市文化の家 ／生田創氏
	武豊町民会館 (名古屋フィルハーモニー交響楽団) 1/7	ウ 武豊町民会館 ／高橋洋子氏
	(参考) あいちオーケストラフェスティバル2020	
	春日井市民会館 (セントラル愛知交響楽団) 2020/12/2	エ 春日井市民会館 ／小松淳子氏
	幸田町民会館 (中部フィルハーモニー交響楽団) 2021/1/31	オ 幸田町民会館 ／金澤大介氏
(2) 実演芸術等 の民間事業 者(4名)	トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学 10/1-3	ア Dance Base Yokohama ／田中希氏
	DaBYアソシエイトコレオグラファー 鈴木竜トリプルビル 12/3-5	イ ダンスハウス黄金4422 ／浅井信好氏
	久屋ぐるっとアート2021連携プロジェクト	
	クラウン・マイム、人形劇 11/6	ウ 愛知人形劇センター ／中康彦氏
	金管五重奏演奏会 11/6-7	エ Hisaya-odori Park ／藤田大輔氏
(3) 制作事務 担当者 (2名)	あいちオーケストラフェスティバル全公演	ア クラシック名古屋 ／岩崎幸弘氏
	全事業	イ DECORATION LABORATORY ／伊藤彰浩氏

(イ) 質問内容

本事業は多種多様な団体との＜連携＞により実施することを趣旨のひとつとしているため、各関係者には携わった業務内容を踏まえながら、関係者が連携等でメリット、デメリットに感じた点などを回答してもらう。また、本事業実施を通じた感想や、今後の連携における考え方や愛知県芸術劇場への期待なども聞く。

(ウ) 質問項目と方法

具体的な質問項目は、関係の回答者ごとに以下の通りである。アンケートは各公演開催日の前後に愛知県芸術劇場より依頼して回答を得る。

(1) 市町ホール 全担当者

1	所属／名前
2	貴ホールにて2021年度に受理している、公的補助金（文化庁等）や民間助成金（地域創造等）があれば教えてください。
【あいちオーケストラフェスティバルについて】	
3	本フェスティバルで招聘のオーケストラの公演は、これまで自主事業で開催したことはありますか。（はじめて／これまで開催したことがある→（ ）回程度）
4	自主事業として、県内・それ以外のプロオーケストラの公演はどれ位開催していますか。コロナ禍以前の3年間くらい（2017～2019年度）の状況を教えてください。
5	「あいちオーケストラフェスティバル」は、中部地区の舞台芸術におけるコロナ禍からの復興を推進するために、貴ホールと愛知県芸術劇場が連携する形で開催しました。ホール単独の自主事業として同公演を開催する場合と比較して、「連携」によりどのようなメリット（助かったことや相乗効果）、またデメリット（不具合や困ったこと）がありましたか。 企画、制作、資金調達、広報、宣伝、券売、当日実施、精算等から、思いつくことを自由にご回答下さい。
【愛知県芸術劇場との連携等について】	
6	今後、貴ホールの自主事業に愛知県芸術劇場が関わる場合、どのような形態を希望されますか（複数回答可、その場合は優先順位を（ ）にご記入下さい。）。 ☐ （ ）今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい ☐ （ ）自ホールと愛知県芸術劇場の2館で共同制作をしたい ☐ （ ）自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい ☐ （ ）愛知県芸術劇場で企画制作された作品を、買い公演に近い形で実施したい ☐ （ ）その他
7	今後、愛知県芸術劇場へ期待することはどのようなことですか（複数回答可、その場合は優先順位を（ ）にご記入下さい）。 ☐ （ ）今回のような、自主事業の公演企画や開催における連携をしたい ☐ （ ）自ホールの自主事業の広報・宣伝を、愛知県芸術劇場でお願いしたい ☐ （ ）すでに実施しているような、ホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい ☐ （ ）愛知県芸術劇場のもつ、文化芸術や劇場に関する情報、運営ノウハウを共有したい ☐ （ ）文化芸術やまちづくりに関する、公的補助金や民間助成金の情報を教えてください ☐ （ ）愛知県芸術劇場の財源にて、市町村ホール公演向けの独自の助成金プログラムを考えてほしい ☐ （ ）その他
8	その他、「あいちオーケストラフェスティバル」の感想や愛知県芸術劇場へのコメントがあればご記入下さい。

(2) 実演芸術等の民間事業者

ア Dance Base Yokohama

【団体について】	
1	貴団体に2021年度に受理している、公的補助金や民間助成金があれば教えてください。
2	貴団体の過去の主な公演（主催、出演依頼）を教えてください。
【「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」（愛知県芸術劇場公演）について】	
3	各公演において貴団体が具体的に携わったことは何ですか。企画構成、資金調達、稽古場提供、作品創作、舞台製作、広報、宣伝、券売、公演当日実施、精算等にて、愛知県芸術劇場・他団体との大まかな業務分担をお聞かせ下さい。
4	愛知県芸術劇場との連携・共同製作により、貴団体にはどのようなメリット（利点、効果など）、またデメリット（不具合、困ったことなど）がありましたか。公演ごとにご記入いただいてもまとめてでも構いません。
【今後について】	
5	4を踏まえながら、愛知県芸術劇場との今後の連携・共同製作等の希望、その他劇場に対する期待、コメントがあればご記入下さい。

イ ダンスハウス黄金4422

【団体について】	
1	貴団体に2021年度に受理している、公的補助金や民間助成金があれば教えてください。
2	貴団体の2019年度～2021年度の主な公演（主催、出演依頼）を教えてください。
【「鈴木竜トリプルビル」（愛知県芸術劇場公演）について】	
3	貴団体が具体的に携わったことを教えてください。（企画構成、資金調達、稽古場提供、作品創作、舞台製作、広報、宣伝、券売、公演当日実施、精算等々にて、協力された内容）
4	愛知県芸術劇場への公演協力により、貴団体にはどのようなメリット（利点、効果など）、またデメリット（不具合、困ったことなど）がありましたか。
【今後について】	
5	4を踏まえながら、愛知県芸術劇場との今後の連携（共同製作や協力等）の希望、その他劇場に対する期待、コメントがあればご記入下さい。

ウ 愛知人形劇センター

エ Hisaya-odori Park

1	所属／名前
2	2018年度より開催する、愛知県芸術劇場主催のアートイベント「久屋ぐるっとアート」にこれまで関わっていただいたことはありますか。 (□今回がはじめて／□これまでも関わった → () 回目
3	「久屋ぐるっとアート2021」にて御社と愛知県芸術劇場が連携（共催）でコンサート、公演等を開催するにあたり、良かった点、不具合だった点を教えて下さい。
4	今後、御社と愛知県芸術劇場が関わる場合は、どのような形態を希望されますか。 ①「久屋ぐるっとアート」では □参加団体として、できる限り単独で準備できることで関わりたい □今回のように、愛知県芸術劇場と連携してイベント（コンサートや公演）を実施したい □愛知県芸術劇場のみならず、他の参加団体とも連携できるイベントを実施したい ②「久屋ぐるっとアート」以外では □各種イベントや公演で、今後も連携していきたい □特には連携を考えていない
5	今後、愛知県芸術劇場へ期待することはどのようなことですか（複数回答可、その場合は優先順位を（ ）にご記入下さい）。 □（ ）今回のような、まちを活性化させ誘客につながるイベントを開催してほしい □（ ）自社の広報・宣伝に繋がることを、愛知県芸術劇場でお願いしたい □（ ）愛知県芸術劇場のもつ、文化芸術や劇場に関する情報、運営ノウハウを共有したい □（ ）文化芸術やまちづくりに関する、公的補助金や民間助成金の情報を教えてほしい □（ ）愛知県芸術劇場の財源にて、市内実演団体等の独自の助成金プログラムを考えてほしい □（ ）その他
6	その他「久屋ぐるっとアート2021」への感想や愛知県芸術劇場へのコメントがあればご記入下さい。

(3) 制作事務担当者

ア クラシック名古屋

イ DECORATION LABORATORY

1	所属／名前
2	御社が愛知県芸術劇場の業務（内容や規模を問わない）を受託するのは、今回がはじめてですか。 【クラシック名古屋】 ☐ あいちオーケストラフェスティバルがはじめて→（20年度・21年度）がはじめて ☐ これまでも受託したことがある →（ ）回程度 【DECORATION LABORATORY】 ☐ JAPAN LIVE YELL project @ AICHIがはじめて→（20年度・21年度）がはじめて ☐ これまでも受託したことがある →（ ）回程度
3	愛知県芸術劇場から受託した業務の具体的な内容を教えて下さい。2020年度と2021年度で内容が異なる場合はあわせて教えて下さい。
4	務を受託して良かった点、また困ったことや不具合だった点、改善してほしい点を教えて下さい。
5	御社が業務を受託した理由はなぜですか（複数回答可、その場合は優先順位を（ ）に記入ください）。 ☐（ ） 自社の収益に繋がるため ☐（ ） 自社のノウハウを活かせる業務内容のため ☐（ ） ライブエールプロジェクトやオーケストラフェスティバルという事業内容に興味があったため ☐（ ） 自社のイメージアップや宣伝に繋がるため ☐（ ） その他（ ）
6	民間事業者として、今後、愛知県芸術劇場の自主事業における関わり方でイメージされるものは、以下のうちいずれが一番近いですか。 ☐ 自社のノウハウを活かせる特定分野で、愛知県芸術劇場と業務提携をしたい ☐ 愛知県芸術劇場からの業務委託の形で、出来るだけ広範囲の業務を受託したい ☐ 愛知県芸術劇場からの業務委託の形で、自社が対応できる一定業務を受託したい ☐ 愛知県芸術劇場からの業務委託の形で、出来るだけ小規模の業務を受託したい ☐ その他（ ）
7	【クラシック名古屋】 その他、「あいちオーケストラフェスティバル」の感想や愛知県芸術劇場への期待があればご記入下さい。 【DECORATION LABORATORY】 その他、JAPAN LIVE YELL project @ AICHIの感想や愛知県芸術劇場への期待があればご記入下さい。

2 来場者アンケート調査の結果

(1) アンケート回収状況

ア 回収状況と結果を示す項目

各公演の来場者数とアンケート回答率等の状況は、以下の通りである。

■あいちオーケストラフェスティバル2021

	ア 愛知県芸術劇場 (中部フィル ハーモニー交響 楽団)	イ 岐阜市サラムン カホール(セン トラル愛知交響 楽団)	ウ 武豊町民会館 (名古屋フィ ルハーモニー 交響楽団)	エ※ 長久手市文化の家 (愛知室内オーケ ストラ)
開催日	10/15 (金)	11/4 (木)	1/7 (金)	11/21 (日)
来場者数 / 販売可能 席数 (入場率)	540名/900 (60.0%)	331名/351 (94.3%)	326名/333 (97.9%)	306名/335 (91.3%)
アンケート回答方法	Webのみ	Webのみ	Web・紙面	Web・紙面 ※質問内容は異なる
アンケート回答数	42件	83件	220件	紙面回答：117件 Web回答：13件 合計：130件
アンケート回答率	7.8%	25.0%	67.5%	紙面回答：38.2% Web回答：4.2% 合計：42.5%

■愛知県芸術劇場のダンス公演

	オ トライアド・ダンス・ プロジェクト ダンスの系譜学	カ DaBYアソシエイト コレオグラファー 鈴木竜トリプルビル
開催日	10/1(金)2(土)3(日)	12/3(金)4(土)5(日)
来場者数 / 販売可能 席数 (入場率)	3公演計 301名/539 (55.8%)	3公演計 383名/480 (79.8%)
アンケート回答方法	Webのみ	Webのみ
アンケート回答数	3公演計 40件	3公演計 22件
アンケート回答率	3公演計 13.3%	3公演計 5.7%

■久屋ぐるっとアート2021

キ クラウン・マイム、 人形劇 @愛知県芸術劇場	ク 金管五重奏演奏会 @Hisaya-odori Park
開催日	11/6(土)
来場者数 / 販売可能 席数 (入場率)	(来場者数のみ) 2公演計 64名
アンケート回答方法	Web・紙面
アンケート回答数	2公演計 21件
アンケート回答率	2公演計 32.8%

回答率は、公演によっては5%近くとかなり低いものもあった。本報告書では1(1)調査の内容・方法で設定した質問項目のうち、各項目の単純集計とクロス集計の分析結果の一部を示す。特にクロス集計の結果は、属性については全公演で示し、それ以外は回答率10%をこえる一部公演、一部項目のみとする。詳細は以下の通りである。

■あいちオーケストラフェスティバル 2021

		ア 愛知県芸術劇場 (中部フィル ハーモニー交響 楽団)	イ 岐阜市サラム ンカホール (セントラル 愛知交響楽 団)	ウ 武豊町民会館 (名古屋フィ ルハーモニー 交響楽団)	エ※ 長久手市文化の家 (愛知室内オーケスト ラ)
(Ⅰ) 属性	項目	B性別 C年齢 D居住地 E職業			B性別 C年齢(年代) D居住地(住まい)
	集計	単純集計、クロス集計(性別×年齢)(居住地×性別、居住地×年齢)			
(Ⅱ) 公演	項目	G公演情報入手先 J来場動機 H内容満足度 Iチケット価格満足度			G公演情報入手先 (初回の公演情報源) J来場動機(来場理由) H内容満足度 (公演内容)
	集計	単純集計			
(Ⅲ) 劇場	項目	L劇場来場回数 Mよく鑑賞に出 かける公演ジャン ル	L劇場来場回数 Mよく鑑賞に出 かける公演ジャン ル Wオケフェスへ の来場	L劇場来場回数 Mよく鑑賞に出 かける公演ジャン ル Wオケフェスへ の来場	L劇場来場回数 (文化の家への来館頻 度)
	集計	単純集計	単純集計、 クロス集計 (L×年齢) (L×居住地)	単純集計、 クロス集計 (L×年齢) (L×居住地)	単純集計、 クロス集計 (L一部回答×年齢) (L一部回答×居住地)
(Ⅳ) 新型コロナ ウィルス感 染症	項目	i 感染症対策 N 劇場のコロナ対策 O 対策が十分でないと感じた場合の理由 X 間隔を空けない配席時の来場可能性 ・愛知県芸術劇場はX項目は回答なし ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向 P コロナ禍のホール公演鑑賞回数 Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化 S コロナ禍における配信の利用経験 R 今後のコロナ禍における鑑賞動向 T 今後のコロナ禍における配信の利用動向 U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法 V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準 となる条件			(なし)
	集計	単純集計	単純集計、クロス集計 (Q×性別、年齢)		(なし)

※長久手市文化の家：愛知県芸術劇場によるアンケート(Web)はコロナ感染症に関係する項目等も実施したが、回答率が4.2%にとどまった。そのため、回答率38.2%となった長久手市文化の家独自の紙面アンケートと類似する、質問7項目のみを分析する。

■愛知県芸術劇場のダンス公演

		オ トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学	カ DaBYアソシエイトコレオグラファー 鈴木竜トリプルビル
(Ⅰ) 属性	項目	B性別 C年齢 D居住地 E職業	
	集計	単純集計、クロス集計（性別×年齢）（居住地×性別、居住地×年齢）	
(Ⅱ) 公演	項目	G公演情報入手先 J来場動機 H内容満足度 Iチケット価格満足度	
	集計	単純集計	
(Ⅲ) 劇場	項目	Mよく鑑賞に出かける公演ジャンル L劇場来場回数 Wダンスの系譜学への来場 (鈴木竜トリプルビルのみ)	
	集計	単純集計、クロス集計（L×年齢）（L×居住地）	単純集計
(Ⅳ) 新型コロナ ウィルス感染 症	項目	i 感染症対策 N 劇場のコロナ対策 O 対策が十分でないと感じた場合の理由 ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向 P コロナ禍のホール公演鑑賞回数 Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化 S コロナ禍における配信の利用経験 R 今後のコロナ禍における鑑賞動向 T 今後のコロナ禍における配信の利用動向 U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法 V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件	
	集計	単純集計、クロス集計（Q×性別、年齢）	単純集計

■久屋ぐるっとアート2021連携プロジェクト

		キ クラウン・マイム、人形劇 @愛知県芸術劇場	ク 金管五重奏演奏会 @Hisaya-odori Park
(Ⅰ) 属性	項目	B性別 C年齢 D居住地 E職業	
	集計	単純集計、クロス集計（性別×年齢）（居住地×性別、居住地×年齢）	
(Ⅱ) 公演	項目	G公演情報入手先 J来場動機 H内容満足度	
	集計	単純集計	
(Ⅲ) 劇場	項目	Mよく鑑賞に出かける公演ジャンル	
	集計	単純集計	
(Ⅳ) 新型コロナ ウィルス感染 症	項目	感染拡大を受けての公演鑑賞の動向 P コロナ禍のホール公演鑑賞回数 Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化 S コロナ禍における配信の利用経験 R 今後のコロナ禍における鑑賞動向 T 今後のコロナ禍における配信の利用動向 U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法 V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件	
	集計	単純集計	

イ 表記について

集計の結果は回答数、比率等を表とグラフにて示す。なお、「あいちオーケストラフェスティバル」の武豊町民会館、長久手市文化の家、「久屋ぐるっとアート」の公演では「無回答」の回答があるため、それを含めた場合と含めない場合の両方の結果を示す。

以下が統一表記である。

- 表の表記は、回答数（件）、比率（％）
- 円グラフ内の表記は、上段：分類（区分）名、中段：回答数（件）、下段：比率（％）
- 棒グラフ内の数字は回答数（件）。
- 「無回答」がある場合は、比率①は無回答を含めない場合、比率②は無回答を含めた場合である。
- 比率は小数点第 2 位を四捨五入。
- 居住地は、以下の表記とする。

報告書での表記	アンケート回答選択肢
愛知県 名古屋市	愛知県 名古屋市
愛知県 尾張（名古屋市、海部、知多地域以外）	愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
愛知県 尾張海部	愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
愛知県 尾張知多	愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
愛知県 西三河	愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
愛知県 東三河	愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
岐阜県 岐阜	岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
岐阜県 西濃	岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
岐阜県 中濃	岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
岐阜県 東濃	岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
岐阜県 飛騨	岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
三重県	三重県
東京都	東京都
その他	その他

(2) 各公演の結果

以下は「あいちオーケストラフェスティバル2021」、愛知県芸術劇場のダンス公演、「久屋ぐるっとアート2021 連携プロジェクト」の公演ごとのアンケート結果である。

■あいちオーケストラフェスティバル2021

ア 愛知県芸術劇場（中部フィルハーモニー交響楽団） 【全回答数 n=42（件）】

（I）属性について

◇【B 性別】【C 年齢】

回答者の男女比は約6：4であった。

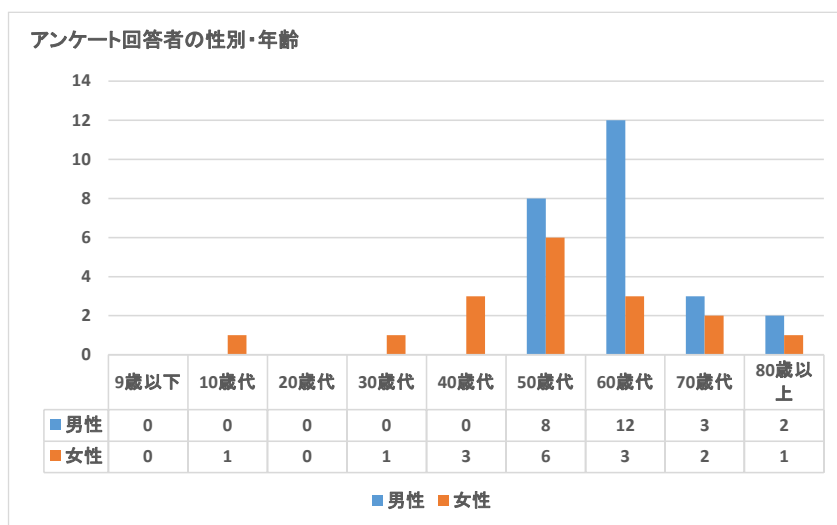
年齢は50代～60代で約7割を占めた。

B性別	回答数	比率
男性	25	59.5
女性	17	40.5
計	42	100.0

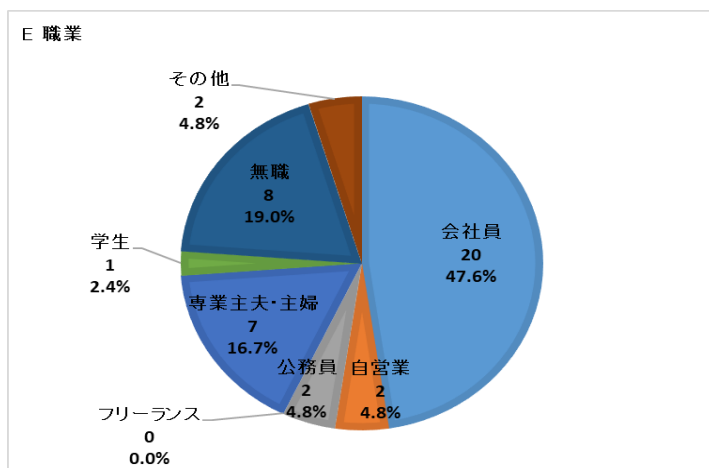
C年齢	回答数	比率
9歳以下	0	0.0
10歳代	1	2.4
20歳代	0	0.0
30歳代	1	2.4
40歳代	3	7.1
50歳代	14	33.3
60歳代	15	35.7
70歳代	5	11.9
80歳以上	3	7.1
計	42	100.0

◇【性別】×【年齢】

性別・年齢をあわせてみると、10代、30代、40代はすべて女性、男性は50代以上であった。なお男性は60代に特に多く8割を占める。女性は50代に最も多い。

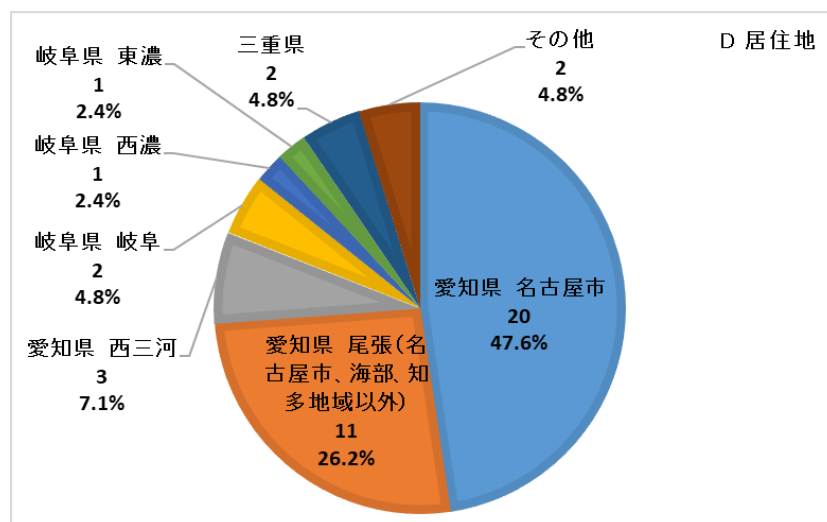


◇【E 職業】 会社員が約5割を占め、無職、専業主夫・主婦がともに約2割であった。



◇【D居住地】

愛知県、岐阜県、三重県でほぼ構成される。うち名古屋市が約 5 割を占め、愛知県を合計すると約 8 割と高くなっている。



◇【D居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地を愛知県名古屋市とそれ以外に区分し、性別と年齢の傾向をみると以下の通りとなった。(性別)名古屋市では女性の比率が男性より 10%高いのに対し、名古屋市以外では男性の比率が高く 70%を超えていた。

居住地×性別	回答数(件)			比率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
愛知県 名古屋市	9	11	20	45.0	55.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	16	6	22	72.7	27.3	100.0
計	25	17	42	59.5	40.5	100.0

(年齢)名古屋市では 10 歳代から 80 歳代までの幅があるが、名古屋市以外では 50 歳代だけで 45.5%を占めていた。

居住地×年齢	回答数(件)								
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
愛知県 名古屋市	1	0	1	2	4	8	3	1	20
愛知県 名古屋市以外 すべて	0	0	0	1	10	7	2	2	22
計	1	0	1	3	14	15	5	3	42

居住地×年齢	比率(%)								
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
愛知県 名古屋市	5.0	0.0	5.0	10.0	20.0	40.0	15.0	5.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	0.0	0.0	0.0	4.5	45.5	31.8	9.1	9.1	100.0
計	2.4	0.0	2.4	7.1	33.3	35.7	11.9	7.1	100.0

(Ⅱ) 公演について

◇【G 公演情報入手先】【J 来場動機】(複数回答)

次ページの通り、オーケストラフェスティバルのチラシや他のウェブサイトで情報入手した回答者が多く、動機はオーケストラや演奏曲への興味と同時に、ライブで鑑賞したいという項目も多い。

G情報入手先	回答数
愛知県芸術劇場からのDM	7
チラシ	14
情報誌AAC	2
ポスター・看板など(愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅)	2
メルマガ(劇場メンバーズニュース)	3
新聞	1
テレビ・ラジオ	0
雑誌	0
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	5
他のウェブサイト	13
Twitter	2
Facebook	1
YouTube	0
フリーペーパー	0
友人・知人からの情報	2
その他	4
計	56

J来場動機	回答数
オーケストラに興味があった	26
中部フィルハーモニー交響楽団に興味があった	21
指揮者に興味があった	15
演奏曲に興味があった	26
ライブエールプロジェクトに興味があった	5
コンサートを生で鑑賞したかった	21
出かけやすい曜日・開演時間だった	9
知人・友人・家族から誘われた	1
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	0
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	11
その他	4
計	139

◇【H 内容満足度】【I チケット価格満足度】

内容満足度は「とてもそう思う」「そう思う」で 88.1%、チケット価格（1000 円）の満足度は「とてもそう思う」だけで 88.1%、「そう思う」とあわせると 100%と非常に高かった。

H内容満足度	回答数	比率
とてもそう思う	27	64.3
そう思う	10	23.8
まあそう思う	5	11.9
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	42	100.0

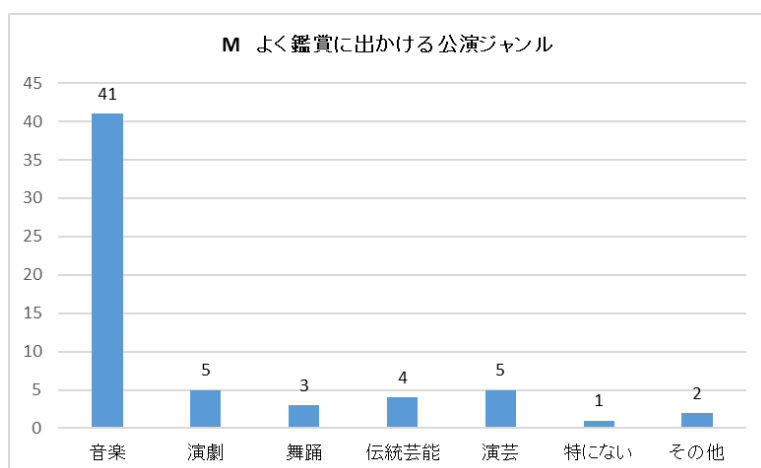
I価格満足度	回答数	比率
とてもそう思う	37	88.1
そう思う	5	11.9
まあそう思う	0	0.0
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	42	100.0

（Ⅲ）劇場について

◇【L 劇場来場回数】愛知県芸術劇場への来場回数は、「年6回以上」が一番多く、「年3～5回」と合わせると9割近くを占めた。「はじめて」の回答はなかった。

L劇場来場回数	回答数	比率
はじめて	0	0.0
年1～2回	6	14.3
年3～5回	15	35.7
年6回以上	21	50.0
計	42	100.0

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計 61 件）音楽ジャンルが特に多い。



（Ⅳ）新型コロナウイルス感染症について

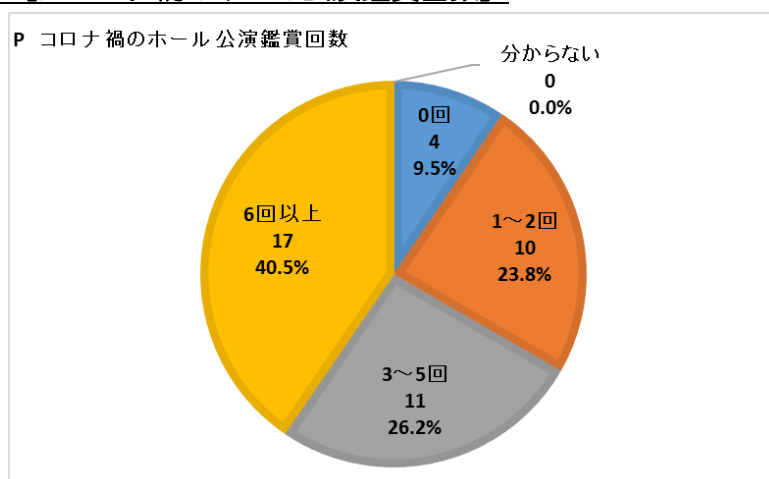
i 感染症対策

◇【N 劇場のコロナ対策】愛知県芸術劇場の感染症対策への評価は以下の通りで、満足度が
高く、不満のコメントは寄せられなかった。

N劇場のコロナ感染症対策は十分か	回答数	比率
とても思う	22	52.4
そう思う	18	42.9
まあ思う	2	4.8
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	42	100.0

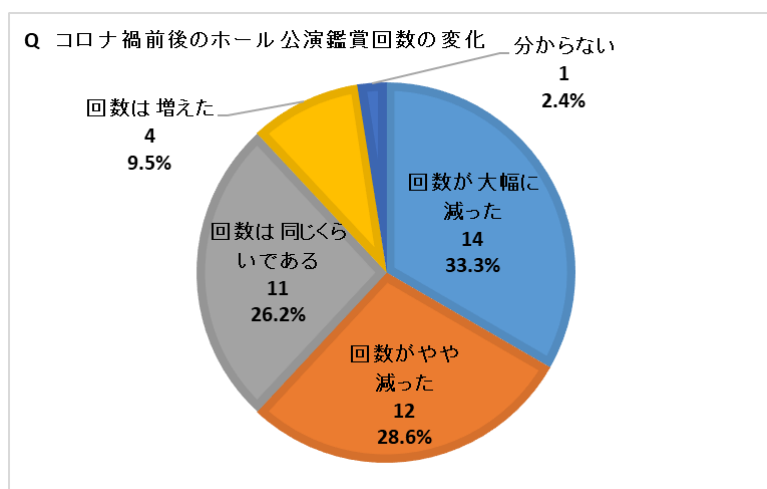
ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】



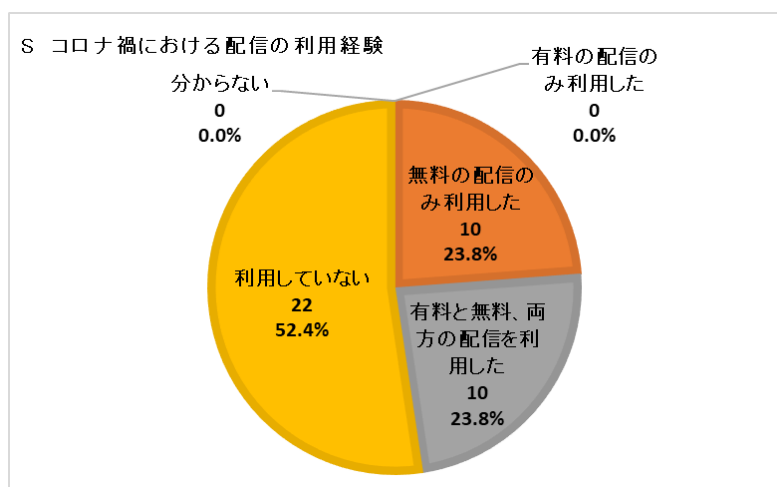
コロナ下2021年4月～9月に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞した回数を聞くと、「6回以上」の回答が一番多く約4割を占めた。少なくとも1回以上鑑賞した回答者は全体の約9割である。

◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019年4月～9月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」及び「やや減った」という回答者は約6割で、「同じくらい」「増えた」という回答も一定数あった。



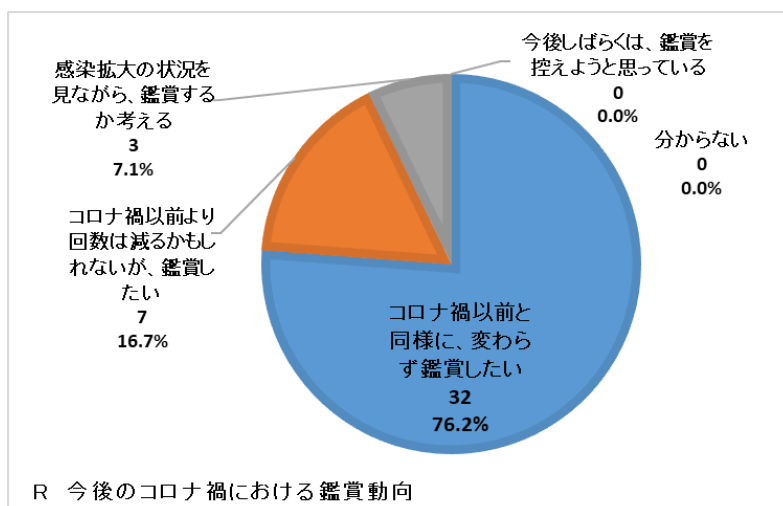
◇【S コロナ禍における配信の利用経験】

コロナ下2021年4月～9月に、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、「利用していない」が50%余りを占めた。



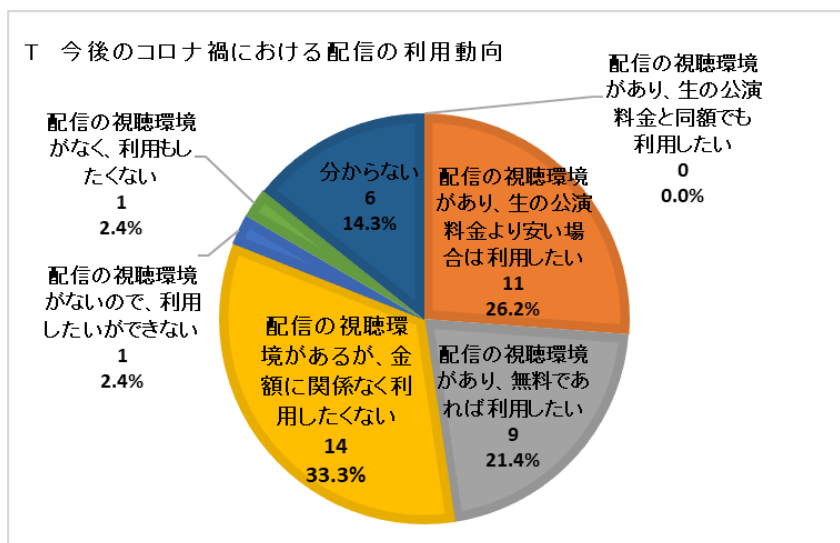
◇【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかを聞いたところ、次ページの通り、「変わらずに鑑賞したい」という回答が8割近くを占めた。「回数は減ったとしても鑑賞したい」という回答と合わせると、約9割となり、生の公演を鑑賞したい回答者の動向が読み取れる結果となった。



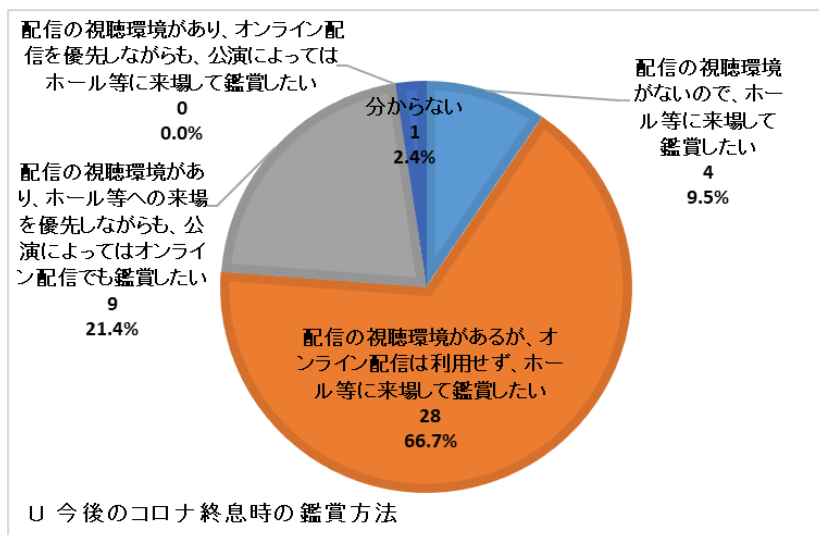
◇【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】

今後のコロナ禍で配信による視聴を利用したいかについては、視聴環境があっても「金額に関係なく利用したくない」という回答が 33.3%と比率が一番高いものの、料金が安い場合、無料の場合に「利用したい」という2つの項目をあわせると約5割近くになった。



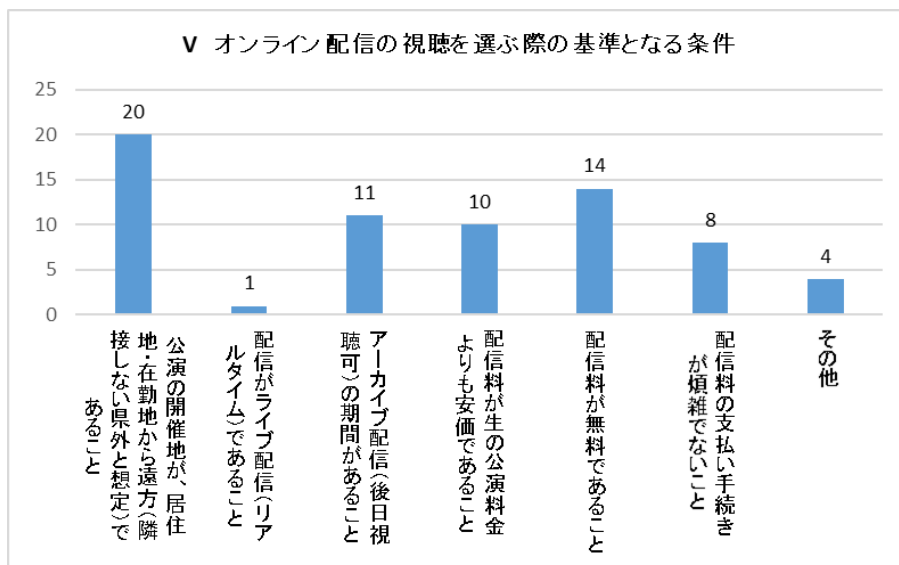
◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール・劇場等で公演のオンライン配信がある場合は、どのように鑑賞するかを聞くと、次ページの通り、来場のみでの鑑賞は約 75%と高い比率となった。また、オンライン配信を優先する回答はなく、来場を優先しながらオンライン配信を利用するという回答が 20%余りであった。【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】にて、生の公演を鑑賞したい回答者の動向と合わせると、コロナにかかわらず生の公演の鑑賞を基本にする動向が確認できる。



◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】（複数回答計 68 件）

配信視聴の条件は「公演の開催地が遠方」「配信料が無料」が多い傾向であった。



イ 岐阜市サランカホール（セントラル愛知交響楽団）【全回答数 n=83（件）】

（Ⅰ）属性について

◇【B 性別】【C 年齢】

回答者の男女比は約 6 : 4 である。

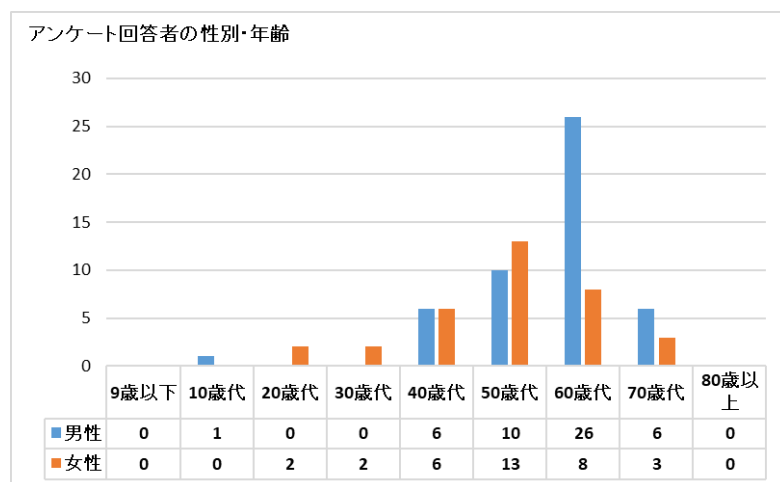
年齢は 60 歳代が一番多く 4 割、これに 50 歳代を加えると全体の約 7 割となる

B 性別	回答数	比率
男性	49	59.0
女性	34	41.0
計	83	100.0

C 年齢	回答数	比率
9歳以下	0	0.0
10歳代	1	1.2
20歳代	2	2.4
30歳代	2	2.4
40歳代	12	14.5
50歳代	23	27.7
60歳代	34	41.0
70歳代	9	10.8
80歳以上	0	0.0
計	83	100.0

◇【性別】×【年齢】

性別と年齢をあわせてみると、女性は 20 歳代から 70 歳代までの幅がある。男性は 20 歳代と 30 歳代はおらず、60 歳代が 26 件と特に多く、男性回答数全 49 件のうちの約半数を占める。



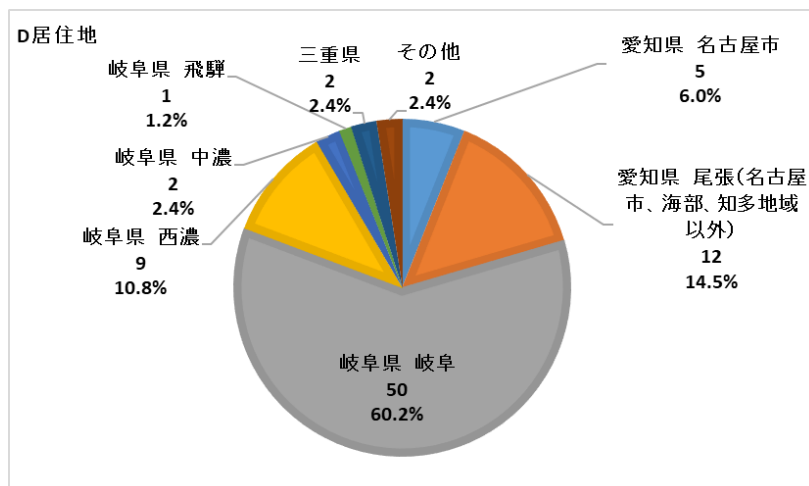
◇【E 職業】

「会社員」の比率が約 35%と一番多く、次に多い「無職」は 20%を占める。

E 職業	回答数	比率
会社員	29	34.9
自営業	8	9.6
公務員	9	10.8
フリーランス	3	3.6
専業主夫・主婦	7	8.4
学生	1	1.2
無職	17	20.5
その他	9	10.8
計	83	100.0

◇【D 居住地】 岐阜県の岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）

地域が全体の約 6 割を占めた。居住地は、西濃、中濃、飛騨地域からも回答があり、岐阜県を合計すると 62 件で約 75%となり、岐阜市の開催ならではの結果であった。東濃地域からの回答はなかった。



◇【D居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地を岐阜県岐阜地域と、それ以外に区分し、性別と年齢の傾向をみると以下の通りである。(性別) 岐阜地域では男女比が半々であるが、岐阜地域以外では男性の比率が高く 70%を超えていた。(年齢) 岐阜地域以外では 60 歳代が高めの傾向がある。

居住地×性別	回答数(件)			比率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
岐阜県 岐阜	25	25	50	50.0	50.0	100.0
岐阜県 岐阜 以外 すべて	24	9	33	72.7	27.3	100.0
計	49	34	83	59.0	41.0	100.0

居住地×年齢	回答数(件)							
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
岐阜県 岐阜	0	2	2	9	14	17	6	50
岐阜県 岐阜 以外 すべて	1	0	0	3	9	17	3	33
計	1	2	2	12	23	34	9	83

居住地×年齢	比率(%)							
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
岐阜県 岐阜	0.0	4.0	4.0	18.0	28.0	34.0	12.0	100.0
岐阜県 岐阜 以外 すべて	3.0	0.0	0.0	9.1	27.3	51.5	9.1	100.0
計	1.2	2.4	2.4	14.5	27.7	41.0	10.8	100.0

(Ⅱ) 公演について

◇【H 内容満足度】【I チケット価格満足度】

内容満足度は「とてもそう思う」「そう思う」で 92.8%であった。チケット価格(1000 円)の満足度は「とてもそう思う」だけで 90.4%になるものの、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答も 1 件ずつあった。

H 内容満足度	回答数	比率
とてもそう思う	60	72.3
そう思う	17	20.5
まあそう思う	3	3.6
あまりそう思わない	1	1.2
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	2	2.4
計	83	100.0

I 価格満足度	回答数	比率
とてもそう思う	75	90.4
そう思う	4	4.8
まあそう思う	2	2.4
あまりそう思わない	1	1.2
そう思わない	1	1.2
まったくそう思わない	0	0.0
計	83	100.0

◇【G 公演情報入手先】【J 来場動機】（複数回答）オケフェスのチラシとともに、サラマンカホールのウェブサイトやダイレクトメールからの情報入手者が多いようである。来場動機は、生で鑑賞したかったという項目とオーケストラ、演奏曲への興味の項目が多い。

G情報入手先	回答数
ダイレクトメール(愛知県芸術劇場)	4
ダイレクトメール(サラマンカホール)	24
情報誌AAC(愛知芸術文化センター)	1
季刊誌「SALAMANCA MATE」「ふれあいだより“さらまんか”」	8
チラシ	29
ポスター	6
テレビ・ラジオ	0
新聞記事	2
新聞広告	4
雑誌	0
フリーペーパー	1
看板など(愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅)	0
吊りバナー広告など	0
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	7
ウェブサイト(サラマンカホール)	30
他のウェブサイト	3
メールマガジン(愛知県芸術劇場)	1
メールマガジン(サラマンカホール)	6
Twitter(愛知県芸術劇場)	2
Twitter(サラマンカホール)	5
Facebook(愛知県芸術劇場)	0
Facebook(サラマンカホール)	2
YouTube	0
友人・知人からの情報	6
その他	2
計	143

J来場動機	回答数
オーケストラに興味があった	43
セントラル愛知交響楽団に興味があった	32
指揮者に興味があった	5
演奏曲に興味があった	48
ライブエールプロジェクトに興味があった	5
コンサートを生で鑑賞したかった	49
出かけやすい曜日・開演時間だった	27
知人・友人・家族から誘われた	3
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	1
サラマンカホール主催の公演を毎回楽しみにしている	36
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	9
その他	5
計	263

(3) 劇場について

◇【W オケフェスへの来場】10月15日の愛知県芸術劇場での「オーケストラフェスティバル」シリーズへの来場は、来場していない回答者が約8割であった。

Wオケフェスへの来場(10月15日)	回答数	比率
来場した	18	21.7
来場していない	65	78.3
	83	100.0

◇【L 劇場来場回数】サラマンカホールへの来場回数は、「年1～2回」「年3～5回」で約65%を占めたものの、「はじめて」訪れたという回答が13.3%あった。

L劇場来場回数	回答数	比率
はじめて	11	13.3
年1～2回	28	33.7
年3～5回	25	30.1
年6回以上	19	22.9
計	83	100.0

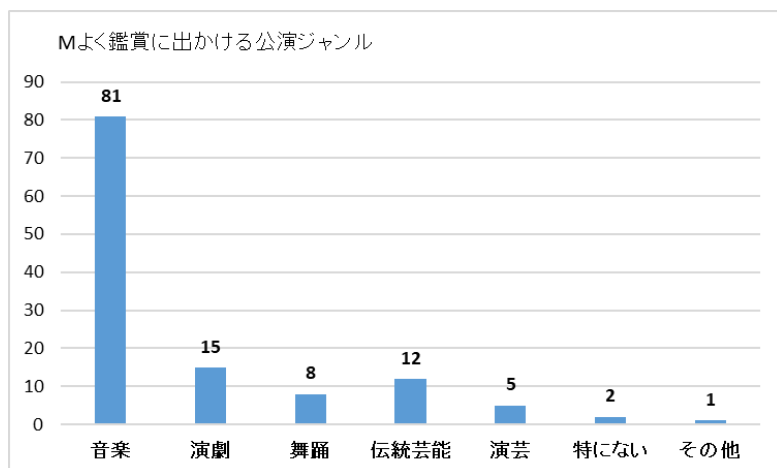
◇【L 劇場来場回数】×【年齢】【居住地】

年齢と居住地ごとに劇場来場回数をみると、全9件の70歳代は「年3～5回」か「年6回以上」の回答であった。「はじめて」訪れた回答者（11件）をみると、年齢では傾向はつかみにくい。居住地では、名古屋市、三重県からの回答が2件あり、愛知県尾張地域では4件、33.3%とやや高かった。なお、岐阜県岐阜地域でも5件あり10%を占めていた。

L劇場来場回数 (年齢別)	回答数(件)					比率(%)				
	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
10歳代	0	1	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	1	1	0	0	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
30歳代	0	0	1	1	2	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
40歳代	3	4	3	2	12	25.0	33.3	25.0	16.7	100.0
50歳代	5	9	5	4	23	21.7	39.1	21.7	17.4	100.0
60歳代	2	13	11	8	34	5.9	38.2	32.4	23.5	100.0
70歳代	0	0	5	4	9	0.0	0.0	55.6	44.4	100.0
計	11	28	25	19	83	13.3	33.7	30.1	22.9	100.0

L劇場来場回数 (居住地別)	回答数(件)					比率(%)				
	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
愛知県 名古屋市	1	3	1	0	5	20.0	60.0	20.0	0.0	100.0
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	4	3	3	2	12	33.3	25.0	25.0	16.7	100.0
岐阜県 岐阜	5	14	16	15	50	10.0	28.0	32.0	30.0	100.0
岐阜県 西濃	0	4	3	2	9	0.0	44.4	33.3	22.2	100.0
岐阜県 中濃	0	1	1	0	2	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
岐阜県 飛騨	0	1	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
三重県	1	0	1	0	2	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
その他	0	2	0	0	2	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
計	11	28	25	19	83	13.3	33.7	30.1	22.9	100.0

◇【Mよく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計124件）音楽ジャンルが特に多い。



(Ⅳ) 新型コロナウイルス感染症について

i 感染症対策

◇【N 劇場のコロナ対策】サラムンカホールの感染症対策への評価は以下の通りで、満足度が高く、不満のコメントは寄せられなかった。

N劇場のコロナ感染症対策は十分か	回答数	比率
とても思う	50	60.2
思う	31	37.3
まあ思う	2	2.4
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	83	100.0

◇【X 間隔を空けない配席時の来場可能性】

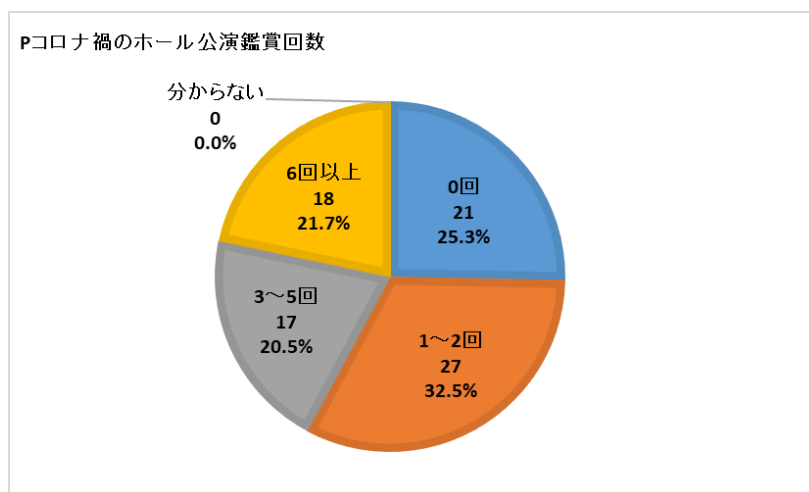
今回のように 1 席ずつの間隔を空けない場合に、来場可能性はどうなるかを聞いたところ、「来場する」「迷うが来場する」をあわせると約 8 割となるものの、判断に迷う回答も一定数みられた。なお、この回答は全回答件数が 59 である。

X間隔を空けない配席時の来場可能性	回答数	比率
来場する	27	45.8
迷うが来場する	19	32.2
迷って見合わせる	8	13.6
見合わせる	3	5.1
分からない	2	3.4
計	59	100.0

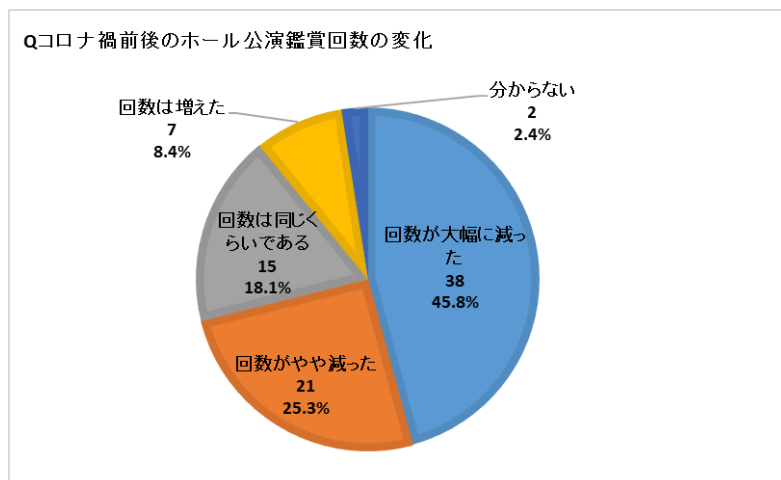
ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】

コロナ下 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞した回数は、「年 1～2 回」の回答が約 3 割と若干高いものの、「0 回」「3～5 回」「6 回以上」いずれも同程度の比率であった。



◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019年4月～9月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」が5割近くとなった。「やや減った」を合わせると約7割を占め、コロナ下で足が遠のいた傾向がうかがえる。



◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】×【性別】【年齢】

鑑賞回数の変化を性別、年齢ごとに集計すると以下の通りである。

性別でみると、男性に「増えた」という回答比率が12.2%であるのに対し、女性は2.9%にとどまる。

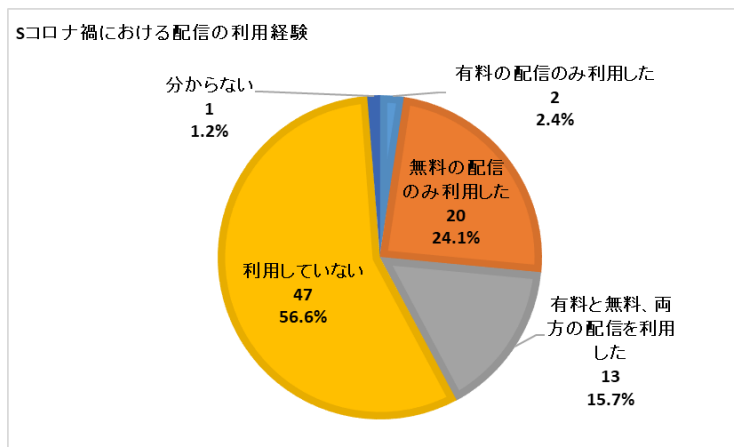
Qコロナ禍前後の回数変化(性別)	回答数(件)						比率(%)					
	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
男性	23	11	8	6	1	49	46.9	22.4	16.3	12.2	2.0	100.0
女性	15	10	7	1	1	34	44.1	29.4	20.6	2.9	2.9	100.0
計	38	21	15	7	2	83	45.8	25.3	18.1	8.4	2.4	100.0

次の表の年齢、地域でみると、40代は「大幅に減った」と「増えた」の回答が同件数で、回答に幅がある。「大幅に減った」回答区分は50代がともに約6割と高い傾向にある。

Qコロナ禍前後の回数変化(年齢別)	回答数(件)						比率(%)					
	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
10歳代	0	1	0	0	0	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	2	0	0	0	0	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30歳代	0	0	2	0	0	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
40歳代	4	2	1	4	1	12	33.3	16.7	8.3	33.3	8.3	100.0
50歳代	13	7	1	1	1	23	56.5	30.4	4.3	4.3	4.3	100.0
60歳代	15	8	10	1	0	34	44.1	23.5	29.4	2.9	0.0	100.0
70歳代	4	3	1	1	0	9	44.4	33.3	11.1	11.1	0.0	100.0
計	38	21	15	7	2	83	45.8	25.3	18.1	8.4	2.4	100.0

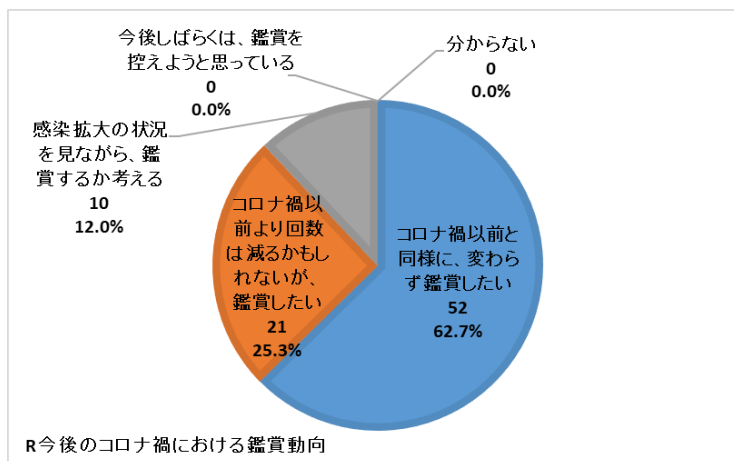
◇【S コロナ禍における配信の利用経験】

コロナ下2021年4月～9月に、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、次ページの通り「利用していない」が半数以上を占めた。



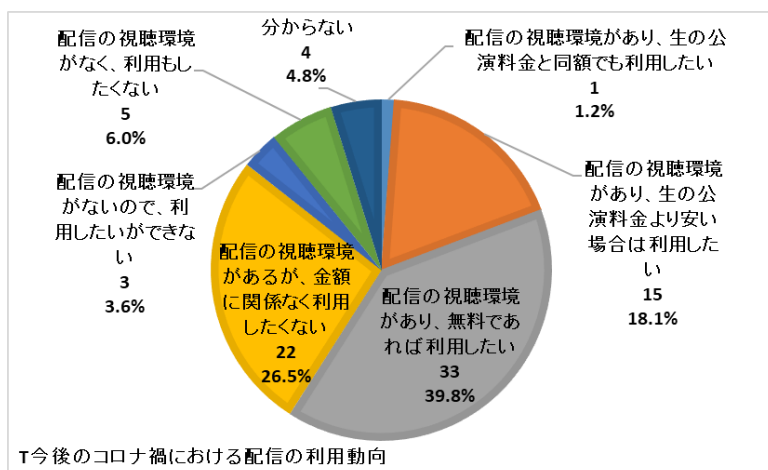
◇【R今後のコロナ禍における鑑賞動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかについては、「変わらずに鑑賞したい」という回答は約 6 割であった。「回数は減ったとしても鑑賞したい」という回答と合わせると約 9 割となった。



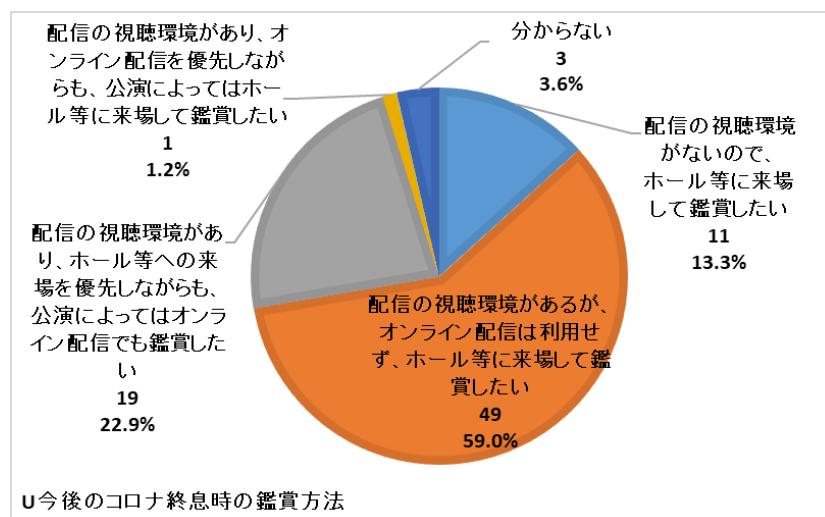
◇【T今後のコロナ禍における配信の利用動向】

コロナ禍の配信視聴の利用については、「無料であれば利用したい」が約 4 割を占め、「生の公演より安い場合は利用したい」とあわせると約 6 割で、価格設定が利用動向にかかわることを示唆する結果となった。一方で視聴環境があっても「金額にかかわらず利用したくない」回答は約 25%であった。



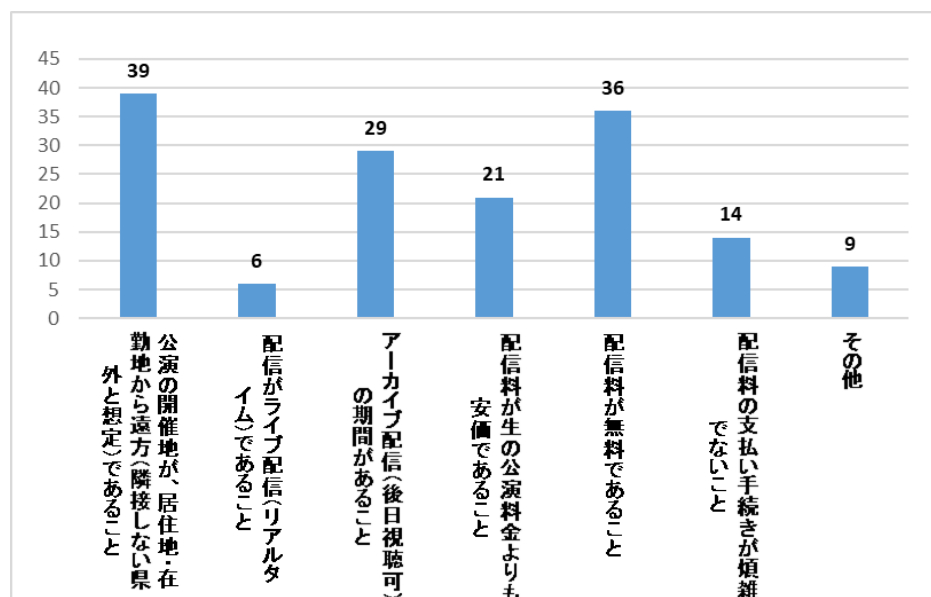
◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール・劇場等で公演のオンライン配信がある場合は、どのように鑑賞するかを聞くと、来場のための鑑賞をあわせると約 7 割と高い比率となった。このうち、視聴環境がないためにホールに来場するという回答者が 11 件あった。また、来場を優先しながらオンライン配信を利用するという回答も 20%と一定数を占めた。



◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】（複数回答計 154 件）

配信視聴の条件は、特に件数が多い項目は「公演の開催地が遠方」と「配信料が無料」であり、ほぼ同件数であった。



ウ 武豊町民会館（名古屋フィルハーモニー交響楽団）【全回答数 n=220（件）】

（I）属性について

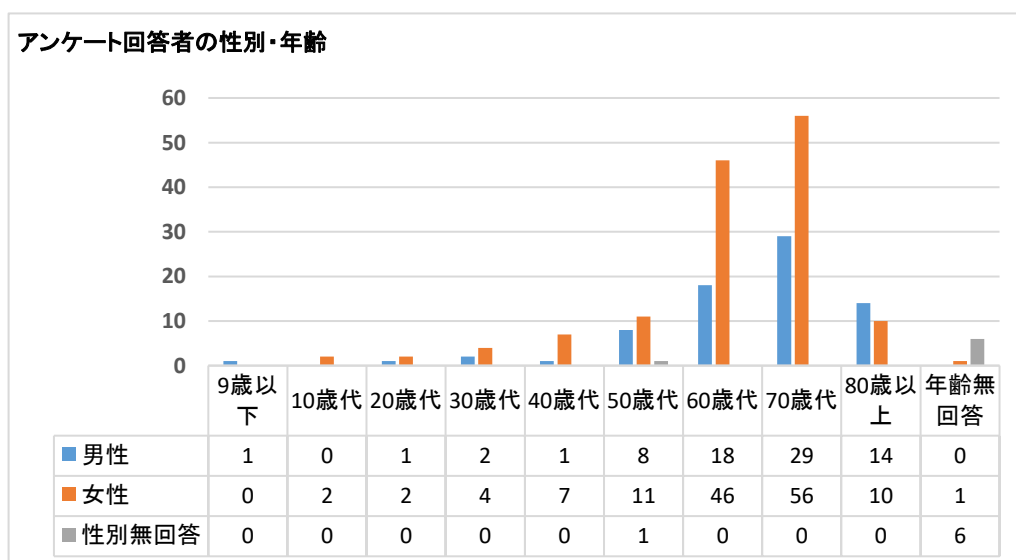
◇【B 性別】【C 年齢】

回答者は女性が 6 割余りを占める。年齢は 60 歳代と 70 歳代が他より比率がかなり高くあわせて 7 割近くになる。次に多い 80 歳代も約 1 割を占め年齢層が高い。

B 性別	回答数	比率①	比率②
男性	74	34.7	33.6
女性	139	65.3	63.2
計	213	100.0	-
無回答	7	-	3.2
計	220	-	100.0

C 年齢	回答数	比率①	比率②
9歳以下	1	0.5	0.5
10歳代	2	0.9	0.9
20歳代	3	1.4	1.4
30歳代	6	2.8	2.7
40歳代	8	3.8	3.6
50歳代	20	9.4	9.1
60歳代	64	30.0	29.1
70歳代	85	39.9	38.6
80歳以上	24	11.3	10.9
計	213	100.0	-
無回答	7	-	3.2
計	220	-	100.0

◇【性別】×【年齢】



性別と年齢をあわせてみると、80 歳代では女性より男性が多くなっている。

◇【E 職業】「専業主夫・主婦」「無職」の比率が高く、あわせて約 6 割である。

E 職業	回答数	比率①	比率②
会社員	27	13.2	12.3
自営業	9	4.4	4.1
公務員	10	4.9	4.5
フリーランス	2	1.0	0.9
パート、アルバイト	23	11.2	10.5
専業主夫・主婦	73	35.6	33.2
学生	5	2.4	2.3
無職	54	26.3	24.5
その他	2	1.0	0.9
計	205	100.0	-
無回答	15	-	6.8
計	220	-	100.0

◇【D居住地】

居住地は＜愛知県尾張知多＞地域だけで 85～90%近くを占める。そのうち武豊町は約 40%、次いで隣接の半田市約 25%、美浜町約 6%、常滑市約 5%と続く。

D居住地	回答数	比率①	比率②
愛知県 名古屋市	5	2.4	2.3
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	8	3.8	3.6
愛知県 尾張海部	1	0.5	0.5
愛知県【尾張知多】	186	88.2	84.5
うち武豊町	82	38.9	37.3
うち武豊町以外	104	49.3	47.3
愛知県 西三河	6	2.8	2.7
三重県	1	0.5	0.5
東京都	4	1.9	1.8
その他	0	0.0	0.0
計	211	100.0	—
無回答	9	—	4.1
計	220	—	100.0

【尾張知多】内訳詳細	回答数	比率①	比率②
半田市	52	24.6	23.6
常滑市	11	5.2	5.0
東海市	0	0.0	0.0
大府市	2	0.9	0.9
知多市	7	3.3	3.2
武豊町	82	38.9	37.3
美浜町	14	6.6	6.4
南知多町	5	2.4	2.3
阿久比町	9	4.3	4.1
東浦町	4	1.9	1.8
愛知県 尾張知多 計	186	88.2	84.5

◇【D居住地】×【性別】、【年齢】

回答者の居住地を尾張知多地域とそれ以外に区分し、武豊町も取り出して性別と年齢の傾向をみると以下の通りとなる。

居住地×性別	回答数(件)				比率(%)			
	男性	女性	性別 無回答	計	男性	女性	性別 無回答	計
愛知県 尾張知多	61	124	1	186	32.8	66.7	0.5	100.0
うち武豊町	26	56	0	82	31.7	68.3	0.0	100.0
愛知県尾張知多以外 すべて	13	12	0	25	52.0	48.0	0.0	100.0
居住地無回答	0	3	6	9	0.0	33.3	66.7	100.0
計	74	139	7	220	33.6	63.2	3.2	100.0

居住地×年齢	回答数(件)										計
	9歳 以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上	年齢 無回答	
愛知県 尾張知多	1	1	2	4	7	19	52	77	22	1	186
うち武豊町	0	0	0	3	6	7	23	31	12	0	82
愛知県尾張知多以外 すべて	0	0	1	2	1	1	12	7	1	0	25
居住地無回答	0	1	0	0	0	0	0	1	1	6	9
計	1	2	3	6	8	20	64	85	24	7	220

居住地×年齢	比率(%)										計
	9歳 以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上	年齢 無回答	
愛知県 尾張知多	0.5	0.5	1.1	2.2	3.8	10.2	28.0	41.4	11.8	0.5	100.0
うち武豊町	0.0	0.0	0.0	3.7	7.3	8.5	28.0	37.8	14.6	0.0	100.0
愛知県尾張知多以外 すべて	0.0	0.0	4.0	8.0	4.0	4.0	48.0	28.0	4.0	0.0	100.0
居住地無回答	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	66.7	100.0
計	0.5	0.9	1.4	2.7	3.6	9.1	29.1	38.6	10.9	3.2	100.0

（前ページ）性別でみると、知多地域は武豊町単独でみても女性の比率が高く、知多地域以外は男性の比率が若干高い傾向がある。年齢では、知多地域には9歳以下から80歳以上まですべての回答がある。知多地域全体とそれ以外の2区分の比率を比較すると、知多地域以外では60歳代が特に高いのに対し、武豊町知多地域は70歳代、80歳代が高い。

（Ⅱ）公演について

◇【G 公演情報入手先】【J 来場動機】（複数回答）

G情報入手先（＊複数回答）	回答数
ダイレクトメール（愛知県芸術劇場）	3
ダイレクトメール（武豊町民会館）	67
情報誌「AAC」（愛知芸術文化センター）	5
チラシ（折込み）	9
チラシ（愛知芸術文化センター／愛知県芸術劇場）	5
チラシ（武豊町民会館）	67
チラシ（その他）	8
ポスター	22
テレビ・ラジオ	0
新聞（記事）	8
新聞（広告）	17
雑誌	0
フリーペーパー	2
看板など（愛知芸術文化センター内、地下2階ビジョン、地下鉄栄駅）	2
吊りバナー広告など	0
ウェブサイト（愛知県芸術劇場）	4
ウェブサイト（武豊町民会館）	11
他のウェブサイト	6
メールマガジン（愛知県芸術劇場）	1
メールマガジン（武豊町民会館）	3
Twitter（愛知県芸術劇場）	0
Twitter（武豊町民会館）	2
Facebook（愛知県芸術劇場）	0
Facebook（武豊町民会館）	3
YouTube	0
友人・知人からの情報	56
広報たけとよ	31
ゆめプラだより	59
学校・保育園	2
その他	3
計	396
無回答	5

J来場動機（＊複数回答）	回答数
オーケストラに興味があった	108
名古屋フィルハーモニー交響楽団に興味があった	145
指揮者に興味があった	25
ソリストに興味があった	18
演奏曲に興味があった	59
ライブエールプロジェクトに興味があった	5
コンサートを生で鑑賞したかった	120
出かけやすい曜日・開演時間だった	39
知人・友人・家族から誘われた	53
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	5
武豊町民会館主催の公演を毎回楽しみにしている	79
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	10
その他	5
計	671
無回答	3

(前ページ) 武豊町民会館による DM、設置チラシ、情報誌からの公演情報入手者が多い。
来場動機は、名古屋フィルへの興味が最も多く、オーケストラへの興味を上回っている。
コンサートを生で鑑賞したかったという項目も多い。

◇【H 内容満足度】【I チケット価格満足度】

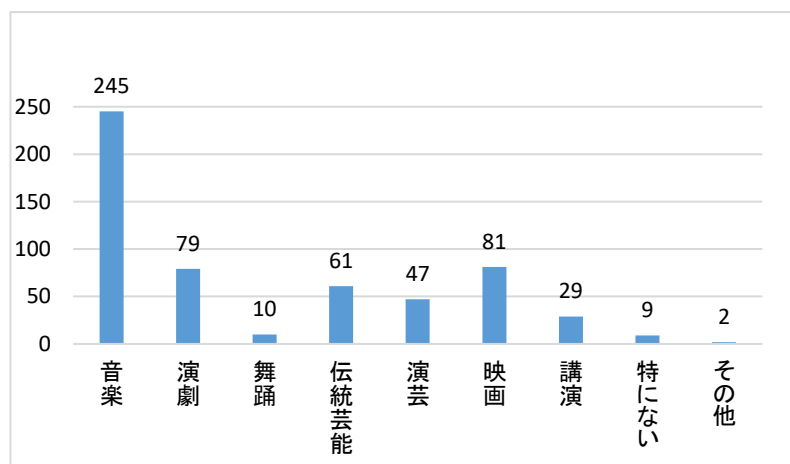
内容満足度は無回答を除けば「とてもそう思う」で 82.5%、無回答を入れると 70.9%である。
チケット価格(全席 1000 円)の満足度は、無回答を除けば「とてもそう思う」で 88%、
無回答を入れると 83.6%である。

H内容満足度	回答数	比率①	比率②	I価格満足度	回答数	比率①	比率②
とてもそう思う	156	82.5	70.9	とてもそう思う	184	88.0	83.6
そう思う	28	14.8	12.7	そう思う	19	9.1	8.6
まあそう思う	4	2.1	1.8	まあそう思う	5	2.4	2.3
あまりそう思わない	0	0.0	0.0	あまりそう思わない	0	0.0	0.0
そう思わない	1	0.5	0.5	そう思わない	0	0.0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0	0.0	まったくそう思わない	1	0.5	0.5
計	189	100.0	-	計	209	100.0	-
無回答	31	-	14.1	無回答	11	-	5
計	220	-	100.0	計	220	-	100.0

(Ⅲ) 劇場について

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】(複数回答計 563 件、回答者 200・無回答 20 件)

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、演芸のジャンルごとに区分し、映画、講演を別で示すと、以下の通りである。



◇【W オケフェスへの来場】

オーケストラフェスティバルの過去の3公演への来場者は、「来場していない」が 224 件のうち 190 件(約 85%)で、1 公演以上に来場した回答者は 16 件(約 7%)であった。

Wオケフェス来場(複数回答)	回答数
愛知県芸術劇場での公演に来場した	9
サランカホールでの公演に来場した	3
長久手市文化の家での公演に来場した	4
来場していない	190
無回答	18
計	224

◇【L 劇場来場回数】武豊町民会館への来場回数は、「年1～2回」「年3～5回」で約60%である。「はじめて」訪れたという回答は約15%あった。

L劇場来場回数	回答数	比率①	比率②
はじめて	35	16.4	15.9
年1～2回	67	31.3	30.5
年3～5回	64	29.9	29.1
年6回以上	48	22.4	21.8
計	214	100.0	—
無回答	6	—	2.7
計	220	—	100.0

◇【L 劇場来場回数】×【年齢】【居住地】年齢と居住地ごとに劇場来場回数をみると、「はじめて」訪れた回答者は、年齢層があがるにつれて比率がほぼ低くなるものの、どの年代もゼロはない。居住地では知多地域以外で比率が高くなる。「はじめて」の35件のうち知多地域以外は20件（約6割）で知多地域は15件（約4割）であった。

L劇場来場回数 (年齢別)	回答数(件)					比率(%)				
	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
9歳以下	1	0	0	0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
10歳代	1	1	0	0	2	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	2	1	0	0	3	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0
30歳代	4	1	1	0	6	66.7	16.7	16.7	0.0	100.0
40歳代	1	2	5	0	8	12.5	25.0	62.5	0.0	100.0
50歳代	3	12	2	3	20	15.0	60.0	10.0	15.0	100.0
60歳代	10	18	20	16	64	15.6	28.1	31.3	25.0	100.0
70歳代	10	23	32	20	85	11.8	27.1	37.6	23.5	100.0
80歳以上	2	9	4	9	24	8.3	37.5	16.7	37.5	100.0
年齢無回答	1	0	0	0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	35	67	64	48	214	16.4	31.3	29.9	22.4	100.0

L劇場来場回数 (居住地別)	回答数(件)					比率(%)				
	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
愛知県 名古屋市	5	0	0	0	5	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	5	3	0	0	8	62.5	37.5	0.0	0.0	100.0
愛知県 尾張海部	0	0	1	0	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
愛知県 尾張知多 武豊町	3	24	34	21	82	3.7	29.3	41.5	25.6	100.0
愛知県 尾張知多 武豊町以外	12	39	26	27	104	11.5	37.5	25.0	26.0	100.0
愛知県 西三河	5	0	1	0	6	83.3	0.0	16.7	0.0	100.0
三重県	1	0	0	0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
東京都	4	0	0	0	4	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
居住地無回答	0	1	2	0	3	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0
計	35	67	64	48	214	16.4	31.3	29.9	22.4	100.0

(Ⅳ) 新型コロナウイルス感染症について

i 感染症対策

◇【N 劇場のコロナ対策】感染症対策への評価は以下の通りである。

N劇場のコロナ感染症対策は十分か	回答数	比率①	比率②
とてもそう思う	85	42.5	38.6
そう思う	94	47.0	42.7
まあそう思う	20	10.0	9.1
あまりそう思わない	1	0.5	0.5
そう思わない	0	0.0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0	0.0
計	200	100.0	—
無回答	20	—	9.1
計	220	—	100.0

◇【O 対策が十分でないと感じた場合の理由】前項目「あまりそう思わない」（1 件）理由は「むだなおしゃべりをしている人が多い」であった。

◇【X 間隔を空けない配席時の来場可能性】

今回のように 1 席ずつの間隔を空けない場合に、来場可能性はどうかは「来場する」「迷うが来場する」をあわせると約 7 割となったが、判断に迷う回答も一定数みられた。

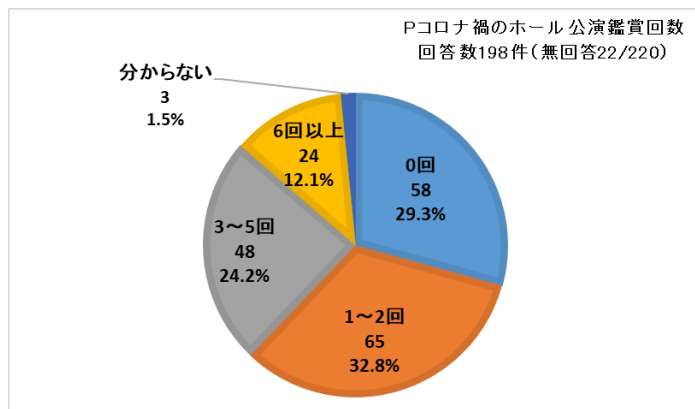
X間隔を空けない配席時の来場可能性	回答数	比率①	比率②
来場する	72	36.2	32.7
迷うが来場する	79	39.7	35.9
迷って見合わせる	18	9.0	8.2
見合わせる	14	7.0	6.4
分からない	16	8.0	7.3
計	199	100.0	-
無回答	21	-	9.5
計	220	-	100.0

ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

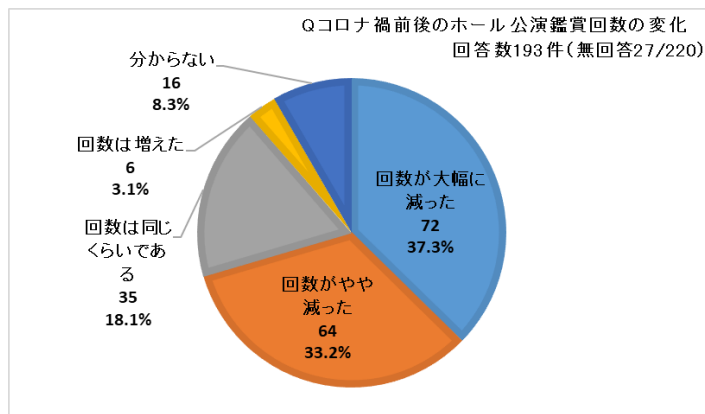
以降はコロナをめぐる鑑賞動向を 7 項目聞いた結果である。6 項目までは無回答がいずれも 10% 余りあり、最後の 7 項目は 50% 余りあったが、それらを除きグラフ化する。

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】

コロナ下 2021 年 4 月～9 月にホール・劇場等で生の公演を鑑賞した回数を聞くと、「0 回」「年 1～2 回」「3～5 回」が各 3 割程度で、「6 回以上」は 12.1% と低くなった。



◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019 年 4 月～9 月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」が 4 割近くとなった。「やや減った」を合わせると約 7 割を占め、コロナ下で足が遠のいた傾向がうかがえる。



◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】×【性別】、【年齢】

鑑賞回数の変化を性別、年齢ごとに集計すると以下の通りである。

(性別) 男性は「やや減った」が23.2%、「同じくらい」が24.6%であるのに対し、女性は「やや減った」が39%と男性より比率が高く、「同じくらい」が14.6%とより低い。

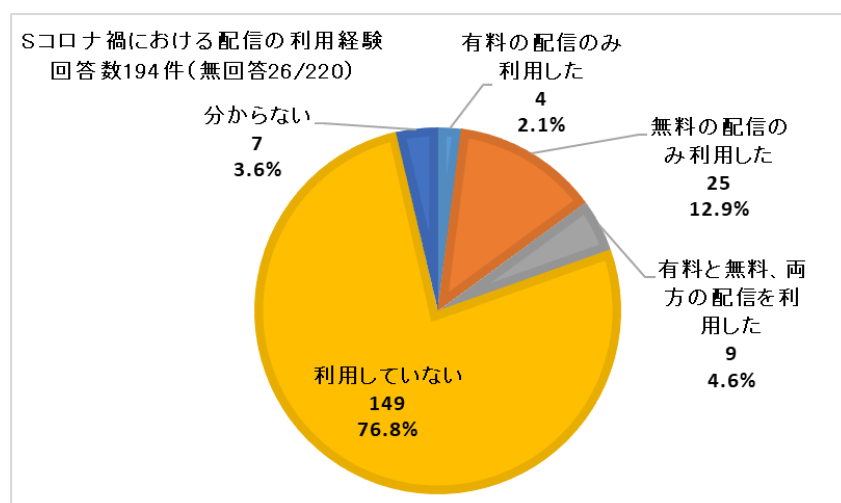
Qコロナ禍前後の回数変化 (性別)	回答数(件)						比率(%)					
	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
男性	26	16	17	4	6	69	37.7	23.2	24.6	5.8	8.7	100.0
女性	45	48	18	2	10	123	36.6	39.0	14.6	1.6	8.1	100.0
性別無回答	1	0	0	0	0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
計	72	64	35	6	16	193	37.3	33.2	18.1	3.1	8.3	100.0

(年齢) 回答数が揃う40代以上を比較すると、50代の「増えた」、80代以上の「大幅に減った」に、他の年齢よりも比率の高い傾向がみられた。

Qコロナ禍前後の回数変化 (年齢別)	回答数(件)						比率(%)					
	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
10歳代	2	0	0	0	0	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	0	0	1	0	2	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	100.0
30歳代	0	3	1	0	2	6	0.0	50.0	16.7	0.0	33.3	100.0
40歳代	1	2	3	0	0	6	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	100.0
50歳代	5	9	3	2	1	20	25.0	45.0	15.0	10.0	5.0	100.0
60歳代	27	17	12	2	2	60	45.0	28.3	20.0	3.3	3.3	100.0
70歳代	28	27	12	2	7	76	36.8	35.5	15.8	2.6	9.2	100.0
80歳以上	9	6	3	0	1	19	47.4	31.6	15.8	0.0	5.3	100.0
年齢無回答	0	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	72	64	35	6	16	193	37.3	33.2	18.1	3.1	8.3	100.0

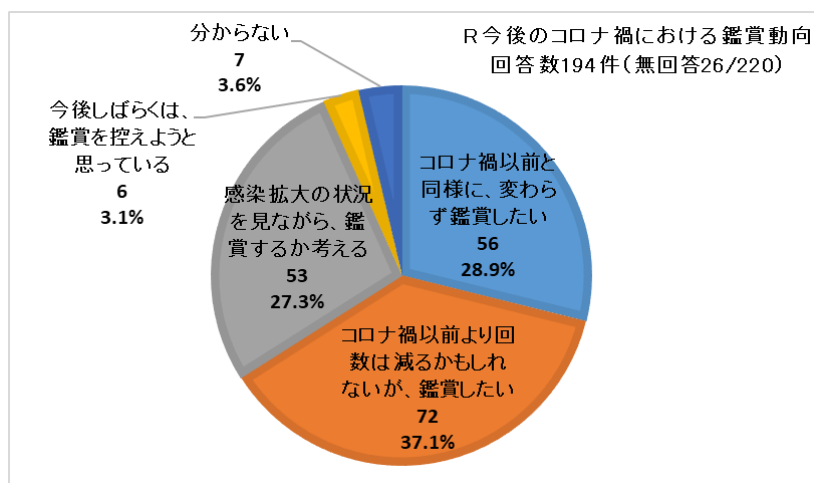
◇【S コロナ禍における配信の利用経験】

コロナ下2021年4月～9月に、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、「利用していない」が76.8%と極めて高い結果となった。



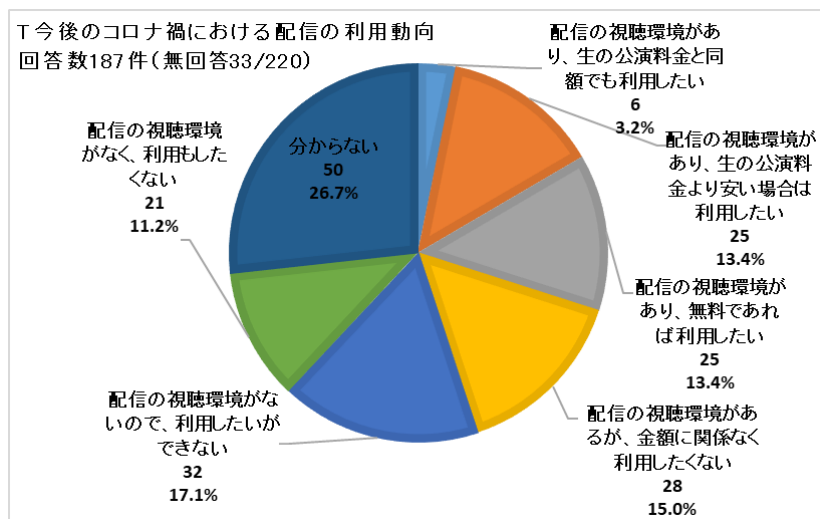
◇【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかについては、「回数は減ったとしても鑑賞したい」が4割弱、「以前と同様に変わらずに鑑賞したい」「感染拡大の状況をみて考える」がそれぞれ3割弱と回答がわかれた。



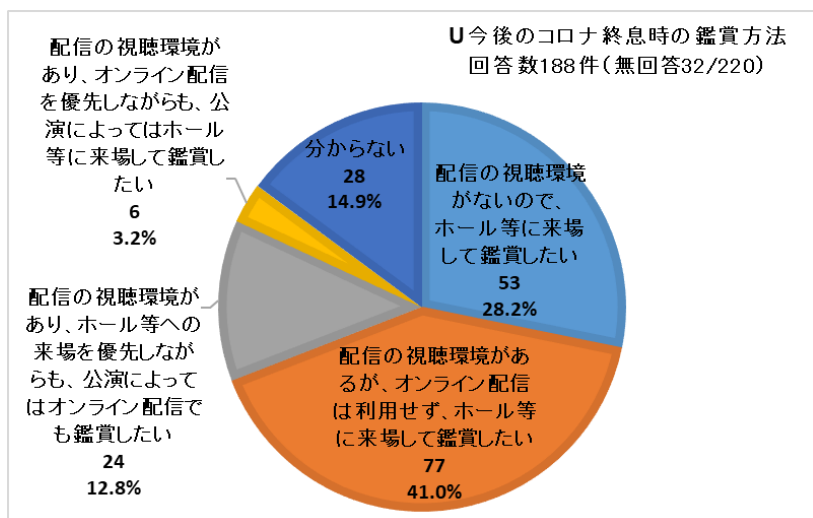
◇【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】

コロナ禍の配信視聴の利用については、回答選択肢すべてに回答がわかれ、うち「分からない」が3割弱を占めている。また「配信に視聴環境がないので利用したいができない」「配信の視聴環境がなく利用もしたくない」という回答者もあわせて3割弱であり、配信の利用に消極的な回答が一定数を占めた。

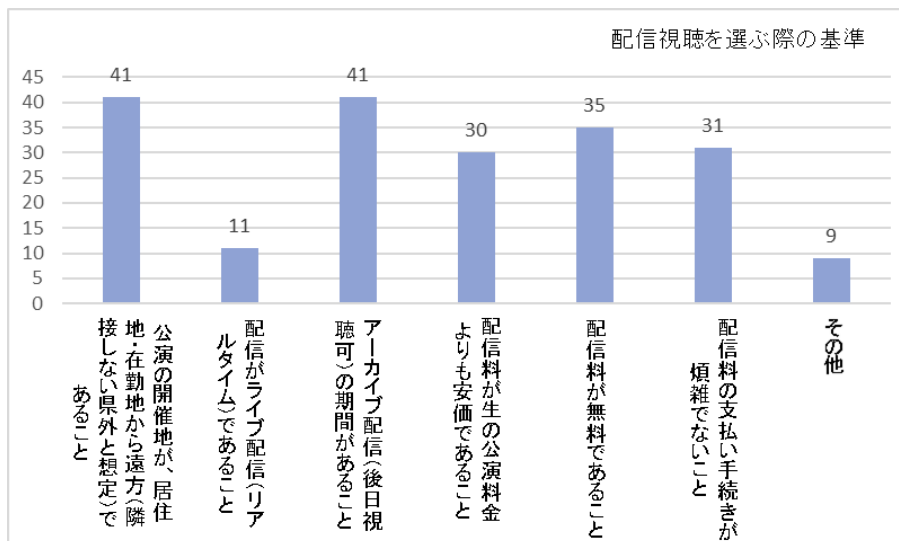


◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール等で公演のオンライン配信がある場合は、どのように鑑賞するかを聞くと、次ページの通りである。「(配信利用ではなく)ホール等に来場して鑑賞したい」という回答をあわせると約7割と高い比率となった。このうち「視聴環境がないためにホールに来場する」が約3割と一定数を占めている。



◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】(複数回答計 198 件、回答者 104・無回答 116 件) 配信視聴の条件は以下の結果となった。



エ 長久手市文化の家（愛知室内オーケストラ）【全回答数 n=130（件）】

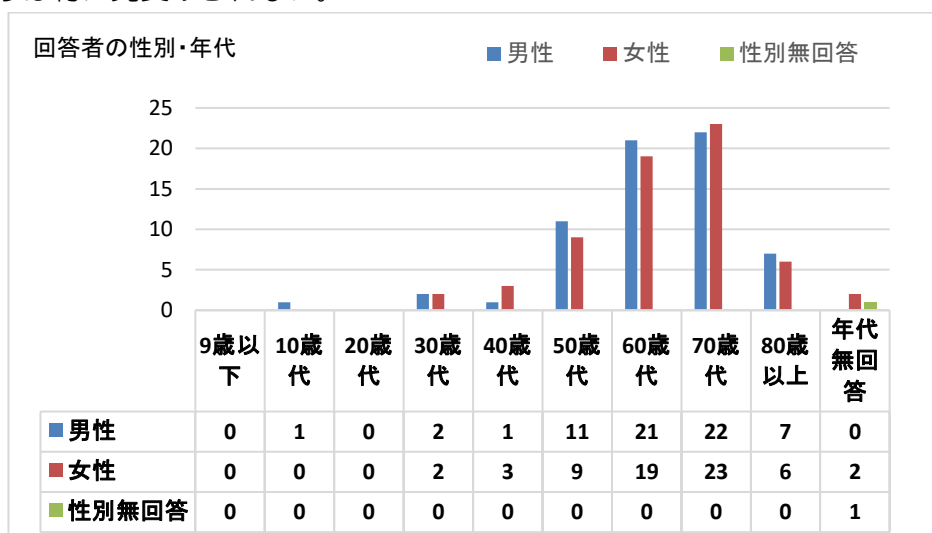
（I）属性について

◇【B 性別】【C 年齢（年代）】

性別	回答数	比率	回答数内訳	
			紙面	Web
男性	65	50.0	55	10
女性	64	49.2	61	3
無回答	1	0.8	1	0
計	130	100.0	117	13

年齢	回答数	比率	回答数内訳	
			紙面	Web
9歳以下	0	0.0	0	0
10歳代	1	0.8	0	1
20歳代	0	0.0	0	0
30歳代	4	3.1	3	1
40歳代	4	3.1	4	0
50歳代	20	15.4	17	3
60歳代	40	30.8	32	8
70歳代	45	34.6	45	0
80歳以上	13	10.0	13	0
無回答	3	2.3	3	0
計	130	100.0	117	13

回答者（紙面、Web 回答計 130 件）の男女比はほぼ半々であった。年代は60代、70代に多く約 65%を占める。以下、回答者の性別と年代をあわせてみると、年代ごとに男女比の偏りは特に見受けられない。



◇【D 居住地】【住まい】

「住まい」は以下の通り、「長久手市」「名古屋市」「名古屋市、長久手市以外の愛知県内」が 25%～35%ずつを占めた。愛知県を合計すると 111 件で全体の 94%である。なお、Web 回答は「長久手市」の選択区分は特に設けず「名古屋市、海部、知多を除く尾張地域」に含まれる。Web 回答は 13 件すべてが愛知県在住者であった。

紙面回答 住まい	回答数	比率
愛知県内	41	35.0%
名古屋市	39	33.3%
長久手市	31	26.5%
県外	5	4.3%
無回答	1	0.9%
計	117	100.0%

Web回答 居住地	回答数	比率
愛知県 名古屋市	8	61.5
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	3	23.1
愛知県 西三河	2	15.4
計	13	100.0

◇【D居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地を愛知県長久手市とそれ以外に区分し、隣接する名古屋市も分けて性別と年齢をみると以下の通りであった。なお Web 回答は長久手市の区分はないため、「愛知県尾張（名古屋市、海部、知多地域以外）」の回答 3 件は居住地無回答として扱った。（性別）全体で見ると男女比は半々であるが、長久手市のみでみると女性比率が、長久手市以外では男性比率が高くなった。

居住地×性別	回答数(件)				比率(%)			
	男性	女性	性別無回答	計	男性	女性	性別無回答	計
愛知県 長久手市	11	20	0	31	35.5	64.5	0.0	100.0
愛知県 長久手市以外 すべて	52	43	0	95	54.7	45.3	0.0	100.0
*うち名古屋市	23	24	0	47	48.9	51.1	0.0	100.0
居住地無回答	2	1	1	4	50.0	25.0	25.0	100.0
計	65	64	1	130	50.0	49.2	0.8	100.0

（年齢）長久手市のみでは70歳代、80歳代の比率が高い。長久手市以外では60歳代の比率が高い。

居住地×年齢	回答数(件)									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢無回答	計
愛知県 長久手市	0	0	1	1	3	5	13	7	1	31
愛知県 長久手市以外 すべて	1	0	3	3	15	34	32	6	1	95
*うち名古屋市	0	0	2	0	3	23	16	3	0	47
居住地無回答	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4
計	1	0	4	4	20	40	45	13	3	130
居住地×年齢	比率(%)									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	年齢無回答	計
愛知県 長久手市	0.0	0.0	3.2	3.2	9.7	16.1	41.9	22.6	3.2	100.0
愛知県 長久手市以外 すべて	1.1	0.0	3.2	3.2	15.8	35.8	33.7	6.3	1.1	100.0
*うち名古屋市	0.0	0.0	4.3	0.0	6.4	48.9	34.0	6.4	0.0	100.0
居住地無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	100.0
計	0.8	0.0	3.1	3.1	15.4	30.8	34.6	10.0	2.3	100.0

（Ⅲ）公演について

◇【H（公演）内容満足度】

公演内容は、5段階評価のうち「とても良かった」という回答者が一番多く約6割で、「良かった」とあわせると約9割となり、多くの回答者にとって満足度の高い公演だったようである。Web回答（次ページ、6段階評価）でも「とてもそう思う」が約6割で、「そう思う」とあわせ約9割となった。

紙面回答 公演内容	回答数	比率
とても良かった	72	61.5%
良かった	33	28.2%
普通	5	4.3%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
無回答	7	6.0%
計	117	100.0%

Web回答 内容満足度	回答数	比率
とてもそう思う	8	61.5
そう思う	4	30.8
まあそう思う	1	7.7
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	13	100.0

◇【初回の公演情報源】【G 情報入手先（複数回答）】

本公演の情報を初めて知ったきっかけを聞くと、「チラシ」が30%と最も多く次に「新聞」「（文化の家からの）DM」がそれぞれ約20%ずつで、あわせて7割近くとなった。Web回答では、本公演の情報をみかけた媒体をすべて回答してもらったところ、「チラシ」「（愛知県芸術劇場からの）DM」が多い。全体として「チラシ」が公演告知媒体として有効だったようである。

紙面回答 本公演を何で初めて知ったか	回答数	比率
チラシ	36	30.8%
新聞	25	21.4%
DM	22	18.8%
出演者HP・SNS	9	7.7%
文化の家HP・SNS	7	6.0%
その他	7	6.0%
口コミ	4	3.4%
情報誌等	3	2.6%
無回答	4	3.4%
計	117	100.0%

Web回答 情報入手先(複数回答)	回答数	比率
ダイレクトメール(愛知県芸術劇場)	4	16.7
ダイレクトメール(長久手市文化の家)	1	4.2
情報誌「AAC」(愛知芸術文化文化センター)	1	4.2
チラシ	6	25.0
ポスター	2	8.3
テレビ・ラジオ	0	0.0
新聞記事	0	0.0
新聞広告	2	8.3
雑誌	0	0.0
フリーペーパー	0	0.0
看板など(愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅)	1	4.2
吊りバナー広告など	0	0.0
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	2	8.3
ウェブサイト(長久手市文化の家)	2	8.3
他のウェブサイト	0	0.0
メールマガジン(愛知県芸術劇場)	0	0.0
メールマガジン(長久手市文化の家)	0	0.0
Twitter(愛知県芸術劇場)	0	0.0
Twitter(長久手市文化の家)	0	0.0
Facebook(愛知県芸術劇場)	0	0.0
Facebook(長久手市文化の家)	0	0.0
LINE(長久手市文化の家)	0	0.0
Instagram(長久手市文化の家)	0	0.0
友人・知人からの情報	1	4.2
その他	2	8.3
計	24	100.0

◇【来場理由】【J 来場動機】(複数回答)

本公演に来場した理由(動機)を複数回答で聞くと、「内容への興味」「料金が手頃」がそれぞれ3割程度を占めた。Web回答では、オーケストラや指揮者など内容に関する興味の項目をあわせると25件で全体の65%ほどを占めた(「料金が手頃」の選択肢は設定なし)。

紙面回答 来場理由(複数回答)	回答数	比率
内容に興味を引かれた	73	34.8%
料金が手頃	68	32.4%
出演者を知っている	28	13.3%
文化の家が主催するもの	23	11.0%
知人に誘われた	15	7.1%
その他	3	1.4%
無回答	0	0.0%
計	210	100.0%

Web回答 来場動機(複数回答)	回答数	比率
オーケストラに興味があった	5	13.2
愛知室内オーケストラに興味があった	8	21.1
指揮者に興味があった	1	2.6
ソリストに興味があった	3	7.9
演奏曲に興味があった	6	15.8
ライブエールプロジェクトに興味があった	2	5.3
コンサートを生で鑑賞したかった	5	13.2
出かけやすい曜日・開演時間だった	4	10.5
知人・友人・家族から誘われた	1	2.6
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	0	0.0
長久手市文化の家主催の公演を毎回楽しみにしている	1	2.6
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	2	5.3
その他	0	0.0
計	38	100.0

（Ⅲ）劇場について

◇【L 劇場来場回数】【文化の家への来館頻度】

文化の家への来館頻度は「半年に1回以上」という回答が一番多い。「今回が初めて」も19件と一定の回答があった。Web 回答でも来館回数を聞き、「はじめて」の回答は4件あった。これらをあわせると「はじめて」の来館者は130件のうち23件（17.7%）である。

紙面回答 文化の家への来館頻度	回答数	比率
半年に1回以上	31	26.5%
年に1回以上	23	19.7%
今回が初めて	19	16.2%
数年に1回以上	16	13.7%
月に1回以上	14	12.0%
週に1回以上	8	6.8%
無回答	6	5.1%
計	117	100.0%

Web回答 劇場への回数	回答数	比率
はじめて	4	30.8
年1～2回	6	46.2
年3～5回	2	15.4
年6回以上	1	7.7
計	13	100.0

◇【L 劇場来場回数（はじめて）】×【性別】【居住地】

今回はじめて長久手市文化の家に訪れたという回答を、性別、居住地ごとにみる。年齢別ではもともと回答者のうち比率の高い60歳代が43.5%である。愛知県（長久手、名古屋市除く）在住者は回答者の35%のみしか占めないが、「はじめて」の回答者には50%と多くを占めた。一方、長久手市もゼロではなかった。

	回答数(件)	比率(%)
L劇場来場回数 (年齢別)	今回がはじめて	
10歳代	0	0.0
20歳代	0	0.0
30歳代	2	8.7
40歳代	0	0.0
50歳代	7	30.4
60歳代	10	43.5
70歳代	2	8.7
80歳以上	1	4.3
年齢無回答	1	4.3
計	23	100.0

	回答数(件)	比率(%)
L劇場来場回数 (居住地別)	今回がはじめて	
長久手市	2	8.7
名古屋市	8	34.8
愛知県	11	47.8
県外	1	4.3
無回答	1	4.3
計	23	100.0

■愛知県芸術劇場のダンス公演

オ「トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学」【全回答数 n=40（件）】

◇公演ごとの来場者数とアンケート回答率は以下の通りである。

公演来場者数	来場者数	販売可能 席数	入場率
10/1(金) 19:00	86	181	47.5
10/2(土) 15:00	104	179	58.1
10/3(日) 15:00	111	179	62.0
計	301	539	55.8
A公演日別アンケート 回答数	回答数	公演毎比率	回答率
10/1(金) 19:00	12	30.0	14.0
10/2(土) 15:00	13	32.5	12.5
10/3(日) 15:00	15	37.5	13.5
計	40	100.0	13.3

（I）属性について

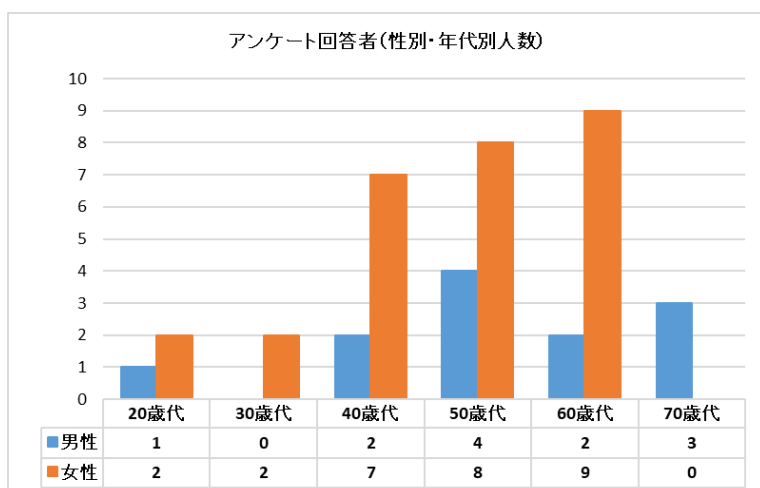
◇【B性別】回答数 40 件のうち、女性が 7 割である。

B性別	回答数	比率
男性	12	30.0
女性	28	70.0
計	40	100.0

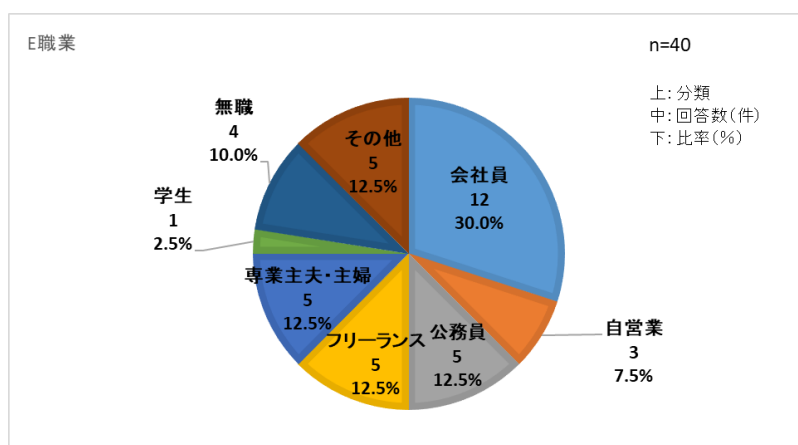
◇【C年齢】40代～60代で32件、8割を占めている。

C年齢	回答数	比率
9歳以下	0	0.0
10歳代	0	0.0
20歳代	3	7.5
30歳代	2	5.0
40歳代	9	22.5
50歳代	12	30.0
60歳代	11	27.5
70歳代	3	7.5
80歳以上	0	0.0
	40	100.0

◇【性別】×【年齢】40代～60代の女性が多い。30代は全て女性、70代は全て男性である。

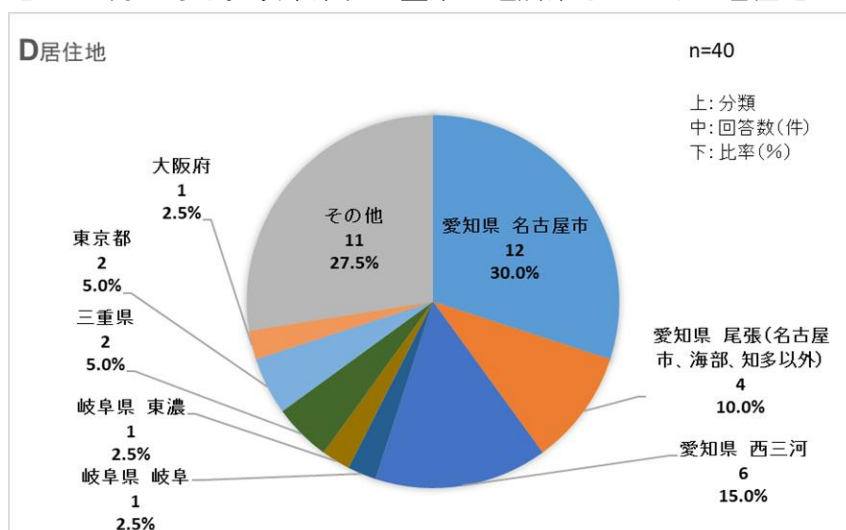


◇【E 職業】 会社員が一番多いものの、他の職業も多く占める多様な構成となっている。



◇【D 居住地】

回答のあった地域の構成をみると、名古屋市が3割程度であり、愛知県を合計すると居住地が55%である。岐阜県、三重県の近隣県を加えると居住地が65%である。



◇【D 居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地を愛知県名古屋市とそれ以外に区分し、性別と年齢の傾向をみると、名古屋市はそれ以外と比較して、女性比率と40歳代比率の比率が高めの傾向がある。

居住地×性別	回答数(件)			比率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
愛知県 名古屋市	3	9	12	25.0	75.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	9	19	28	32.1	67.9	100.0
計	12	28	40	30.0	70.0	100.0

居住地×年齢	回答数(件)						
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
愛知県 名古屋市	1	0	4	3	4	0	12
愛知県 名古屋市以外 すべて	2	2	5	9	7	3	28
計	3	2	9	12	11	3	40

居住地×年齢	比率(%)						
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
愛知県 名古屋市	8.3	0.0	33.3	25.0	33.3	0.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	7.1	7.1	17.9	32.1	25.0	10.7	100.0
計	7.5	5.0	22.5	30.0	27.5	7.5	100.0

（Ⅱ）公演について

◇【G 公演情報入手先】【J 来場動機】（複数回答）

愛知県芸術劇場から発信される情報に触れている人が多く、動機はダンス公演、内容・企画・出演者への興味が深い。

G情報入手先	回答数
愛知県芸術劇場からのDM	18
チラシ	16
情報誌AAC	13
ポスター・看板など(愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅)	7
メルマガ(劇場メンバーズニュース)	8
新聞	1
テレビ・ラジオ	0
雑誌	0
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	9
他のウェブサイト	7
Twitter	11
Facebook	2
YouTube	0
フリーペーパー	0
友人・知人からの情報	4
その他	4
計	100

J来場動機	回答数
ダンスが好き	34
公演の内容・テーマに興味があった	31
演目に興味があった	15
出演者に興味があった	29
出かけやすい曜日・開演時間だった	9
知人・友人・家族から誘われた	3
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	0
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	10
その他	5
計	136

◇【H 内容満足度】【I チケット価格満足度】

内容満足度は「とてもそう思う」「そう思う」で 97.5%を占め非常に高い。
チケット価格の満足度も「とてもそう思う」「そう思う」で 85%となった。

H内容満足度	回答数	比率
とてもそう思う	31	77.5
そう思う	8	20.0
まあそう思う	0	0.0
あまりそう思わない	1	2.5
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	40	100.0

I価格満足度	回答数	比率
とてもそう思う	26	65.0
そう思う	8	20.0
まあそう思う	6	15.0
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	40	100.0

(Ⅲ) 劇場について

◇【L 劇場来場回数】愛知県芸術劇場への来場回数を聞くと、来場回数が「年に 1～2 回」と「年 3～5 回」が多く、合わせて 8 割近くを占めた。

L 劇場来場回数	回答数	比率
はじめて	2	5.0
年1～2回	17	42.5
年3～5回	14	35.0
年6回以上	7	17.5
計	40	100.0

◇【L 劇場来場回数】×【居住地】【年齢】

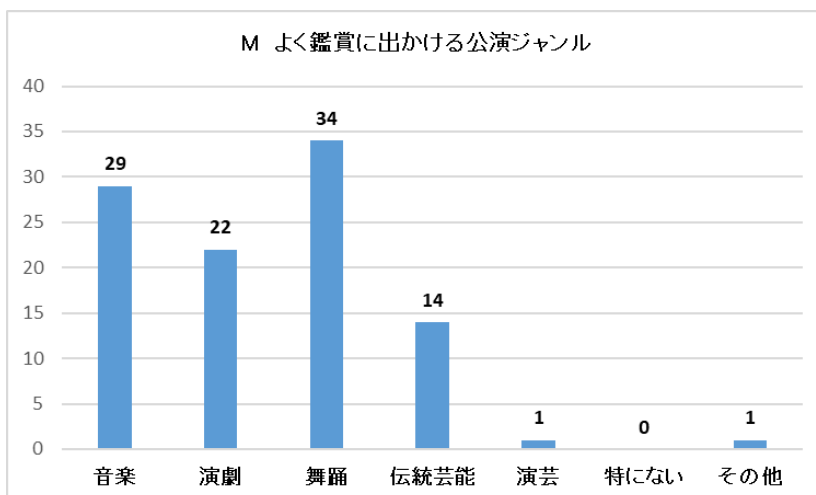
居住地と年齢別に劇場来場回数をみると、年齢別では際立った傾向はつかみにくいですが、居住地では名古屋市在住者の回数が多い傾向がある。（「はじめて」は「その他」の来場者）

L 劇場来場回数 (年齢別)	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
9歳以下	0	0	0	0	0
10歳代	0	0	0	0	0
20歳代	0	2	1	0	3
30歳代	1	1	0	0	2
40歳代	0	1	4	4	9
50歳代	0	7	4	1	12
60歳代	0	5	4	2	11
70歳代	1	1	1	0	3
80歳以上	0	0	0	0	0
計	2	17	14	7	40

L 劇場来場回数 (居住地別)	はじめて	年1～2回	年3～5回	年6回以上	計
愛知県 名古屋市	0	3	5	4	12
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多以外)	0	3	0	1	4
愛知県 西三河	0	2	3	1	6
岐阜県 岐阜	0	1	0	0	1
岐阜県 東濃	0	0	1	0	1
三重県	0	1	1	0	2
東京都	0	2	0	0	2
大阪府	0	0	1	0	1
その他	2	5	3	1	11
計	2	17	14	7	40

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計 101 件）

舞踊ジャンルが多いものの、それに偏ることはなく音楽や演劇の回答も多かった。



(Ⅳ) 新型コロナウイルス感染症について

i 感染症対策

◇【N 劇場のコロナ対策】愛知県芸術劇場の感染症対策への評価は以下の通りで、概ね良好ではあるが、「とてもそう思う」より「そう思う」の評価の方が高くなっている。

N劇場のコロナ感染症対策は十分か	回答数	比率
とてもそう思う	12	30.0
そう思う	14	35.0
まあそう思う	11	27.5
あまりそう思わない	2	5.0
そう思わない	1	2.5
まったくそう思わない	0	0.0
	40	100.0

◇【O 対策が十分でないと感じた場合の理由】以下のコメントがあった。

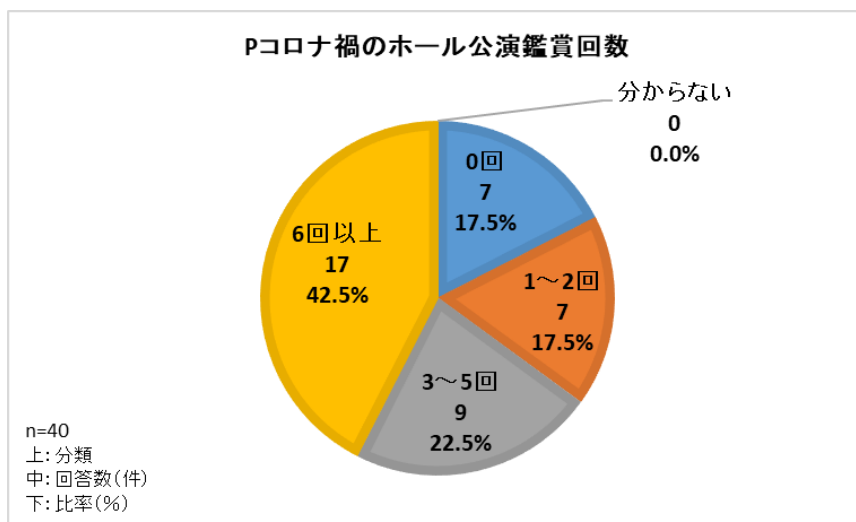
「満席であった点と規制退場を実施しなかった点は他の劇場と比べて違和感を与える点でした。個人的にはこれでいいかとは思いますが、一応指摘しておきます。」

「席を空けて座れなかったから。自分は一席空けて座ったが、後から詰めて座られたので、全く意味がなかった。座れる席を一席おきにする位、バツをつけた紙を一枚置く程度で出来たと思う。」

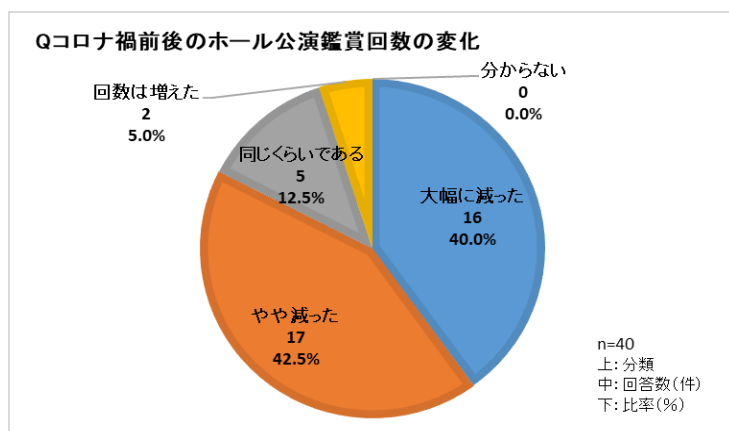
→座席の空席・間隔がなかった点が不満に繋がっているようである。

ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】コロナ下の2021年4月～9月に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞する回数を聞くと、「6回以上」の回答が一番多く約4割を占めた。少なくとも1回以上鑑賞した回答者は全体の約8割である。



◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019 年 4 月～9 月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」「やや減った」回答者を合わせると、約 8 割であった。一方で変化のない回答者も一定数いる。



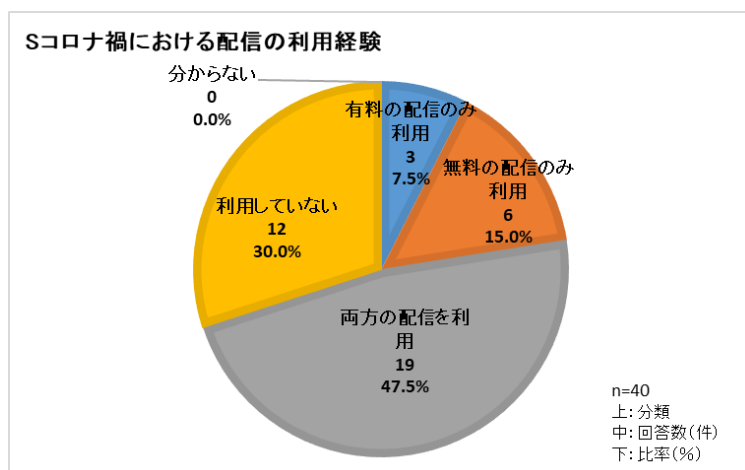
◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】×【性別】【年齢】

鑑賞回数の変化を性別でみると、男性は「やや減った」回答者が、女性は「大幅に減った」回答者が一番多い。なお「増えた」2件は 20 代、30 代の回答であった。

Qコロナ禍前後の回数変化(性別)	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
男性	4	7	0	1	0	12
女性	12	10	5	1	0	28
計	16	17	5	2	0	40

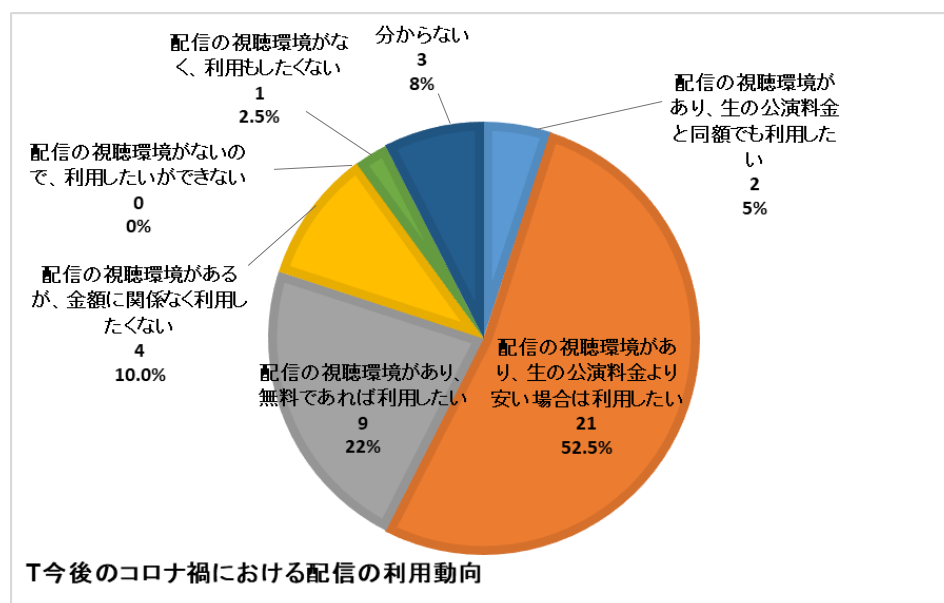
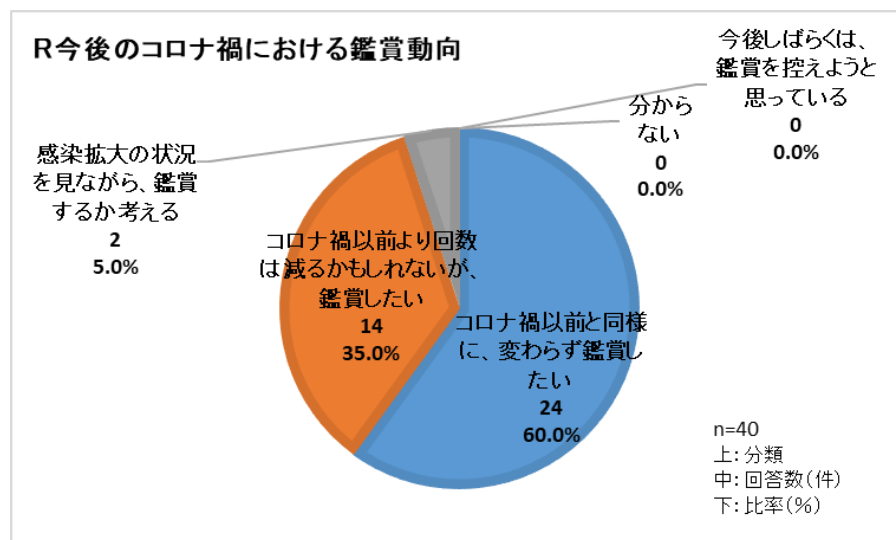
Qコロナ禍前後の回数変化(年代別)	大幅に減った	やや減った	同じくらいである	増えた	分からない	計
20歳代	0	2	0	1	0	3
30歳代	1	0	0	1	0	2
40歳代	4	2	3	0	0	9
50歳代	5	7	0	0	0	12
60歳代	3	6	2	0	0	11
70歳代	3	0	0	0	0	3
計	16	17	5	2	0	40

◇【S コロナ禍における配信の利用経験】2021 年 4 月～9 月までに、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、7 割が有料あるいは無料の配信を利用したと回答した。うち有料・無料両方の配信を利用した割合が高い。



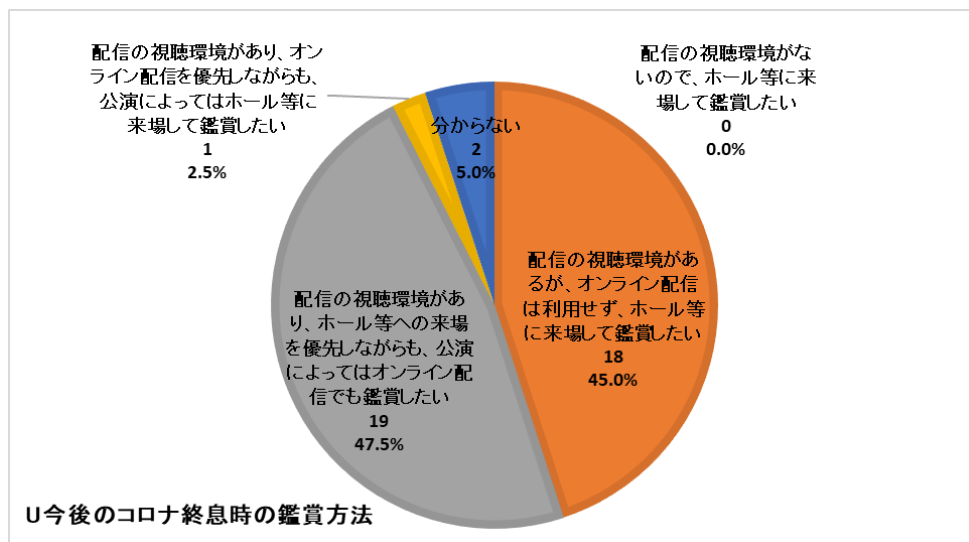
◇【R今後のコロナ禍における鑑賞の動向】【T今後のコロナ禍における配信の利用動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかを聞いたところ、コロナ禍以前と同様、あるいは減少しても鑑賞したいという回答が95%であった。一方で、コロナ禍で配信による視聴を利用したいという回答も合計で約8割であり、ホール等への来場と配信を両方楽しみたいという鑑賞態度が垣間見える。ただし、配信利用の際には、価格が生公演よりも安い、あるいは無料であることを条件とする傾向が高くなっている。



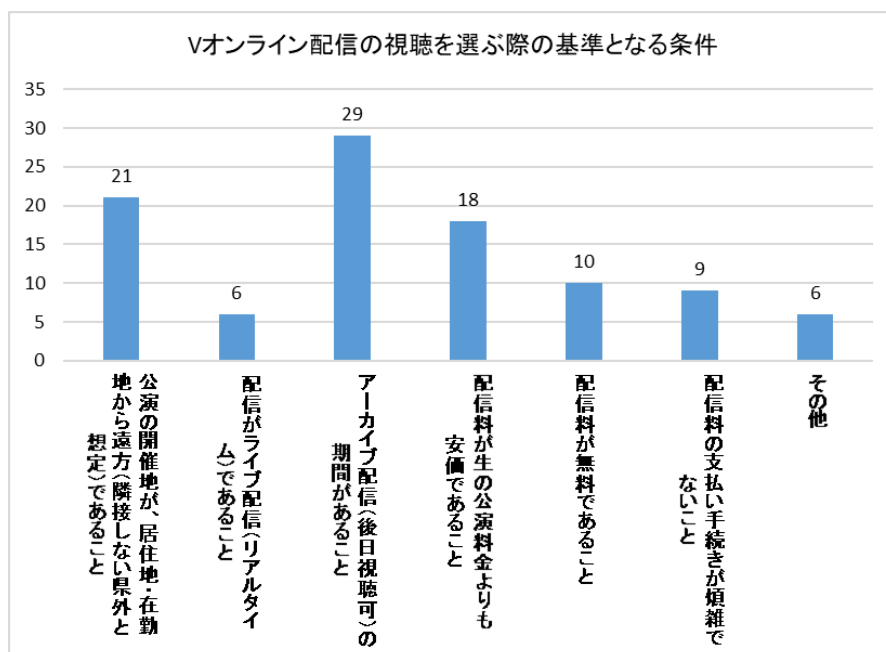
◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール・劇場等で公演のオンライン配信がある場合は、どのように鑑賞するかを聞くと、「来場を優先しつつオンライン配信も利用する」という回答が最も多く47.5%で、「(視聴環境があっても)来場のみで鑑賞をしたい」の45%をわずかに上回った。



◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】(複数回答計 99 件)

配信視聴の条件は、「アーカイブ配信がある」が最も多い。「公演の開催地が遠方」「配信料が公演料より安価」も多めの傾向にある。



カ「DaBY アソシエイトコレオグラファー鈴木竜トリプルビル」【全回答数 n=22(件)】

◇公演ごとの来場者数とアンケート回答率は以下の通りである。

公演来場者数	来場者数(名)	席数(席)	入場率(%)
12/3(金)	143	160	89.4
12/4(土)	111	160	69.4
12/5(日)	129	160	80.6
計	383	480	79.8

A公演日別アンケート 回答数	回答数(件)	公演毎比率 (%)	回答率(%)
12/3(金)	11	50.0	7.7
12/4(土)	5	22.7	4.5
12/5(日)	6	27.3	4.7
計	22	100.0	5.7

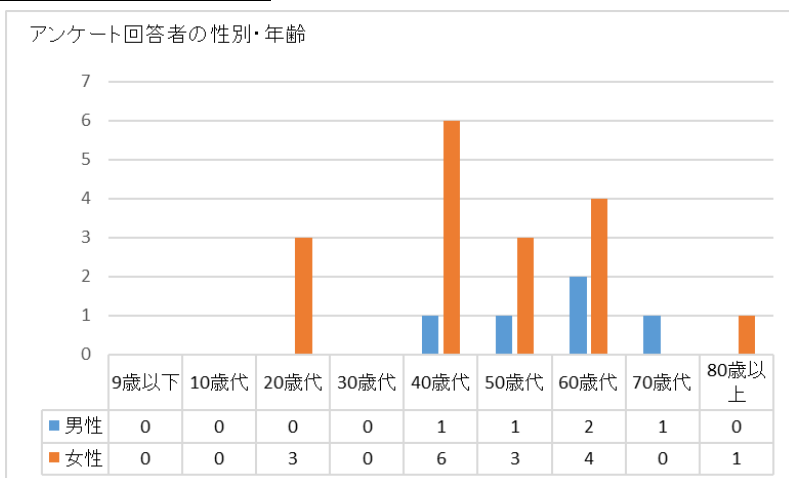
(I) 属性について

◇【B 性別】【C 年齢】 回答者は女性が8割近くを占める。

B性別	回答数	比率
男性	5	22.7
女性	17	77.3
計	22	100.0

C年齢	回答数	比率
9歳以下	0	0.0
10歳代	0	0.0
20歳代	3	13.6
30歳代	0	0.0
40歳代	7	31.8
50歳代	4	18.2
60歳代	6	27.3
70歳代	1	4.5
80歳以上	1	4.5
計	22	100.0

◇【性別】×【年齢】



女性の年齢層は 40 歳代が最も多いものの、20 歳代から 80 歳代までの幅があった。男性は 40 歳代～70 歳代のみである。

◇【E 職業】

会社員と無職が 5 件ずつで約半数を占めつつ、他の職業にもすべて回答があった。

E職業	回答数	比率
会社員	5	22.7
自営業	3	13.6
公務員	1	4.5
フリーランス	2	9.1
専業主夫・主婦	3	13.6
学生	1	4.5
無職	5	22.7
その他	2	9.1
計	22	100.0

◇【D 居住地】名古屋市の比率が約 7 割で多くを占めた。

D居住地	回答数	比率
愛知県 名古屋市	15	68.2
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	2	9.1
愛知県 西三河	1	4.5
岐阜県 岐阜	1	4.5
三重県	1	4.5
大阪府	1	4.5
その他	1	4.5
計	22	100.0

◇【D 居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地を愛知県名古屋市とそれ以外に区分し性別、年齢の傾向を試みると、名古屋市以外の回答者は 7 件と少なくなるものの、性別では名古屋市は女性比率が若干高めの傾向がみられた。

居住地×性別	回答数(件)			比率(%)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
愛知県 名古屋市	3	12	15	20.0	80.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	2	5	7	28.6	71.4	100.0
計	5	17	22	22.7	77.3	100.0

居住地×年齢	回答数(件)							
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
愛知県 名古屋市	2	0	4	4	4	0	1	15
愛知県 名古屋市以外 すべて	1	0	3	0	2	1	0	7
計	3	0	7	4	6	1	1	22
居住地×年齢	比率(%)							
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
愛知県 名古屋市	13.3	0.0	26.7	26.7	26.7	0.0	6.7	100
愛知県 名古屋市以外 すべて	14.3	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	100
計	13.6	0.0	31.8	18.2	27.3	4.5	4.5	100

(Ⅱ) 公演について

◇【G 公演情報入手先】【J 来場動機】(複数回答)

愛知県芸術劇場の DM、情報誌、ウェブサイトからの情報のほか、同時に友人・知人からの情報も多くなっている。来場動機については、「ダンスが好き」「出演者への興味」の回答が 17 件ずつで他よりも際立つ。「出演者への興味」は、公演テーマや演目への興味よりも多かった。

G 情報入手先	回答数
愛知県芸術劇場からの DM	9
チラシ	7
情報誌 AAC	8
ポスター・看板など(愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅)	4
メルマガ(劇場メンバーズニュース)	6
新聞	0
テレビ・ラジオ	0
雑誌	2
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	7
他のウェブサイト	1
Twitter	2
Facebook	5
YouTube	0
フリーペーパー	1
友人・知人からの情報	8
その他	4
計	64

J 来場動機	回答数
ダンスが好き	17
公演の内容・テーマに興味があった	8
演目に興味があった	3
出演者に興味があった	17
出かけやすい曜日・開演時間だった	8
知人・友人・家族から誘われた	3
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った	0
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている	2
その他	2
計	60

◇【H 内容満足度】【I チケット価格満足度】

内容満足度は「とてもそう思う」「そう思う」で約 95%を占め非常に高い。チケット価格の満足度は「とてもそう思う」のみで 9 割近くを占め、より満足度が高かった。

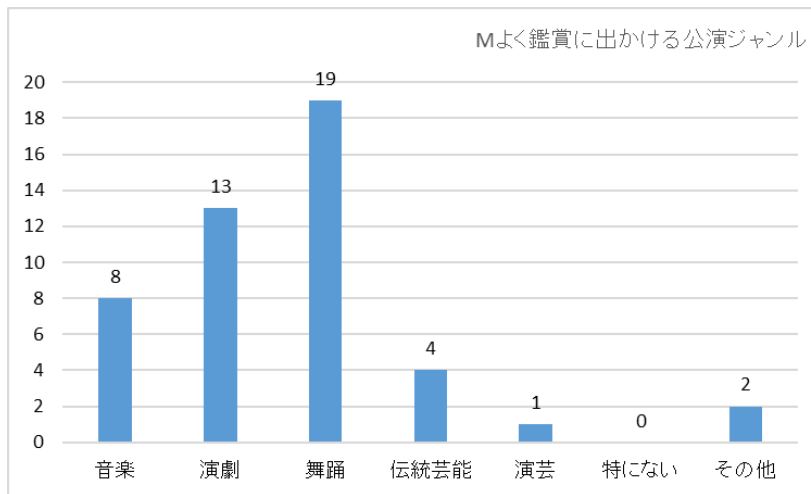
H 内容満足度	回答数	比率
とてもそう思う	16	72.7
そう思う	5	22.7
まあそう思う	1	4.5
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	22	100.0

I 価格満足度	回答数	比率
とてもそう思う	19	86.4
そう思う	2	9.1
まあそう思う	1	4.5
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	22	100.0

（Ⅲ）劇場について

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計 47 件）

舞踊ジャンルのほか、演劇、音楽の回答数が多い。



◇【L 劇場来場回数】【W「ダンスの系譜学」への来場】

愛知県芸術劇場への来場回数を聞くと、「年 1～3 回」の回答が一番多かった。また「ダンスの系譜学」公演への来場履歴を聞いたところ、来場者は 8 回答であった。

L劇場来場回数	回答数	比率
はじめて	2	9.1
年1～2回	8	36.4
年3～5回	6	27.3
年6回以上	6	27.3
計	22	100.0

W「TRIAD DANCE PROJECT」への来場	回答数	比率
来場した	8	36.4
来場していない	14	63.6
計	22	100.0

（Ⅳ）新型コロナウイルス感染症について

i 感染症対策

◇【N 劇場のコロナ対策】

N劇場のコロナ感染症対策は十分か	回答数	比率
とてもそう思う	9	40.9
そう思う	8	36.4
まあそう思う	2	9.1
あまりそう思わない	3	13.6
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	22	100.0

「とてもそう思う」「そう思う」の比率をあわせると8割近くにはなるものの、「そう思わない」回答も3件あり、理由に以下のコメントがあった。

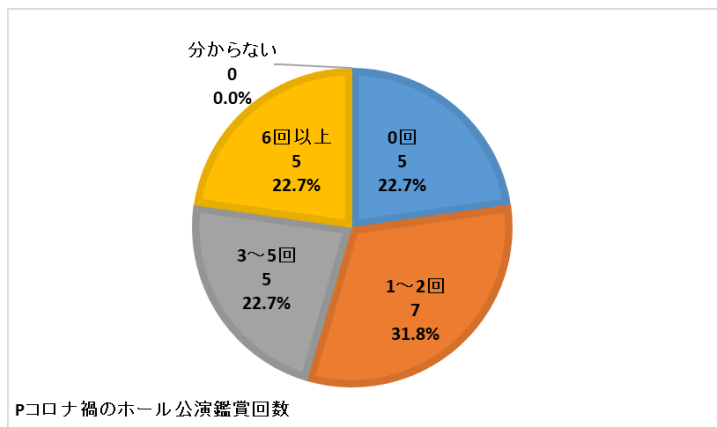
◇【O 対策が十分でないと感じた場合の理由】

「劇場内の空気が悪い」「感染が抑えられているとはいえ、客席が密で不安になりました。」
「席が満席で密だった。」

ii 感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

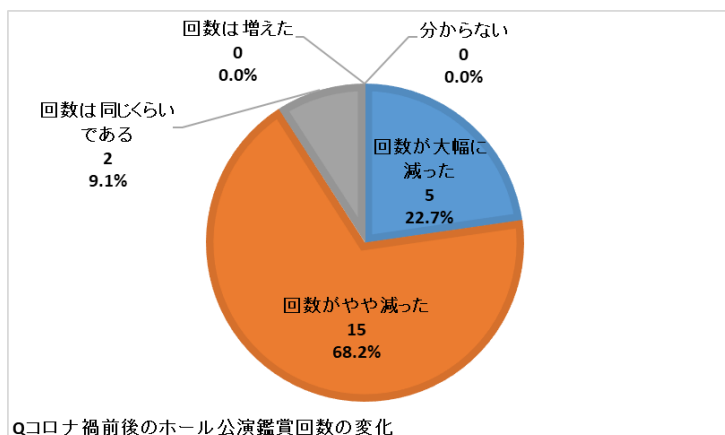
◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】

コロナ下 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞した回数は、以下のよう
に回答に幅があった。

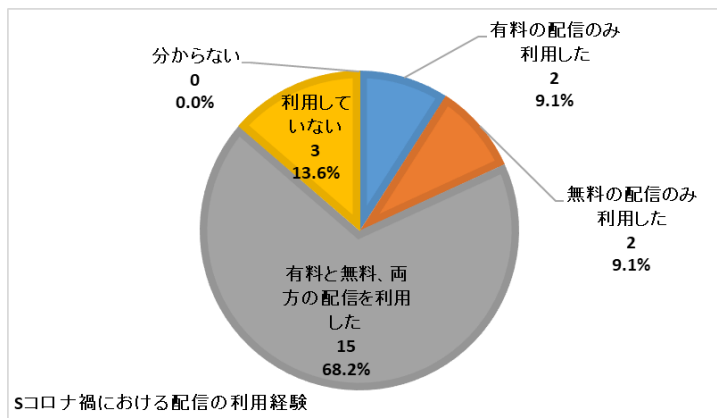


◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】

前項目における回数を、2019 年 4 月～9 月と比較した変化を聞くと、「やや減った」が
一番多く約 7 割を占めた。「大幅に減った」をあわせると約 9 割となる。

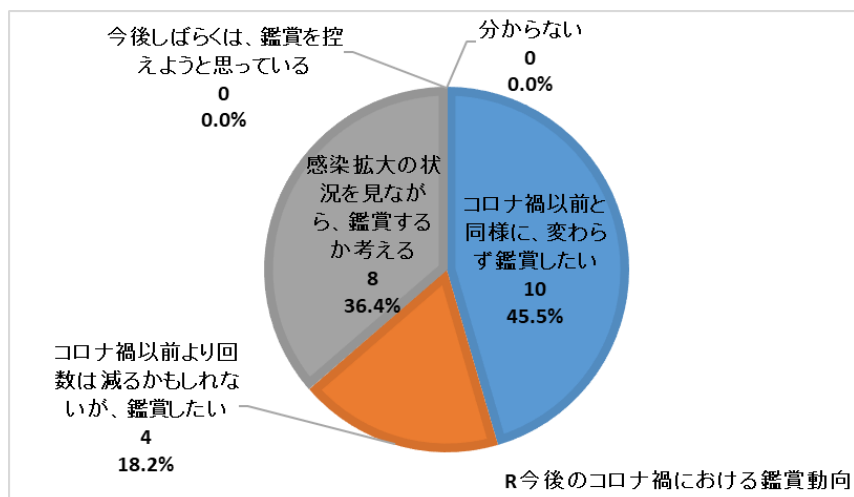


◇【S コロナ禍における配信の利用経験】 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等の公演を
オンライン配信を利用して視聴したかどうかは、「有料・無料両方の配信を利用した」回答
者が 7 割近くであった。これに有料、無料どちらかの利用を含めると 9 割近くを占め、多
くの回答者が配信を利用したことが分かる。



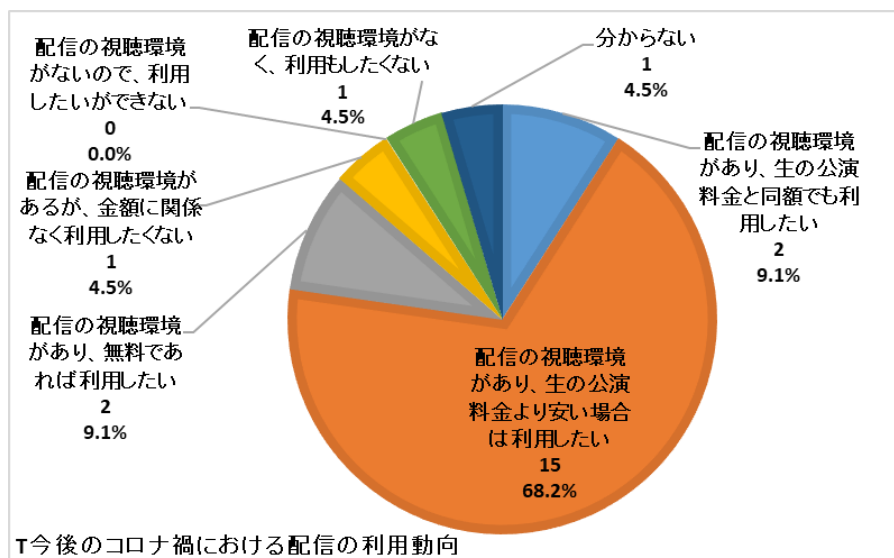
◇【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかを聞いたところ、「変わらずに鑑賞したい」という回答が一番多く約5割程度であった。一方で「感染拡大の状況を見ながら、鑑賞するか考える」という回答が約4割占め、ライブ鑑賞に慎重になる動向もうかがえる。



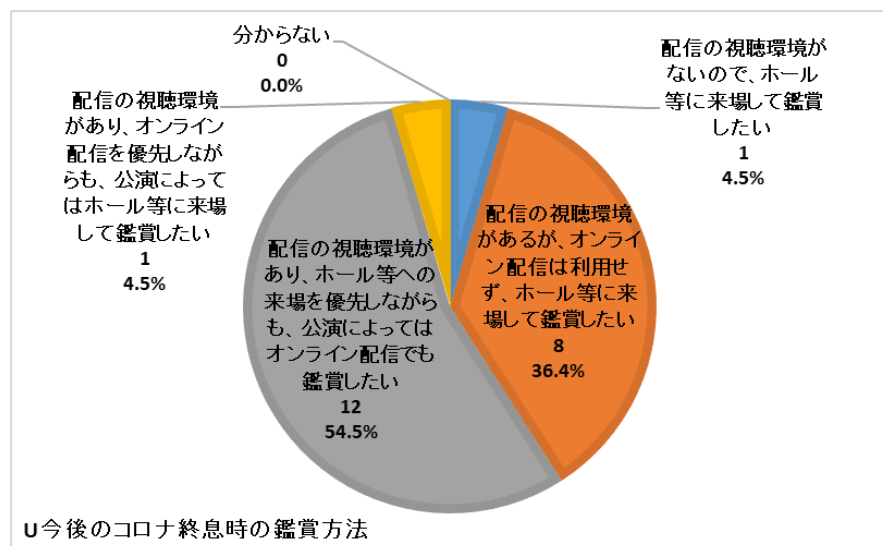
◇【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】

コロナ禍の配信視聴の利用については、「生の公演より安い場合は利用したい」が約7割と高い比率を占めた。



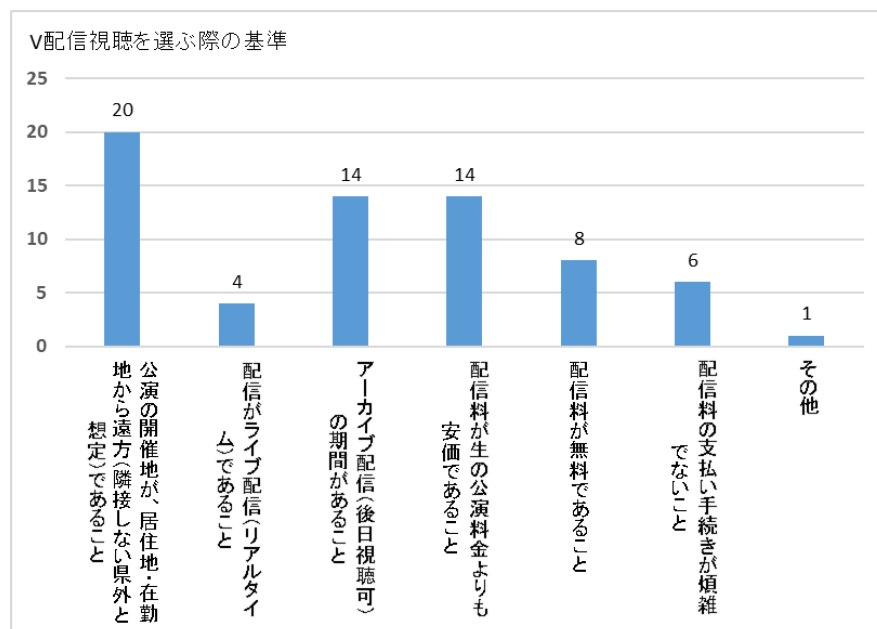
◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール・劇場等で公演のオンライン配信がある場合は、どのように鑑賞するかを聞くと、「来場を優先しつつオンライン配信も利用する」という回答が最も多く5割余りであり、「(視聴環境があっても)来場のみで鑑賞をしたい」の約4割を上回った。



◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】（複数回答計 67 件）

配信視聴の条件は、「公演の開催地が遠方」が最も多く、次には「アーカイブ配信がある」「配信料が公演料より安価」が多い傾向となった。「配信料が無料」は特に多くはなかった。



■久屋ぐるっとアート2021連携プロジェクト

キ「クラウン・マイム、人形劇」@愛知県芸術劇場【全回答数n=21（件）】

（I）属性について

◇【B 性別】【C 年齢】

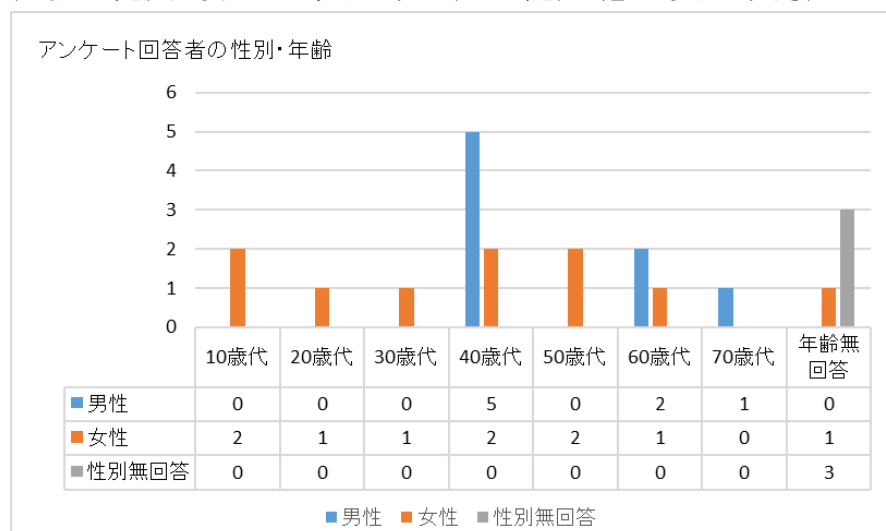
回答者は男性より女性の方が1割程度多く、年齢は40歳代が多い。

B性別	回答数	比率①	比率②
男性	8	44.4	38.1
女性	10	55.6	47.6
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

C年齢	回答数	比率①	比率②
9歳以下	0	0.0	0.0
10歳代	2	11.8	9.5
20歳代	1	5.9	4.8
30歳代	1	5.9	4.8
40歳代	7	41.2	33.3
50歳代	2	11.8	9.5
60歳代	3	17.6	14.3
70歳代	1	5.9	4.8
80歳以上	0	0.0	0.0
計	17	100.0	
無回答	4		19
計	21		100.0

◇【性別】×【年齢】

性別と年齢をあわせてみると、女性は年齢に幅があるが、男性は40代に集中している。



◇【E 職業】回答のあった16件のうち8件が会社員である。

E職業	回答数	比率①	比率②
会社員	8	50.0	38.1
自営業	0	0.0	0.0
公務員	0	0.0	0.0
フリーランス	1	6.3	4.8
専業主夫・主婦	0	0.0	0.0
学生	3	18.8	14.3
無職	3	18.8	14.3
その他	1	6.3	4.8
計	16	100.0	
無回答	5		23.8
計	21		100.0

◇【D 居住地】

D居住地	回答数	比率①	比率②
愛知県 名古屋市	9	50.0	42.9
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	6	33.3	28.6
愛知県 尾張海部	1	5.6	4.8
愛知県 東三河	1	5.6	4.8
その他	1	5.6	4.8
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

一番比率が高いのは「愛知県名古屋市」である。名古屋市の次に愛知県の尾張(名古屋市、海部、知多地域を除く)が多く、名古屋市とこの地域で回答者の7～8割を占めている。

◇【D 居住地】×【性別】【年齢】

回答者の居住地为愛知県名古屋市とそれ以外に区分すると、2 区分ともに回答者は 9 件ずつと少なくなるが、男女比は 2 区分で同一であった。

居住地×性別	回答数(件)				比率(%)			
	男性	女性	性別 無回答	計	男性	女性	性別 無回答	計
愛知県 名古屋市	4	5	0	9	44.4	55.6	0.0	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	4	5	0	9	44.4	55.6	0.0	100.0
居住地無回答	0	0	3	3	0.0	0.0	100.0	100.0
計	8	10	3	21	38.1	47.6	14.3	100.0

居住地×年齢	回答数(件)								
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	年齢無 回答	計
愛知県 名古屋市	0	0	1	4	1	1	1	1	9
愛知県 名古屋市以外 すべて	2	1	0	3	1	2	0	0	9
居住地無回答	0	0	0	0	0	0	0	3	3
計	2	1	1	7	2	3	1	4	21

居住地×年齢	比率(%)								
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	年齢無 回答	計
愛知県 名古屋市	0.0	0.0	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	100.0
居住地無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
計	9.5	4.8	4.8	33.3	9.5	14.3	4.8	19.0	100.0

(Ⅱ) 公演について

◇【G 公演情報入手先】(複数回答)

G情報入手先 (* 複数回答)	回答数
愛知県芸術劇場からのDM	2
チラシ	8
情報誌AAC	0
ポスター・看板など(愛知芸術文	1
メルマガ(劇場メンバーズニュース)	0
新聞	0
テレビ・ラジオ	0
雑誌	0
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	1
他のウェブサイト	1
Twitter	1
Facebook	1
YouTube	0
フリーペーパー	0
友人・知人からの情報	6
その他	6
計	27
無回答	0

（前ページ）公演情報の入手先は、「チラシ」「友人・知人からの情報」「その他」が多い。「その他」の6件うち4件は「Instagram」（ラストラダと明記が1件）であった。

◇【J 来場動機】（複数回答）来場動機は「入場無料のイベントであった」が一番回答が多く、次に「人形劇を生で鑑賞したかった」「開催時間の都合がよい」が続く。「たまたま立ち寄った」は特に多い傾向はなかった。

J来場動機（*複数回答）	回答数
たまたま立ち寄ったから	3
入場無料のイベントだったから	8
開催場所が滞在しやすかったから	5
開催時間の都合がよかったから	6
人形劇の内容に興味があったから	4
人形劇を生で鑑賞したかったから	7
久屋ぐるとアートに興味があった	3
知人・友人・家族から誘われたから	3
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持ったから	0
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしているから	1
その他	5
計	45
無回答	1

◇【H 内容満足度】

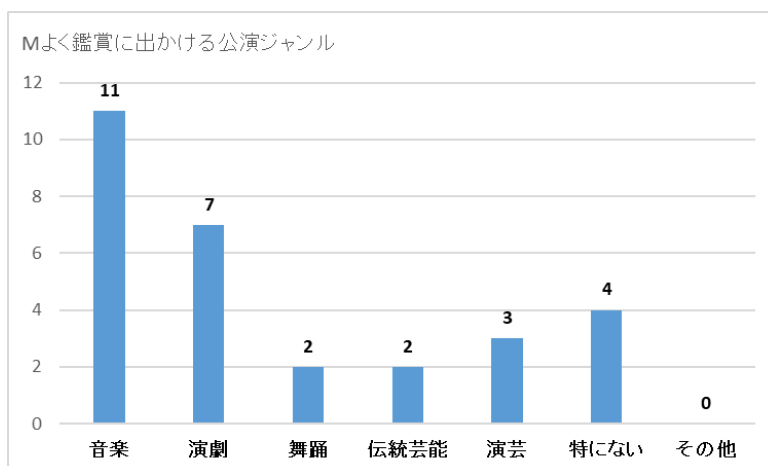
公演内容について満足度を聞くと、「とてもそう思う」の回答だけで約8割であり、それ以外は「そう思う」と回答しており、非常に満足度の高い公演であったといえる。

H内容満足度	回答数	比率①
とてもそう思う	17	81.0
そう思う	4	19.0
まあそう思う	0	0.0
あまりそう思わない	0	0.0
そう思わない	0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0
計	21	100.0
無回答	0	

（Ⅲ）劇場について

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計 29 件、回答者 18・無回答 3 件）

普段よく鑑賞する公演は「音楽」、「演劇」が多い。



(Ⅳ) 新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】コロナ下 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等での公演を鑑賞した回数を聞くと、「1～2 回」が一番多く全体の 4 割程度である。

Pコロナ禍のホール 公演鑑賞回数	回答数	比率①	比率②
0回	4	22.2	19.0
1～2回	8	44.4	38.1
3～5回	5	27.8	23.8
6回以上	1	5.6	4.8
分からない	0	0.0	0.0
	18	100.0	
無回答	3		14.3
	21		100.0

◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019 年 4 月～9 月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」が約 5 割であり、「やや減った」を合わせると約 6～7 割であった。

Qコロナ禍前後のホール公演 鑑賞回数の変化	回答数	比率①	比率②
(2021年は2019年より)回数が大幅に減った	9	50.0	42.9
(2021年は2019年より)回数がやや減った	4	22.2	19.0
(2021年は2019年と)回数は同じくらいである	3	16.7	14.3
(2021年は2019年より)回数は増えた	0	0.0	0.0
分からない	2	11.1	9.5
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

◇【S コロナ禍における配信の利用経験】

2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、「利用していない」が一番多く全体の 4 割程度である。

Sコロナ禍における配信の利用経験	回答数	比率①	比率②
有料の配信のみ利用した	1	5.6	4.8
無料の配信のみ利用した	5	27.8	23.8
有料と無料、両方の配信を利用した	4	22.2	19.0
利用していない	8	44.4	38.1
分からない	0	0.0	0.0
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

◇【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかを聞いたところ、「回数は減ったとしても鑑賞したい」「変わらずに鑑賞したい」に回答数が多く、あわせて全体の約 6～7 割であった。

R今後のコロナ禍鑑賞動向	回答数	比率①	比率②
コロナ禍以前と同様に、変わらず鑑賞したい	6	33.3	28.6
コロナ禍以前より回数は減るかもしれないが、鑑賞したい	7	38.9	33.3
感染拡大の状況を見ながら、鑑賞するか考える	4	22.2	19.0
今後しばらくは、鑑賞を控えようと思っている	1	5.6	4.8
分からない	0	0.0	0.0
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

◇【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】

コロナ禍の配信視聴の利用については、「生の公演より安い場合は利用したい」「無料であれば利用したい」に回答数が多く、あわせて全体の約 5～6 割であった。

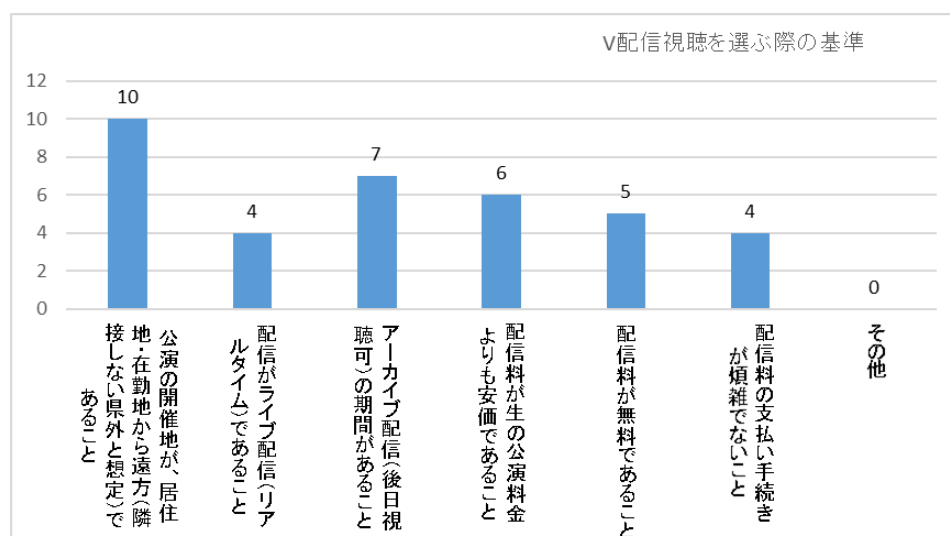
T 今後のコロナ禍配信視聴動向	回答数	比率①	比率②
配信の視聴環境があり、生の公演料金と同額でも利用したい	1	5.6	4.8
配信の視聴環境があり、生の公演料金より安い場合は利用したい	6	33.3	28.6
配信の視聴環境があり、無料であれば利用したい	5	27.8	23.8
配信の視聴環境があるが、金額に関係なく利用したくない	3	16.7	14.3
配信の視聴環境がないので、利用したいができない	2	11.1	9.5
配信の視聴環境がなく、利用もしたくない	0	0.0	0.0
分からない	1	5.6	4.8
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】

コロナ終息時に、ホール・劇場等でオンライン配信視聴を含めた公演の鑑賞方法を聞いたところ、配信視聴環境があってもホール等へ来場したいという回答と、来場を優先しながら配信も利用したいという回答が同数であった。

U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法	回答数	比率①	比率②
配信の視聴環境がないので、ホール等に来場して鑑賞したい	1	5.6	4.8
配信の視聴環境があるが、オンライン配信は利用せず、ホール等に来場して鑑賞したい	6	33.3	28.6
配信の視聴環境があり、ホール等への来場を優先しながらも、公演によってはオンライン配信でも鑑賞したい	6	33.3	28.6
配信の視聴環境があり、オンライン配信を優先しながらも、公演によってはホール等に来場して鑑賞したい	4	22.2	19.0
分からない	1	5.6	4.8
計	18	100.0	
無回答	3		14.3
計	21		100.0

◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】（複数回答計 36 件、回答者 15・無回答 6 件）配信視聴の条件は、「公演の開催地が遠方」が最も件数が多かった。



ク「金管五重奏演奏会」@Hisaya-odori Park【全回答数n=57（件）】

（I）属性について

◇【B 性別】【C 年齢】

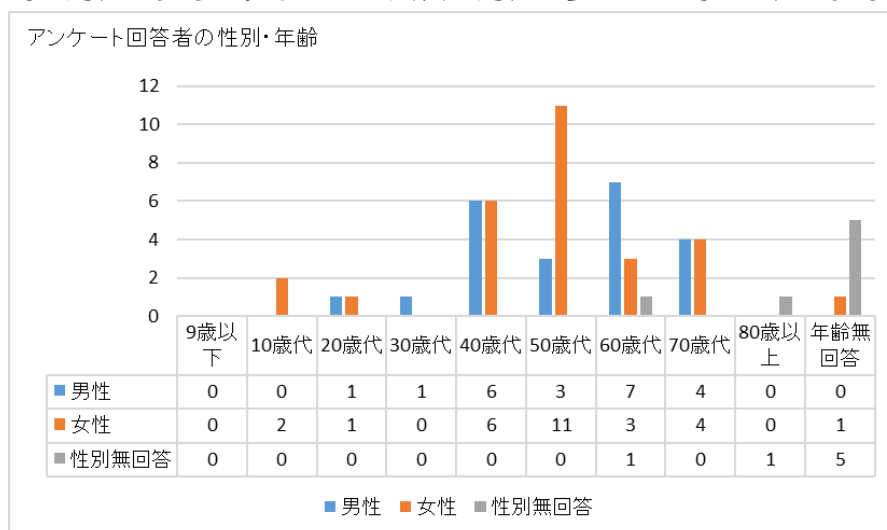
回答者は男性より女性の方が1割程度多く、年齢は40歳代～60歳代がそれぞれ2割程度で他より比率が高かった。

B性別	回答数	比率①	比率②
男性	22	44.0	38.6
女性	28	56.0	49.1
計	50	100.0	-
無回答	7	-	12.3
計	57	-	100.0

C年齢	回答数	比率①	比率②
9歳以下	0	0.0	0.0
10歳代	2	3.9	3.5
20歳代	2	3.9	3.5
30歳代	1	2.0	1.8
40歳代	12	23.5	21.1
50歳代	14	27.5	24.6
60歳代	11	21.6	19.3
70歳代	8	15.7	14.0
80歳以上	1	2.0	1.8
計	51	100.0	-
無回答	6	-	10.5
計	57	-	100.0

◇【性別】×【年齢】

性別と年齢をあわせてみると、50歳代は女性が特に多い（14件中11件と約8割）のに対し男性が少ない。また60歳代は男性が多いのに対し女性が少ない。



◇【E 職業】 会社員が約4割と他の職業に比べて比率が高い。

E職業	回答数	比率①	比率②
会社員	23	46.0	40.4
自営業	2	4.0	3.5
公務員	3	6.0	5.3
フリーランス	0	0.0	0.0
専業主夫・主婦	9	18.0	15.8
学生	2	4.0	3.5
無職	5	10.0	8.8
その他	6	12.0	10.5
計	50	100.0	-
無回答	7	-	12.3
計	57	-	100.0

◇【D 居住地】

D居住地	回答数	比率①	比率②
愛知県 名古屋市	18	35.3	31.6
愛知県 尾張(名古屋市、海部、知多地域以外)	17	33.3	29.8
愛知県 尾張海部	2	3.9	3.5
愛知県 尾張知多	4	7.8	7.0
愛知県 西三河	5	9.8	8.8
三重県	2	3.9	3.5
その他	3	5.9	5.3
計	51	100.0	-
無回答	6	-	10.5
計	57	-	100.0

一番比率が高いのは「愛知県名古屋市」である。名古屋市と同程度（約3割）に、愛知県の尾張（ただし名古屋市、海部、知多地域を除く市町）の回答もあった。

◇【D 居住地】×【性別】【年齢】 回答者の居住地を名古屋市とそれ以外に区分し、性別と年齢をみると、名古屋市では男性、名古屋市以外では女性の比率が高くなった。名古屋市以外の年齢区分のなかで最も比率の高い50代は、名古屋市と比較しても高い傾向にある。

居住地×性別	回答数(件)				比率(%)			
	男性	女性	性別 無回答	計	男性	女性	性別 無回答	計
愛知県 名古屋市	10	6	2	18	55.6	33.3	11.1	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	12	21	0	33	36.4	63.6	0.0	100.0
居住地無回答	0	1	5	6	0.0	16.7	83.3	100.0
計	22	28	7	57	38.6	49.1	12.3	100.0

居住地×年齢	回答数(件)									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上	年齢無 回答	計
愛知県 名古屋市	0	1	1	4	2	5	3	1	1	18
愛知県 名古屋市以外 すべて	2	1	0	8	11	6	5	0	0	33
居住地無回答	0	0	0	0	1	0	0	0	5	6
計	2	2	1	12	14	11	8	1	6	57
居住地×年齢	比率(%)									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳 以上	年齢無 回答	計
愛知県 名古屋市	0.0	5.6	5.6	22.2	11.1	27.8	16.7	5.6	5.6	100.0
愛知県 名古屋市以外 すべて	6.1	3.0	0.0	24.2	33.3	18.2	15.2	0.0	0.0	100.0
居住地無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	83.3	100.0
計	3.5	3.5	1.8	21.1	24.6	19.3	14.0	1.8	10.5	100.0

(Ⅱ) 公演について

◇【G 公演情報入手先】（複数回答）

G情報入手先（*複数回答）	回答数
愛知県芸術劇場からのDM	4
チラシ	13
情報誌AAC	1
ポスター・看板など(愛知芸術文)	4
メルマガ(劇場メンバーズニュース)	1
新聞	3
テレビ・ラジオ	4
雑誌	1
ウェブサイト(愛知県芸術劇場)	1
他のウェブサイト	2
Twitter	0
Facebook	1
YouTube	0
フリーペーパー	0
友人・知人からの情報	4
その他	24
*その他 うち 現場にて知った	21
計	63
無回答	12

◇【J 来場動機】（複数回答）

J来場動機（＊複数回答）	回答数
たまたま立ち寄ったから	36
入場無料のイベントだったから	9
開催場所が滞在しやすかったから	8
開催時間の都合がよかったから	8
コンサートの内容に興味があったから	15
コンサートを生で鑑賞したかったから	13
久屋ぐるとアートに興味があった	4
知人・友人・家族から誘われたから	3
テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持ったから	0
愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしているから	2
その他	3
計	101
無回答	0

（前ページ）公演情報の入手先は「当日現場で知った」という回答が 21 件であった。
来場動機も、たまたま立ち寄ったという回答が特に多い。一方で、チラシでの情報入手や、
コンサートの内容やライブへの興味による動機も一定数あがっている。

◇【H 内容満足度】

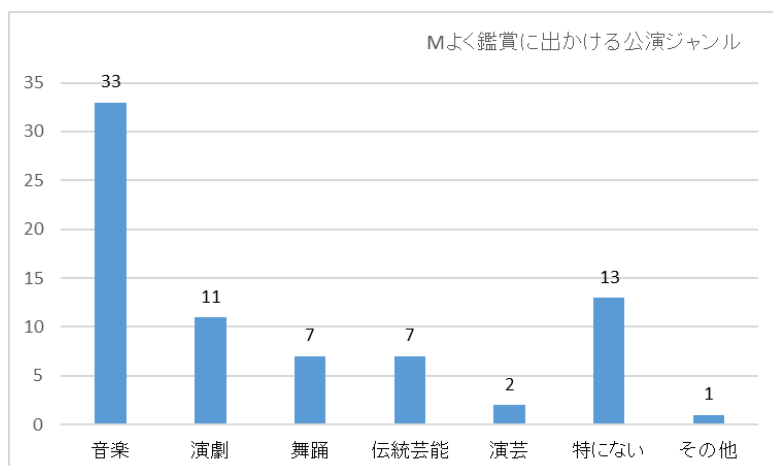
公演内容について満足度を聞くと、「とてもそう思う」「そう思う」の回答は、無回答を入れない場合は約 9 割であった。無回答を入れた場合も 8 割近くとなり、全体として満足度の高い公演であったといえる。

H内容満足度	回答数	比率①	比率②
とてもそう思う	34	70.8	59.6
そう思う	10	20.8	17.5
まあそう思う	4	8.3	7.0
あまりそう思わない	0	0.0	0.0
そう思わない	0	0.0	0.0
まったくそう思わない	0	0.0	0.0
計	48	100.0	—
無回答	9	—	15.8
計	57	—	100.0

（Ⅲ）劇場について

◇【M よく鑑賞に出かける公演ジャンル】（複数回答計 74 件、回答者 50・無回答 7 件）

普段よく鑑賞する公演は「音楽」が特に多く、「特にない」が次に多い。



(Ⅳ) 新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向

◇【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】

コロナ下 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞した回数を聞くと、「0 回」の回答が全体の半数以上を占めた。これに「1～2 回」を加えると全体の 7～8 割となった。一方で「6 回以上」の回答もあった。

Pコロナ禍のホール 公演鑑賞回数	回答数	比率①	比率②
0回	31	63.3	54.4
1～2回	10	20.4	17.5
3～5回	2	4.1	3.5
6回以上	5	10.2	8.8
分からない	1	2.0	1.8
計	49	100.0	—
無回答	8	—	14.0
計	57	—	100.0

◇【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】前項目における回数を、2019 年 4 月～9 月と比較した変化を聞くと、「大幅に減った」が約 5 割であり、「やや減った」を合わせると約 6～7 割を占めた。

Qコロナ禍前後のホール公演 鑑賞回数の変化	回答数	比率①	比率②
(2021 年は 2019 年より) 回数が大幅に減った	27	55.1	47.4
(2021 年は 2019 年より) 回数がやや減った	9	18.4	15.8
(2021 年は 2019 年と) 回数は同じくらいである	5	10.2	8.8
(2021 年は 2019 年より) 回数は増えた	1	2.0	1.8
分からない	7	14.3	12.3
計	49	100.0	—
無回答	8	—	14.0
計	57	—	100.0

◇【S コロナ禍における配信の利用経験】

コロナ下 2021 年 4 月～9 月に、ホール・劇場等の公演をオンライン配信を利用して視聴したかどうかを聞くと、「利用していない」が約 5～6 割を占めた。

Sコロナ禍における配信の利用経験	回答数	比率①	比率②
有料の配信のみ利用した	1	2.1	1.8
無料の配信のみ利用した	5	10.6	8.8
有料と無料、両方の配信を利用した	8	17.0	14.0
利用していない	29	61.7	50.9
分からない	4	8.5	7.0
計	47	100.0	—
無回答	10	—	17.5
計	57	—	100.0

◇【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】

今後もコロナ禍が続く状況で、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思うかについては、次ページの通りである。「変わらずに鑑賞したい」という回答が一番回答が多いながらも約 3 割程度にとどまった。「回数は減ったとしても鑑賞したい」「感染拡大の状況を見ながら、鑑賞するか考える」という回答もそれぞれ約 2～3 割を占め、コロナ禍を受けて、ライブ鑑賞に慎重になる動向結果となった。

R今後のコロナ禍鑑賞動向	回答数	比率①	比率②
コロナ禍以前と同様に、変わらず鑑賞したい	17	36.2	29.8
コロナ禍以前より回数は減るかもしれないが、鑑賞したい	13	27.7	22.8
感染拡大の状況を見ながら、鑑賞するか考える	10	21.3	17.5
今後しばらくは、鑑賞を控えようと思っている	2	4.3	3.5
分からない	5	10.6	8.8
計	47	100.0	-
無回答	10	-	17.5
計	57	-	100.0

◇【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】

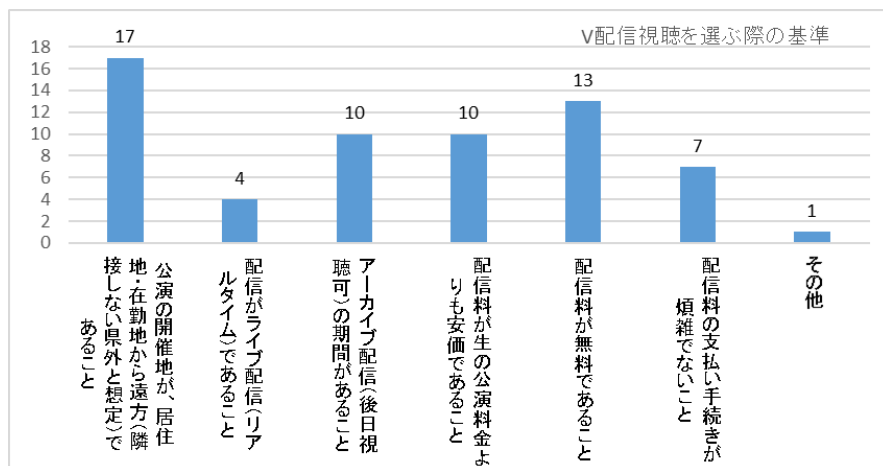
コロナ禍の配信視聴の利用については、「無料であれば利用したい」が約 3 割を占め、「生の公演より安い場合は利用したい」とあわせると約 5 割ほどであった。

T今後のコロナ禍配信視聴動向	回答数	比率①	比率②
配信の視聴環境があり、生の公演料金と同額でも利用したい	0	0.0	0.0
配信の視聴環境があり、生の公演料金より安い場合は利用したい	10	21.7	17.5
配信の視聴環境があり、無料であれば利用したい	16	34.8	28.1
配信の視聴環境があるが、金額に関係なく利用したくない	3	6.5	5.3
配信の視聴環境がないので、利用したいができない	6	13.0	10.5
配信の視聴環境がなく、利用もしたくない	4	8.7	7.0
分からない	7	15.2	12.3
計	46	100.0	-
無回答	11	-	19.3
計	57	-	100.0

◇【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】 コロナ終息時の鑑賞方法を聞いたところ、配信視聴環境があってもホール等へ来場したいという回答が一番多かったものの約 3 割にとどまった。一方で、来場を優先しながら配信も利用したいという回答は 2 割程度であった。

U今後のコロナ終息時の鑑賞方法	回答数	比率①	比率②
配信の視聴環境がないので、ホール等に来場して鑑賞したい	9	19.1	15.8
配信の視聴環境があるが、オンライン配信は利用せず、ホール等に来場して鑑賞したい	17	36.2	29.8
配信の視聴環境があり、ホール等への来場を優先しながらも、公演によってはオンライン配信でも鑑賞したい	11	23.4	19.3
配信の視聴環境があり、オンライン配信を優先しながらも、公演によってはホール等に来場して鑑賞したい	4	8.5	7.0
分からない	6	12.8	10.5
計	47	100.0	-
無回答	10	-	17.5
計	57	-	100.0

◇【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】「公演開催地が遠方」が最も多い。



（３）来場者アンケートの考察

（２）公演の結果から、まとめと考察を行う。

ア 回答者のおおまかな属性

「オーケストラフェスティバル」「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」「久屋ぐるっとアート」それぞれのアンケートの回答率は大きく異なった。そのため、回答者の性別、年齢、居住地の傾向を公演ごとに詳細に比較することは難しいが、各公演の傾向をまとめると以下の通りである。

「オーケストラフェスティバル」は、愛知県芸術劇場以外の３会場を含めて合計４公演を開催し、回収率は高いところは 70%に迫り、低いところは 10%以下と大きな開きがあった。長久手市、武豊町は紙媒体によるアンケートも実施しており、それが回答率の高さにも繋がった可能性がある。

「オーケストラフェスティバル」の回答者の性別、年齢の傾向をみると、愛知県芸術劇場、サランカホールでは男女比 6：4 で 50代と 60代の年代が多い点が共通していた。また長久手市文化の家では男女比が半々、武豊町民会館では 3：7 に近くなったが、２会場とも 60代、70代の年代が多かった。

愛知県芸術劇場のダンス公演「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」の回答者は、男女比がそれぞれ 3：7、2：8 と女性比率が高かった。年代は「ダンスの系譜学」が 50代、60代が多く、「鈴木竜トリプルビル」が 40代、60代が多い。

一方、「久屋ぐるっとアート」は「クラウン・マイム、人形劇」「金管五重奏」ともに男女比は 4：6 に近く、年代は 40歳代が最も多い。

回答者の年齢は、全公演ともに 9歳以下、10歳代、20歳代の若い世代の比率が低く、特に「オーケストラフェスティバル」の長久手市、武豊町の公演で年齢層が高い傾向にある。

回答者の居住地は、「オーケストラフェスティバル」は各開催地の基礎自治体、あるいは基礎自治体を含む地域が当然ながら多くを占めたが、その比率は会場によって異なっている。愛知県芸術劇場（コンサートホール）では名古屋市が約 50%、サランカホールでは岐阜市を含む岐阜地域が約 60%、武豊町民会館では武豊町が約 40%（知多地域が約 90%）、長久手市文化の家では長久手市が約 30%である。

「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」は、ともに愛知県芸術劇場小ホールでの開催であったが、名古屋市の回答者はそれぞれ 30%、約 70%と異なった。また、「クラウン・マイム、人形劇」は愛知県芸術劇場ビデオルーム、「金管五重奏」は久屋大通公園内で開催され、それぞれ名古屋市の回答者は約 50%、約 30%であった。

イ 行政区域を越えた回答者と初来場の回答者

（２）公演の結果（属性—D 居住地×性別・年齢項目）をもとに、居住する行政区域を越えて（遠方から）来場した回答者として、「開催地の基礎自治体とその地域以外から来場した回答者」を区分し、傾向を考察したい。まず性別に着目すると、「オーケストラフェス

ティバル」では4会場ともに、程度の差はあるものの、開催地の基礎自治体やその地域以外から来場した回答者は、共通して男性の比率が高くなる（女性比率が低くなる）傾向がみられた。「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」についても、2公演ともに開催地の名古屋市以外の回答者は、若干ではあるが男性の比率が高く（女性比率が低く）なった。なお、「クラウン・マイム、人形劇」では差異はなく、「金管五重奏」では名古屋市以外の回答者は、むしろ女性比率が高く（男性比率が低く）なった。

また「オーケストラフェスティバル」については年齢でも類似した傾向がみられる。愛知県芸術劇場では名古屋市以外の回答者に50歳代が多く、サラマンカホールでは岐阜地域以外、武豊町民会館では武豊町以外、長久手市文化の家では長久手市以外の回答者区分においていずれも60歳代が多い傾向にある。

ところで、「オーケストラフェスティバル」とダンス公演については、開催会場となったホール・劇場等に訪れる回数（L 劇場来場回数）を聞いており、それをまとめると以下のようになる。

	愛知県芸術劇場（ダンスの系譜学）	愛知県芸術劇場（鈴木竜トリプルビル）	愛知県芸術劇場（中部フィル）	岐阜市サラマンカホール（セントラル愛知）	武豊町民会館（名フィル）	長久手市文化の家（愛知室内）
はじめて	5.0% (2件)	9.1% (2件)	0.0% (0件)	13.3% (11件)	15.9% (35件)	17.7% (23件)
年1～2回	42.5%	36.4%	14.3%	33.7%	30.5%	77.7%
年3～5回	35.0%	27.3%	35.7%	30.1%	29.1%	
年6回以上	17.5%	27.3%	50.0%	22.9%	21.8%	
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	4.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

「はじめて」訪れた比率は、愛知県芸術劇場よりも市町ホールで比率が高くなっている。

「はじめて」訪れた回答者の傾向は（2）公演の結果で個別にみた通りである（L 劇場来場回数×年齢、居住地）が、サラマンカホールでは11件のうち、岐阜地域の居住者が5件、武豊町民会館では35件のうち知多地域の居住者が15件と約50%近くを占めており、遠方在住の回答者には限らなかった。

これらのことからおおまかではあるが、開催地の基礎自治体とその地域以外、すなわち居住する行政区域を超えて来場した回答者は、「オーケストラフェスティバル」「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」では男性比率が高くなる傾向があり、また「オーケストラフェスティバル」では愛知県芸術劇場では50歳代が、他の市町ホールでは60歳代の比率が高い傾向がつかめた。「オーケストラフェスティバル」に関しては、行政区域を超えた回答者に＜男性＞＜50歳代＞＜60歳代＞という属性比率傾向があり、遠方であっても企画内容に響いて来場する可能性の高い属性と仮定することもできるが、これを明らかにするためにはアンケートの回答方法や回収に精度を上げた次の調査が必要と考えられる。

一方、「オーケストラフェスティバル」の岐阜市、武豊町、長久手市での開催により、該当ホールに「はじめて」訪れたという回答者が各会場10%～20%と一定数みられた。特に岐阜市、武豊町では「はじめて」の来場者のうち約半数が開催地域の居住者である。全体の

回答者からみればわずかな規模ではあるが、そうした客層にリーチできたことは本事業開催による効果のひとつと考察できる。

ウ 回答者のライブエール来場の動向

ここでは、アンケート回答者が普段どのようなジャンルの公演を鑑賞し、またどのような動機で本事業公演の鑑賞に出かけたのかを取り上げることで、回答者の来場動向を把握したい。

「オーケストラフェスティバル」では長久手市を除く3公演で、普段よく出かけるホール・劇場等の公演ジャンルの回答を得られたが、いずれも「音楽」を特に多く回答していた。武豊町民会館では回答に「映画」等の具体的な選択肢を多くしたこともあり、音楽以外にも回答がばらついている。来場の動機について、会場ごとに回答数が多かったものを2つずつ挙げると、愛知県芸術劇場は「オーケストラへの興味」「演奏曲への興味」（26件ずつ）、サラムンカホールは「コンサートを生で鑑賞したかった」（49件）「演奏曲への興味」（48件）、武豊町民会館は「名古屋フィルへの興味」（145件）「コンサートを生で鑑賞したかった」（120件）であった。長久手市文化の家では、異なる形態の回答様式で「内容への興味」「料金が手頃」の回答件数が多かった。

また、「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」では、普段ホール・劇場等によく鑑賞に出かけるジャンルはともに「舞踊」が最も多く、「ダンスの系譜学」では「音楽」、「鈴木竜トリプルビル」では「演劇」が次に多くなっている。なお、来場の動機について回答数が多かったものを2つずつ挙げると、「ダンスの系譜学」は「ダンスが好き」（34件）「公演の内容・テーマへの興味」（31件）、「鈴木竜トリプルビル」は「ダンスが好き」「出演者への興味」（17件ずつ）であった。

「久屋ぐるっとアート」についてみると、普段よく出かけるホール・劇場等の公演ジャンルは「クラウン・マイム、人形劇」では「音楽」「演劇」であった。「金管五重奏」では「音楽」が多かったものの、「特にない」も目立った。また、来場の動機について回答数が多かったものを2つずつ挙げると、「クラウン・マイム、人形劇」では「入場無料のイベント」（8件）「人形劇を生で鑑賞したかった」（7件）、「金管五重奏」では「たまたま立ち寄った」（36件）「コンサートの内容に興味があった」（15件）であった。

「オーケストラフェスティバル」は昨年度から続くライブエール事業で、愛知県芸術劇場の企画により近隣市町ホールと連携して発信された内容である。また「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」は、愛知県芸術劇場における先駆的・実験的領域のダンス公演で、オリジナルの作品が複数創作されている。いずれの公演においても、曲目や演目などの構成や、オーケストラ、ダンサー等の出演者のなどの魅力が来場のきっかけとなった状況が考察できる。

なお、シリーズや同ジャンル公演への来場履歴については、「オーケストラフェスティバル」で他公演に来場したかどうか、サラムンカホールと武豊町民会館で回答を得た。サラムンカホールでは愛知県芸術劇場での公演に来場した回答者は約20%で、シリーズ中最後の開催となった武豊町民会館では、過去の3公演のうち1公演以上に来場した回答者は約

7%であった。またダンス公演では、「鈴木竜トリプルビル」公演の回答者から、回答数が22件と少ないものの、「ダンスの系譜学」の来場について回答を得て、うち8件（約40%）が来場したと回答している。これらの数字が「オーケストラフェスティバル」やダンス公演のリピーターに直結しているとはここでは言い切れない。しかし、特にライブエール事業により企画された「オーケストラフェスティバル」は、今後も同様な事業を継続的に行うことにより、リピーター層やコアファンが生まれていき、アンケート調査のみならずチケット購入者の履歴を丁寧に蓄積、分析することでそれらを明らかに出来る可能性はあるだろう。

一方「久屋ぐるっとアート」の「金管五重奏」は、他の事業・公演と比較して傾向が異なるようである。久屋大通公園の一角で開催され、たまたま立ち寄ったことが動機で鑑賞に繋がった層が一定数おり、この公演の回答者は、公演鑑賞ジャンルに「特にない」を選択するケースもみられた。本公演の回答率は5.7%と極めて少ないが、来場者はコロナ下にあっても合計1,000人（4回開催）が来場したという規模を考慮すれば、こうしたホール・劇場にはとられない屋外での開催で、たまたま立ち寄るケースが創出され、より多くの人に鑑賞してもらうという企画の趣旨は達成できたと考察される。

エ 新型コロナウイルス感染症と舞台芸術鑑賞の動向

ライブエール事業のテーマ「コロナ禍からの舞台芸術復興」の観点から、今回来場者アンケートに重点的に盛り込んだ項目は、コロナ感染症をめぐっての舞台芸術鑑賞の動向に関するものである。これらについて、長久手市文化の家を除く7公演で回答率5%以上の有効な回答を得た。

まず、劇場の感染症対策については「オーケストラフェスティバル（以下オケフェス）」とダンス2公演では感染症対策の満足度が異なり、「オケフェス」の方が満足度の高い結果であった。「オケフェス」は、企画の段階から全会場で間隔を空けた配席とすることを打ち出しており、そのことが愛知県芸術劇場のみならず、サランカホール、武豊町民会館にて功を奏し、回答者の安心に繋がったと考えられる。

次に、コロナ禍における舞台芸術鑑賞の実態を把握したい。2021年4月～9月のコロナ下6ヶ月におけるホール公演鑑賞回数は、「久屋ぐるっとアート」の「金管五重奏」に「0回」が約60%、「クラウン・マイム、人形劇」に「1～2回」が約40%である一方で、愛知県芸術劇場のオケフェス公演と「ダンスの系譜学」は「6回以上」が約40%となっており、公演によって回答に幅があることが分かる。また、コロナ前後の鑑賞回数の変化について、「大幅に減った」「やや減った」をあわせた比率を比較すると、「鈴木竜トリプルビル」が最も高く約90%、「ダンスの系譜学」は約80%であった。これら以外の公演はいずれも60%～70%であり、ダンスの公演では「減った」と回答した比率が高い傾向にある。

コロナ下におけるオンライン配信の公演視聴は、「利用していない」の傾向が50%以上を占めるのは、音楽ジャンルの「オケフェス」と「金管五重奏」の回答者である。「クラウン・マイム、人形劇」での同回答は約40%、「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」では約30%にとどまる。なお、ダンス公演では「（有料と無料）両方の配信を利用した」とい

う回答が「ダンスの系譜学」に 47.5%、「鈴木竜トリプルビル」では 68.2%と他公演よりも際立って高く、配信視聴に積極的な傾向がみられると把握できる。

これらのことから、今年度は昨年度に引き続き、コロナ下の舞台芸術鑑賞の状況が続くなかで、アンケートの回答者の少なくとも 60%以上（ダンスは 80%以上）が、ホール・劇場での公演鑑賞回数はコロナ前後で減少し、鑑賞活動が萎縮する傾向にあったといえるだろう。一方で、配信の公演視聴は、ダンス公演の回答者により積極的であり、ライブ鑑賞が萎縮したものの、配信視聴によって鑑賞活動を行っていたことが推察できる。

次に、今後コロナ禍が続く場合の鑑賞動向については、「コロナ以前と同様に、変わらずにホール・劇場等で公演を鑑賞したい」と回答した比率をみると、愛知県芸術劇場の「オケフェス」が最も高く 76.2%、サランカホールの「オケフェス」と「ダンスの系譜学」がともに約 60%、「ダンスの系譜学」が約 45%である。「クラウン・マイム、人形劇」と「金管五重奏」、武豊町民会館の「オケフェス」は約 30%と低い傾向にあった。また、コロナ禍の配信の公演視聴の動向を、無料や有料の条件を問わずに「利用したい」と「利用したくないもしくは利用できない」に分けてみると、2つのダンス公演では、他公演よりも高比率である、約 80~90%に近い回答者が「利用したい」としていた。

コロナ禍が続くことを想定した場合には、ホール・劇場での公演鑑賞は、公演ごとに傾向が異なっており、「コロナ以前と変わらずに鑑賞したい」という回答は約 30%から約 75%までの開きがあることが把握できた。また配信の公演視聴は、コロナ下の6ヶ月に配信視聴により積極的であったダンス公演の回答者に、やはり利用の傾向がつかめる。

最後に、コロナ終息時の鑑賞動向であるが、配信の視聴環境は問わずに「配信を利用せずにホール等に来場して鑑賞したい」という回答全体をみると、最も比率の高い公演で、「オケフェス」の愛知県芸術劇場が約 75%、サランカホールと武豊町民会館が約 70%となった。一方、比率の低い公演は「鈴木竜トリプルビル」「クラウン・マイム、人形劇」で、約 30~40%であった。また、「視聴環境がないため」にホールに来場するという回答者は、特に武豊町民会館で 28.2%と高い比率にある。

来場と配信の優先具合は、「ホール等への来場を優先しつつ、配信も利用」の回答は、「ホール等への来場もしつつ、配信を優先」よりも全公演で比率が高くなっており、来場よりも配信を優先する傾向はないようである。ただし、ダンス公演では、「ホール等への来場を優先しつつ、配信も利用」の比率が他公演よりも高く、「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」ともに、「配信を利用せずに、ホール等に来場して鑑賞したい」を上回っていた。

オンラインの配信視聴を選ぶ際に基準とする条件については、全体として共通して回答数が多かったものは、「公演の開催地が遠方（居住地・在勤地と隣接しない県外）」である。逆にどの公演においても少ない傾向にあったのは、「ライブ配信である」ことであった。その他に多く挙げたものは、「配信料が無料」（愛知県芸術劇場とサランカホールの「オケフェス」）、「アーカイブ配信の期間がある」（武豊町民会館の「オケフェス」と「クラウン・マイム、人形劇」）である。ただし、「ダンスの系譜学」では「アーカイブ配信の期間がある」が最も多く、「公演の開催地が遠方」が次であり、「鈴木竜トリプルビル」では「公演の開催地が遠方」が最も多く、「アーカイブ配信の期間がある」「配信料が公演料よりも安

価」が同数で挙げた。

コロナ終息後の鑑賞の方法をめぐっては、「オケフェス」の回答者に「配信を利用せずに、ホール等に来場して鑑賞したい」の比率が高い傾向にあるが、3公演ともこの回答だけで100%にはなっていない。「ホールに来場」しながらも、それだけに固執するのではなく、公演によっては配信視聴もするという回答が一定数を占めている。一方で、ダンス公演では、「配信を利用せずに、ホール等に来場して鑑賞したい」よりも、「ホール等への来場を優先しつつ、配信も利用したい」という回答比率が一番高くなっている。これらのことから、コロナ終息後は「ホール・劇場への来場のみ」というスタイルにとどまることなく、来場とオンライン配信の両方を楽しめるようなハイブリッドの鑑賞動向となっていく可能性が読み取れ、それは新たな舞台芸術鑑賞のニーズのひとつとも考えられる。

コロナ禍でもコロナ終息後であっても、今後は来場とオンライン配信のハイブリッドの公演開催に対応していくことは、十分に検討の余地がある。ただ、オンライン配信に関しては公演の「ジャンル」により観客の視聴に対する傾向が大きく異なり、また観客にとっては開催地がどこであるかということに左右され得る。まずは公演内容によって、客層（エリア、年代、嗜好等）の設定を戦略的に行うことが重要と考えられる。そして、配信視聴の環境がないという客層が一定数にいることも想定しつつ、こうした層に向けてホール・劇場がどう対応するのかも、あわせて検討していく必要があるだろう。

3 関係者アンケート調査の結果

関係者11名から得たアンケートの結果を、市町ホール担当者、実演芸術等の民間事業者、制作事務等担当者の順に記す。回答は、各団体の概要等は割愛して＜連携＞に関わる項目を中心とし、回答者のコメントは文末等に一部編集を加えて掲載する。

（1）市町ホール担当者

■あいちオーケストラフェスティバル 2021

ア 岐阜市サラマンカホール

回答者：岡田進司氏（指定管理者 B-DOO コミュニケーションズ株式会社所属）

○主な業務内容：会場提供、宣伝、券売、公演当日運営

質問	回答
オーケストラの自主公演実績	・（2017～19年度の3年間にプロのオーケストラ公演を）19回実施 ・（今回招聘のセントラル愛知交響楽団）自主公演として7回程度実施
連携のメリット	<u>公演経費を気にせず、アーティスト支援に貢献させていただけたことは光栄であった</u>
連携のデメリット	公演日が決まってから内容、広報、チケット発売、公演当日に至るまでの流れについて、こちらから問い合わせないとわからない状況が長く、動くに動けない不安な状態が続いた。 <u>愛知県芸術劇場発信で全ての会場主催者に向けて、事前に制作スケジュールを知らせて欲しかった。</u>
今後の連携における希望	（以下の順に選択回答） ①今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい ②自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい
愛知県芸術劇場へ期待すること	（以下の順に選択回答） ①自ホールの自主事業の広報・宣伝を、愛知県芸術劇場でお願いしたい ②すでに実施しているような、ホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい
あいちオーケストラフェスティバルの感想等	お客様、出演者にとって素晴らしい企画であった

イ 長久手市文化の家

回答者：生田創氏（事業係）

○主な業務内容：会場提供、宣伝、券売、公演当日運営

質問	回答
オーケストラの自主公演実績	・（2017～19年度の3年間にプロのオーケストラ公演を）3回実施 ・（今回招聘の愛知室内オーケストラ）自主公演として15回程度実施
連携のメリット	・ <u>予算面→入場料に還元でき、安価で多くの方々に観ていただけた。</u> ・ プログラムの柔軟性→こちらの希望を実現できた。 ・ 外部効果→4公演を一緒に周知できたことは集客以外の効果も大きい。（ソリストの石川さんへの反響が大きかった）
連携のデメリット	・ 4つの公演で足並みを揃えるために、方針が硬直的になる（コロナ緩和によるチケット販売数など、途中変更ができない） ・ 公的な視点やコンセプト、地域的な意義などが民間の事務局やオーケストラと共有しにくい。 ・ <u>スキームが多岐になることで全体像や進捗が把握しづらくなることと、業務範囲の明確化が難しく、お見合い落球的なミスが起こる。</u>
今後の連携における希望	（以下の順に選択回答）①今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい ②その他・・・長久手市の企画を愛知県芸術劇場や複数館で上演したい ③自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい ④自ホールと愛知県芸術劇場の2館で共同制作をしたい ⑤愛知県芸術劇場で企画制作された作品を、買い公演に近い形で実施したい
愛知県芸術劇場へ期待すること	（以下の順に選択回答）①今回のような、自主事業の公演企画や開催における連携をしたい ②すでに実施しているようなホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい ③愛知県芸術劇場の財源にて、市町村ホール公演向けの独自の助成金プログラムを考えてほしい ④愛知県芸術劇場のもつ、文化芸術や劇場に関する情報、運営ノウハウを共有したい ⑤その他・・・アーティストと劇場をつなげるコーディネーターの育成、あるいは中間支援組織的（アーツカウンシル的）な役割を持ってほしい
あいちオーケストラフェスティバルの感想等	・ 純粹に参加できて本当に良かったと思った。何よりオーケストラやソリストにとって単に演奏の機会を得るだけでなく、刺激になるようなプログラムを提供できたことが収穫であった。こうした緊張感は確実に聴衆に伝わり、一期一会の時間を提供するものと改めて実感した。これも今回の枠組みがあってできることである（愛知県芸術劇場への声がけに感謝）。 ・ コロナ禍におけるこうした取り組みのプロセスが、アーカイブズとして記録・保存され、未来の活用に向けて公開されることを望む。100年に一度の混沌は、文化芸術の存在意義を揺るがす困難に陥れましたが、そこから這い上がろうとする営為ほど人間の本質に迫るものではなく、そのことそのものが遺産なのではないかと思う。

ウ 武豊町民会館（ゆめたろうプラザ）

回答者：高橋洋子氏（NPO たけとよ）

○主な業務内容：会場提供、宣伝、券売、公演当日運営

質問	回答
オーケストラの自主公演実績	・（2017～19年度の3年間にプロのオーケストラ公演を）実施していない ・（今回招聘の名古屋フィルハーモニー交響楽団）自主公演として4回程度実施
連携のメリット	・オケ出演料、広報等の公演経費にホール負担がない点が最高のメリットであった。 ・事業予算が激減して、オケを招へいすることが難しくなってしまったので、久しぶりに地域の人たちにオケの演奏を聴いてもらうことができた。 ・協力金を法人に直接振り込んでもらえるシステムが非常にありがたかった。（自治体の歳入に入る場合は、歳出予算を組むことに困難が伴うため）
連携のデメリット	・ <u>内容を決めたりする時に、どこにどの話を持っていけばよいのか迷った。</u>
今後の連携における希望	（以下の順に選択回答） ①今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい ②自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい ※共同制作をやってみたいが、現状では実施する予算の確保が難しい。
愛知県芸術劇場へ期待すること	（以下の順に選択回答） ①今回のような、自主事業の公演企画や開催における連携をしたい ②愛知県芸術劇場の財源にて、市町村ホール公演向けの独自の助成金プログラムを考えてほしい ③すでに実施しているような、ホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい ④文化芸術やまちづくりに関する、公的補助金や民間助成金の情報を教えてほしい ⑤愛知県芸術劇場のもつ、文化芸術や劇場に関する情報、運営ノウハウを共有したい
あいちオーケストラフェスティバルの感想等	・ オケフェスは、元気が出る企画でとてもよかった（感謝）。 ・ <u>県内の市町を巻き込み、大いに刺激を与えてほしい。市町だけではなかなかできないことを一緒に企画してもらえるとありがたい。</u> ・ コロナ禍により舞台芸術に関わる人たちの生活がとても不安定な状況になっている中で、大所帯のオーケストラの公演の場を保障すること、そして地域の人たちに、オケの迫力ある演奏を聴くことで“生の舞台”の魅力を再認識してもらう良い機会になったと思う。

参考：令和 2 年度実施

■あいちオーケストラフェスティバル 2020

エ 春日井市民会館

回答者：小松淳子氏（事業推進グループ）

○主な業務内容：会場提供、宣伝、券売、公演当日運営

質問	回答
オーケストラの自主公演実績	・（2017～19 年度にプロのオーケストラ公演を）年 1 回程度実施 ・（今回のセントラル愛知交響楽団は）自主公演として過去に 3 回程度実施
連携のメリット	・<u>チケット代が安価なため、普段オーケストラに足を運ばないような様々な年代の方が音楽を楽しめたのは良かった。</u>
連携のデメリット	・自主事業ではもっと入場料は高く設定するため、安価すぎたのではと思う。あつという間に売れてしまい、<u>買えないことへのクレームを多く受けた。</u> ・公演日程が当財団に報告が無く、ホールが押さえられ決められていたのには驚いた。自主事業で 4 か月前にセントラル愛知交響楽団の公演を行っていたので、他のオーケストラでも…とは思う部分はあった。プロのオーケストラの演奏を聴く機会がほぼ無い会館であるため、<u>日程とオーケストラの決定には、共催相手である会館も含めて相談や会議の場を設けて欲しい。</u> ・チケット委託先のクラシック名古屋の休業日と当館の休館日が合わず、チケットの返券等のやり取りがスムーズにできなかった。 ・電子チケットがわかりづらかった。
今後の連携における希望	（以下の順に選択回答）①自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい ②今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい
愛知県芸術劇場へ期待すること	（以下に選択回答）①自ホールの自主事業の広報・宣伝を、愛知県芸術劇場でお願いしたい
あいちオーケストラフェスティバルの感想等	・今年はチケット代が 1000 円に上がっていたので、昨年度の当館との状況とはまた少し違っているかと思うが、あまりに安すぎるチケット代は、良い効果を生まないのではないかと思った。今回は苦境のオーケストラを救う、という意味合いが強かったと思うので、開催地でのクラシックのファンを増やす、ということが主眼では無かったと思うが、安価なため、他会場のチケットが買えなかった名古屋市などのクラシック・ファンがチケットを買い、結果市外から多くのお客様がお越しになり、人流が生まれる、ということになっていた。コロナの感染防止対策としては不安が生じた。 ・このような<u>公演の機会を得られたことは良かったと思うが、もう少し企画段階から連携館が加わる事が出来れば、一緒に制作をしているという気持ちにもなった</u>と思う。それはある意味非常にスムーズで良かった面もあるのだが、チケット業務をすることしか無かった、というところが正直な部分でもあり、共催という意味合いがやや薄いようにも感じた。

才 幸田町民会館

回答者：金澤大介氏（幸田町文化振興協会）

○主な業務内容：会場提供、宣伝、券売、公演当日運営

質問	回答
オーケストラの自主公演実績	・（2017～19年度の3年間にプロのオーケストラ公演を）2回実施 ・（今回の中部フィルハーモニー交響楽団は）自主公演としてはじめて実施
連携のメリット	・ <u>公演経費に係わる負担がほぼ無いのがメリットであった。</u> ・ スマホなどによる電子チケットを経験できたのは良かった。
連携のデメリット	・ <u>チケット単価が500円だった為、他の催し物とのバランスを考えて1,000円～2,000円程度でも良かったのではないかと</u>感じる。終了後の来場者の持続性がまったく感じられないこと。
今後の連携における希望	（以下に選択回答） ・ 今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい
愛知県芸術劇場へ期待すること	（以下の順に選択回答） ①愛知県芸術劇場の財源にて、市町村ホール公演向けの独自の助成金プログラムを考えてほしい ②今回のような、自主事業の公演企画や開催における連携をしたい ③すでに実施しているような、ホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい
あいちオーケストラフェスティバルの感想等	事業趣旨でもある文化芸術関係者への支援がどのくらい効果があったのかなどの声も是非聞いてみたい。来場者の意見も気になるので他館のアンケート結果も知りたい。

（２）実演芸術等の民間事業者

■トライアド・ダンス・プロジェクト ダンスの系譜学

■DaBY アソシエイトコレオグラファー 鈴木竜トリプルビル

ア Dance Base Yokohama

回答者：田中希氏

質問	回答
主な業務内容	＜ダンスの系譜学＞：企画構成、クリエイションサポート（稽古場提供、作品創作）、宣伝（SNS・メルマガ等）、資金調達（一部）、券売（一部） ＜鈴木竜トリプルビル＞：企画構成、クリエイションサポート（稽古場提供、作品創作）、宣伝[SNS・メルマガ等]、資金調達（一部）、券売（一部）
連携・共同製作のメリット	＜ダンスの系譜学＞＜鈴木竜トリプルビル＞ ・アーティストディレクション、テクニカルの両面における作品創作のサポート ・<u>愛知県芸術劇場に長年通っておられるお客様からのフィードバック</u> ・DaBY でクリエイションした作品の<u>劇場公演の機会提供</u> ・<u>若手アーティストの現場経験</u> ・<u>制作費の軽減</u> □Dance Base Yokohama で創作した作品を愛知県芸術劇場の実際の劇場空間にて仕上げ、本番を迎え、SNS やオンラインのアフタートークを含めた貴重なフィードバックをいただく、というサイクルのおかげで、アーティストらが作品づくりにおいて思考を十分に深められたと感じる。 □「ダンスの系譜学」「鈴木竜トリプルビル」の全作品を KAAT 神奈川芸術劇場にて再演できたことで、アーティストにとっては作品を深化できる機会となった。再演では、<u>新作の創作に比べて製作コストが削減できた分、アーティストやスタッフへ還元ができた。これにより経済的にもこの「創作→初演→再演」の循環がいか</u> <u>に舞台業界にとって持続性を持つものであるかを実感した。</u> ＜鈴木竜トリプルビル＞ ・ウェブサイトの新設や SNS 広告を中心とした広報の強化による公演のブランディング、集客の強化
連携・共同製作のデメリット	・（デメリットという訳ではないが）招待客や関係者チケットの枚数や詳細の連携がスムーズに行えず、やりづらさ、迷惑をかけた状況が発生したと思われる。
今後の連携における希望等	・来年度以降の愛知県芸術劇場との連携企画でも、<u>作品としての強度の高い、再演を前提とした作品づくりをできる環境を整備できれば幸甚</u>である。 ・翌年度以降に国内外の劇場で再演を実現することで、愛知県芸術劇場と Dance Base Yokohama の連携企画の発信、ひいては日本のダンス作品のさらなる発展に貢献できるのではないかと期待する。

■DaBY アソシエイトコレオグラファー 鈴木竜トリプルビル

イ ダンスハウス黄金 4422

回答者：浅井信好氏（施設オーナー／団体主宰）

質問	回答
主な業務内容	出演者募集、稽古場提供、アーティストサポート、広報、作品創作、公演当日のチケット受付
連携・共同製作のメリット	・ダンスハウス黄金 4422 では創作拠点を有することから、振付家の作品制作におけるサポートを行うことができるが、作品発表の機会を創出することが難しかったため、今回の連携事業によって創作から発表までのプロセスを得ることで、<u>参加した愛知県在住の若手ダンサーにとって、プロフェッショナルな環境に触れる機会を創出できたことが大きなメリットである。</u>
連携・共同製作のデメリット	・<u>連携事業のオファーを頂いた段階では、企画の建て付けや内容において不透明な部分も多くあったことから、当初の役割分担や共同製作におけるポジションが変化していった。</u>企画に対して、当館の関わり方が「共同クリエイション」なのか、「協力」なのかの不透明だったため、どこまで企画に関与するべきなのか判断が付かなかった。最終的には、「レジデンスの協力」という立場で業務にあたった。あわせて、本事業で制作した作品「proxy」のリハーサルディレクターを当館の芸術監督 浅井信好が担当した。<u>事前にクリエイションのスケジュールが無理なく組まれていれば、その必要性はなかった可能性もあるし、共同製作における当館の関わり方にリハーサルディレクション業務も組み込まれていれば良かった</u>と考える。 ・主催である愛知県芸術劇場と、主催及びプロダクションである DaBY のイニシアチブについても、事前に明確化しておいてもらえると業務やクレジット表記などの相談も円滑に進めることができた印象がある。
今後の連携における希望等	・愛知県内で活動する若手ダンサーを起用する企画などは、今後も連携していきたい。 ・愛知県内で活動する振付家育成などの企画を実施する場合は、今後も連携していきたい。

■久屋ぐるっとアート 2021 連携プロジェクト

クラウン・マイム、人形劇

金管五重奏演奏会

ウ 愛知人形劇センター

回答者：中康彦氏（事務局長）

○主な業務内容：愛知県芸術劇場にて人形劇公演の出演者を招聘、コーディネート

質問	回答
連携のメリット、デメリット、感想等	広報宣伝、助成金に感謝 (デメリットは回答なし)
今後の連携における希望等	(以下に選択回答) <久屋ぐるっとアートでは> ・今回のように、愛知県芸術劇場と連携してイベント（コンサートや公演）を実施したい ・愛知県芸術劇場のみならず、他の参加団体とも連携できるイベントを実施したい <久屋ぐるっとアート以外では> ・各種イベントや公演で、今後も連携していきたい
愛知県芸術劇場に期待すること	(以下の順に選択回答) ①自社の広報・宣伝に繋がることを、愛知県芸術劇場でお願いしたい ②今回のようなまちを活性化させ誘客につながるイベントを開催してほしい ③愛知県芸術劇場の財源にて、市内実演団体等の独自の助成金プログラムを考えてほしい ④文化芸術やまちづくりに関する、公的補助金や民間助成金の情報を教えてほしい

エ Hisaya-odori Park

回答者：藤田大輔氏

○主な業務内容：久屋大通り公園をコンサート会場として提供

質問	回答
連携のメリット、デメリット、感想等	<u>公園でプロの音楽と出会うことができる空間はすごくいい感じであった</u>
今後の連携における希望等	(以下に選択回答) <久屋ぐるっとアートでは> ・今回のように、愛知県芸術劇場と連携してイベント（コンサートや公演）を実施したい ・愛知県芸術劇場のみならず、他の参加団体とも連携できるイベントを実施したい <久屋ぐるっとアート以外では> ・各種イベントや公演で、今後も連携していきたい
愛知県芸術劇場に期待すること	(以下に選択回答) ①今回のようなまちを活性化させ誘客につながるイベントを開催してほしい

(3) 制作事務等担当者

■あいちオーケストラフェスティバル

ア クラシック名古屋 回答者：岩崎幸弘氏

質問	回答
業務内容	ホール・オーケストラの日程調整、チラシ作成、出演契約交渉、映像業務手配、チケットの販売、コンサート運営業務
業務を受託してよかった点	<u>(事業効果の点) プロオーケストラの横の連携ができた。</u> 具体的にはプログラム調整。日程調整。ホールとの連携強化。
業務を受託して不具合だった点	・公演に対するホールの位置づけの不確実さ。 ・あるホールのダブルブッキングという運営上の問題。 ・<u>公演の目的と実施に向けた各所の認識に少なからずズレが生じたので、事前の綿密なすり合わせが必要。</u>
今後の関わり方のイメージ	(以下に選択回答) 自社のノウハウを活かせる特定分野で、愛知県芸術劇場と業務提携をしたい
愛知県芸術劇場に期待すること	形を変えてもよいので、オーケストラとホールとの継続的な連携が図れるイベントを企画され、愛知の劇場運営活性化の核となっていただきたい。

■JAPAN LIVE YELL project @AICHI (全事業)

イ DECORATION LABORATORY 回答者：伊藤彰浩氏(愛知県芸術劇場委託職員)

質問	回答
業務内容	愛知県芸術劇場が芸団協に提案した事業を実施するため、関係団体等との連絡調整、契約事務、予算執行管理、広報物作成などの制作事務
業務を受託してよかった点	(業務委託の点) コロナ禍において、一定の報酬が得られたこと ※事業効果は「JAPANLIVE YELLproject @AICHI の感想」に記入
業務を受託して不具合だった点	助成事業に慣れていない団体や企業、事業に携わる者たちに対し、 <u>補助要項等を順守した事業運営を徹底することが大変</u> だった。助成金の取り扱いは厳格なものであるということが、伝わりにくいと感じたことが時々あった。
今後の関わり方のイメージ	(以下に選択回答) 愛知県芸術劇場からの業務委託の形で、出来るだけ小規模の業務を受託したい
JAPANLIVE YELLproject @AICHI の感想	ライブエール事業は、10 分の 10 助成であったことから、 <u>コロナ禍においても採算度外視で公演が開催でき、それにより、地元の企業やフリーランス、芸術団体等に資金を届けることができたのは、大きな成果</u> であったと思う。また、舞台から遠ざかっていた劇場の技術職員や舞台関係業者などは、本事業に係る公演で、久しぶりに本番を味わった者も多かったのではないかと。そして、昨今なかなか <u>劇場に足を運ぶことができなかったお客さまに、生のライブをお届けできたことは、大変意義あるもの</u> だったと考える。
愛知県芸術劇場に期待すること	この事業を契機に今後、愛知県芸術劇場が県内の文化振興団体や劇場、実演家団体など様々な芸術関係団体と連携を深めながら、それらの団体に対する支援を充実していくことで、県内の文化芸術振興を促進していけるのではと考えている。

（４）関係者アンケートの考察

（１）～（３）の結果について、（ア）市町ホール、（イ）実演芸術等の民間事業者の視点から、連携におけるメリット、デメリットや、今後の愛知県芸術劇場への期待を考察したい。

ア 連携によるメリット、デメリット

（ア）市町ホール

まずは「あいちオーケストラフェスティバル」の主催者、近隣市町ホールである。ライブエール事業として昨年度から継続する企画「あいちオーケストラフェスティバル」は、愛知県に拠点を置く４つのオーケストラの演奏会の開催により、コロナ禍で苦しむ実演家を支援するとともに、中部地区の近隣市町ホールと連携して各地で行うことで、県民や地域住民のライブ鑑賞の機会を創出し、文化的環境の満足度向上を狙ったものだった。連携した市町ホールは、今年度は岐阜市サランカホール、長久手市文化の家、武豊町民会館、昨年度は春日井市民会館、幸田町民会館である。市町ホールの主な業務内容は、会場となるホールの提供、公演の宣伝、チケット販売であった。

各実施ホールに単独で開催する場合と比べての今回の連携のメリットを、昨年度も含めて聞いたところ、公演経費予算の工面や心配がいらなかった点が多く寄せられた。それにより、アーティスト支援という目的が達成でき、また安価なチケット価格設定は集客に繋がり、多様な年代の客層にリーチできたというホールもあった。（昨年度は安価すぎることでデメリットに繋がった）。一方、連携のデメリットとして、愛知県芸術劇場、他ホールとの企画のために足並みを揃えなくてはならず、単独で臨機応変に動けない点や業務範囲が明確化しづらい点などが挙げられた。愛知県芸術劇場による制作スケジュールの事前告知がなかった点も挙げられており、こうした事前の準備が周到であれば業務範囲の明確化などは改善できた可能性もある。

（イ）実演芸術等の民間事業者

次に実演芸術団体等の民間事業者として、ダンス関係者 DanceBaseYokohama（以下 DaBY）、ダンスハウス黄金 4422（以下ダンスハウス黄金）を考察する。DaBY は「ダンスの系譜学」と「鈴木竜トリプルビル」公演、ダンスハウス黄金は「鈴木竜トリプルビル」公演にて、「共同製作」という関係の深い領域で連携を行った。DaBY は今回が初めての連携、共同製作で、公演主催者でもある。両者とも、今回の連携のメリットとして愛知県芸術劇場での公演機会（本番発表）、若手アーティスト、ダンサーの現場経験を得られたことを挙げており、DaBY は制作費の軽減をメリットに挙げ、さらに今回の作品を他劇場でも再演できたことがアーティストへの還元（支援）に繋がったとしている。

一方のデメリットとして大きな点は、ダンスハウス黄金より「連携事業のオファーの段階で企画の建て付けや内容において不透明な部分も多くがあったことから、当初の役割分担や共同製作におけるポジションが変化していった」とコメントがある通り、連携の具体的内容が不透明なまま事業が進んでいき、連携先が苦慮した点である。ダンスハウス黄金のコメントからは、上演作品の質を担保するために連携のあり方が「協力」から「共同製

作」の領域に踏み込んだ状況が読み取れる。「連携」をしていくなかで、お互いが影響を合い、インスピレーションを与え合いながら「連携」の内容が変化していくことも、舞台芸術の創造の世界ではあり得ることかもしれないが、今回こうした苦慮があったという事実はしっかりと受け止める必要があるだろう。

民間事業者の連携先の視点として、愛知人形劇センターと Hisaya-odori Park がある。両者とは「久屋ぐるっとアート」にて連携し、人形劇や金管五重奏の公演を行った。ともに愛知県芸術劇場企画主催「久屋ぐるっとアート」の参加団体であり、業務内容は愛知人形劇センターは人形劇公演のコーディネート、Hisaya-odori Park はコンサート会場の提供という、シンプルな連携である。Hisaya-odori Park は今回が初めての連携であったが、「公園でプロの音楽と出会える空間はすごくいい感じであった」との肯定的なコメントを得た。なお、両者ともデメリットのコメントはなかった。

イ 今後の連携や愛知県芸術劇場への期待

(ア) 市町ホール

あいちオーケストラフェスティバルの主催者である市町ホールには、今後の連携の形態の希望、及び愛知県芸術劇場への期待を、それぞれいくつかの選択肢のなかから選んでもらい、複数ある場合は優先順位をつけてもらった。それらをまとめると以下の通りとなる。

<今後の連携の形態>

	岐阜市 サラムン カホール	長久手市 文化の家	武豊 町民会館	春日井 市民会館	幸田 町民会館
☒ 今回のように愛知県芸術劇場が企画し、文化庁補助金を得て開催する公演があれば実施したい	①	①	①	②	①
☒ 自ホールと愛知県芸術劇場の2館で共同制作をしたい		④			
☒ 自ホールを含めた市町村ホールと愛知県芸術劇場の複数館で、共同制作をしたい	②	③	②※2	①	
☒ 愛知県芸術劇場で企画制作された作品を、買い公演に近い形で実施したい		⑤			
☒ その他		②※1			

※1 長久手市の企画を愛知県芸術劇場や複数館で上演したい

※2 共同制作をやってみたいが、現状では実施する予算の確保が難しい

＜愛知県芸術劇場への期待＞

	岐阜市 サラマン カホール	長久手市 文化の家	武豊 町民会館	春日井 市民会館	幸田 町民会館
ア 今回のような、自主事業の公演企画や開催における連携をしたい		①	①		②
イ 自ホールの自主事業の広報・宣伝を、愛知県芸術劇場でお願いしたい	①			①	
ウすでに実施しているような、ホール人材育成プログラムを積極的にしてほしい	②	②	③		③
エ 愛知県芸術劇場のもつ、文化芸術や劇場に関する情報、運営ノウハウを共有したい		④	⑤		
オ 文化芸術やまちづくりに関する、公的補助金や民間助成金の情報を教えてほしい			④		
カ 愛知県芸術劇場の財源にて、市町村ホール公演向けの独自の助成金プログラムを考えてほしい		③	②		①
キ その他		⑤※3			

※3アーティストと劇場をつなげるコーディネーターの育成、あるいは中間支援組織的（アーツカウンシル的）な役割を持ってほしい。

連携形態の希望は、今回の「あいちオーケストラフェスティバル」のような、愛知県芸術劇場が企画し、文化庁助成を得るような形態に優先順位を高くして選ぶホールが多かった。5館のうち4館が第一の希望としている。共同制作を希望するホールも多く、その場合は愛知県芸術劇場と2館のみでなく、他の市町村ホールを含めた複数館での希望が多い。一方で、愛知県芸術劇場で企画制作された作品を、買い公演に近い形で実施したいという希望はほとんどない。長久手市はむしろ、自前の企画作品を愛知県芸術劇場や複数館で上演することを望んでいる。

愛知県芸術劇場への期待は、ホールにより回答、考え方に違いがみられる。優先順位を一番あるいは二番とつけたホールが複数ある項目は、「今回のような自主事業の公演企画や開催における連携をしたい」と「自ホールの自主事業の広報・宣伝を愛知県芸術劇場でお願いしたい」である。また「ホール人材育成プログラム」は、優先順位に1番はないものの4館からと、最も多く要望があがり、「愛知県芸術劇場の財源による市町村ホール公演向けの助成金プログラム」の要望は3館からの要望があり、うち1番とした館もある。

これらを総じてみると、市町ホールにとって連携の形態は、恐らく予算面や収支バランスにおいての苦慮が要らない今回のような助成事業が多く望まれており、今後も公演企画開催での連携を愛知県芸術劇場に期待するホールが比較的多いようである。また、愛知県

芸術劇場と他の複数の市町村ホールで共同制作をしたいという希望も多く、推察するにコスト削減やノウハウ、情報を共有しながら開催することを想定していると思われる。しかし、共同制作に関しては、幸田町民会館のように連携の希望形態として挙げていないところ、あるいは長久手市のように共同制作よりも、自前の企画を他の市町村ホールで開催することを優先して希望するところなど、今回の5館だけでも開きがある点には留意する必要がある。

一方で、愛知県芸術劇場への期待に3館以上から要望があるものとして、前述した公演企画開催の連携以外に、ホール人材育成プログラムの実施、市町村ホール公演向けの助成金プログラムの検討が挙げられている。長久手市文化の家からは、アーティストと劇場を繋げるコーディネーターの育成、中間支援組織的（アーツカウンシル的）な役割といった具体的なコメントもある通り、愛知県芸術劇場ですでに実施しているホール人材育成プログラムをより充実させていくのみならず、今後はそれらと関連付けながら市町村ホール向けに助成金プログラムを独自に提供することも、中間支援の取り組みとして広域自治体の劇場には期待されている点と考察できる。

なお、サラムンカホールと春日井市民会館は、自ホールの自主事業の広報・宣伝を第一に挙げており、春日井市民会館ではその1点以外への要望は見受けられなかった。

（イ）実演芸術等の民間事業者

共同製作をはじめとする関係の深い領域で連携を行ったダンス公演の関係者からは、具体的な希望があがっている。今回の連携にて多くのメリットをコメントした DaBY は、それらを踏まえ今後も「再演を前提とした、強度の強い作品づくりができる環境を整備」することを希望している。今回の連携により、「作品を創作し、初演し、再演するという循環が舞台業界にとって持続性のあるものかを実感」したという通り、愛知県芸術劇場との共同製作の作品を国内外で「再演する」ことが、最終的には日本のダンス作品の発展に貢献するという、先駆的領域における連携ならではの力強いコメントがあった。また、ダンスハウス黄金は、「愛知県内の若手ダンサーを起用する企画や、振付家などの育成の企画において連携したい」という、ダンスハウス黄金がもつ愛知県内のダンサーのネットワークをいかすような、具体的な内容の提案があった。

一方、「久屋ぐるっとアート」の関係者（愛知人形劇センター、Hisaya-odori Park）は、ともに今後も引き続き愛知県芸術劇場や他団体とも連携して「久屋ぐるっとアート」のイベントに取り組みたく、またそれ以外でも連携したいという意向であった。

また、今後の愛知県芸術劇場への期待をいくつかの選択肢から選んでもらったところ、Hisaya-odori Park も愛知人形劇センターも「今回のようなまちを活性化させ誘客につながるイベントを開催してほしい」に選択があった。Hisaya-odori Park は異業種の民間事業者で、今回の連携により「公園でプロの音楽と出会える空間」が実現したといえ、こうしたまちを活性化させていくイベントが今後も期待されている。なお、愛知人形劇センターはそれ以外に求めるものに、「自社の広報・宣伝」「市内実演団体等の独自の助成金プログラム」「文化芸術等の補助金助成金の情報提供」を選択しており、こちらはいわば舞台芸術

の同業分野の民間事業者として、愛知県芸術劇場からのより直接的な支援を求めているとも見受けられ、前述した市町ホールの要望とも重なる。

ウ 制作事務等担当者からみた本事業

以上、本事業の主催者・協力者の視点での回答を整理したが、最後に、制作事務等を担当したクラシック名古屋と DECORATION LABORATORY のコメントを取り上げたい。クラシック名古屋は「あいちオーケストラフェスティバル」において日程調整から出演者交渉、当日運営までの制作に関わり、DECORATION LABORATORY は公演を問わず、本助成事業全体の予算執行管理を含めた制作事務を担当している。両者ともに愛知県芸術劇場の組織内業務の外部委託と捉えられる。

今回の業務メリットには「コロナ禍により一定の報酬が得られた」というコメントもあったが、今後の関わり方については、特定分野での業務提携を希望するものと小規模業務を希望するものがあり、恐らく事業者規模や方針により意向が異なっていた。

業務にあたっての不具合や困った点については、「あいちオーケストラフェスティバル」にて公演に対するホールの位置づけが不確実であった点や、全事業を通して助成金の要項順守の徹底運営の難しさなどが挙げられ、事業遂行に直接関わっていた担当者ならではの現場の率直なコメントを得られた。また「あいちオーケストラフェスティバル」では、目的と実施に向けて各所の認識にずれが生じ、事前の綿密なすり合わせが必要であるというコメントもあり、前述した市町ホール担当者からも挙げられた、事前の調整や連絡が十分に必要であった点と共通する課題が浮かび上がった。

一方で、両者からは、本助成によって、コロナ下でも採算度外視で公演が開催でき、芸術団体等に資金を届けられたことや、来場者に生のライブを届けられたこと、県内の4つのプロオーケストラの横の連携ができたことなど、事業効果と捉えられるコメントも得ている。そして今後の愛知県芸術劇場について、オーケストラとホールとの継続的な連携事業を企画し、「愛知の劇場運営活性化の核」となることや、本事業を契機として愛知県芸術劇場が県内の芸術関係団体と連携を深めて支援を充実させ、「県内の文化芸術振興を促進」していくことへの期待も寄せられている。

4 事業効果、連携・支援をめぐる

最後に、令和3年度「JAPAN LIVE YELL project @AICHI」実施による事業効果、及び本事業推進の上でキーワードとなった、市町ホールや民間事業者との「連携」についての考察を行いたい。

来場者のアンケートは回答率が低い公演も多く、詳細なクロス集計や公演ごとの比較などは難しかったが、事業効果のひとつとして考察できることは「オーケストラフェスティバル」の岐阜市、武豊町、長久手市の市町ホールでの開催により、各ホール・劇場に来館したことのない客層が訪れる機会を提供したことである。特に、岐阜市、武豊町では、規模はわずかではあるが、開催地域に居住しながら足を運んでいなかった客層にリーチできた。ただ、これらの効果は今回はあくまで予備調査の域を出ず、検証のためには、今後開催ホールの自主公演との比較などを行っていく必要があるだろう。

来場者数の観点からみれば、本事業実施により、延べ3,251名に対してライブを届けることが出来た。来場者数において全体の3分の1近くを占めるのが、Hisaya-odori Parkでの「久屋ぐるっとアート連携プロジェクト・金管五重奏演奏会」である。ホール・劇場にはとられない屋外での開催により、ふらっと立ち寄ることのできる環境を創出し、約1,000人に金管五重奏の演奏を楽しんでもらうことが出来た。「久屋ぐるっとアート連携プロジェクト」は、ソーシャルディスタンス等に配慮して舞台芸術イベントを行った、昨年度の同事業を継続し、今年度もコロナ禍にあって「楽しく安全な舞台芸術公演」を意識して企画されたものである。開催会場となったHisaya-odori Parkは、今回はじめて連携を行った異業種の民間事業者であり、この「連携」があったことで、より多くの人に見てもらおうという企画の趣旨が達成できたと考察できる。

「連携」をめぐるでは、関係者のアンケートでは様々なコメントが寄せられている。各関係者の具体的な連携内容や程度により、やや温度差があるものの、公演経費面や集客面、アーティスト支援におけるメリットをコメントする関係者が多くいた。愛知県芸術劇場が核となって市町ホールや民間事業者などの各関係者と連携し、ライブエール事業を展開したことで、助成の趣旨であるコロナ下でライブを各地域に届けること、アーティストを支援することの意義を現場で実感した関係者が多くいたようである。

一方で、複数の関係者から挙げられた今後の改善点は、連携の事業内容や業務内容・範囲において、調整や明確化が事前に充分に必要なことであった。本事業は、連携するホール・劇場や団体、事業者が複数また多岐にわたっていたため、業務がみえにくく、連携のあり方に不安を覚えた関係者もいたようである。

そもそも「連携」という言葉は、「同じ目的を持つ者どうしが協力し合って物事を行うこと」（『旺文社国語辞典第十版』）あるいは、「互いに連絡をとりながら、協力して物事を行うこと」（『明鏡国語辞典第三版』）である。連携事業は各関係者が協力の目的、内容を共有し、連絡を取り合いながら進めるはずで、今後愛知県芸術劇場には、それを円滑に進めるために磨きのかかった調整力がさらに期待されるだろう。

ところで、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（2012年、以下劇場法）」では「劇場、音楽堂等の関係者等の相互の連携及び協力等」が記されており、劇場、音楽堂等の設置

者、運営者、実演芸術団体等その他の関係者と、国、地方公共団体は、劇場法の目的の達成のために、相互に連携を図り協力を努めるとしている（第8条）。劇場法では、最終的な目的「心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現、並びに国際社会の調和ある発展に寄与する（第1条）」ことを達成するために、関係者の相互連携を促しているのである。

舞台芸術の分野はコロナ禍の影響を受けやすく、今後も指定管理料や運営補助金などを含め、どの事業者も予算面の減少が予想される。こうしたなかでは、ホール・劇場や民間事業者が「共同製作（制作）」といった「連携」によって予算面で協力し合い、新たな作品を創作する可能性は大いにありとされる。来場者アンケートからも把握できた、ホール来場と配信のハイブリッド開催などの新たな鑑賞スタイルへの対応も、こうした「連携」によって出来る面もあるだろう。それは、劇場法が目指す方向とも合致してくるはずである。

なお、愛知県芸術劇場と市町ホールについて、「あいちオーケストラフェスティバル」の市町ホールの愛知県芸術劇場への期待を参照しながら、今後のあり方に触れたい。公演の連携については、本事業のような愛知県芸術劇場の企画により文化庁補助金等を得る形態の要望が多く、これは本事業が市町ホールにとって手応えがあったことの証左でもある。

また、愛知県芸術劇場への期待には、今回のような連携公演以外に、すでに実施しているようなホール人材育成プログラムの実施や、愛知県芸術劇場の財源による市町村ホール公演向けの助成金プログラムが複数館から要望が挙がった。人材育成や公演助成は、愛知県内・中部地区内の基礎自治体のホール・劇場への直接的な「支援」の取り組みといえ、広域自治体設置の劇場のあり方のひとつとも考えられるだろう。

例えば、新潟県文化振興財団（1981年に新潟県設置）は、管理受託から指定管理者を含めて、新潟県民会館の管理を2014年度まで行ってきたが、2015年度からは指定管理を外れ（新潟市芸術文化振興財団が指定管理）、現在では新潟県内の公立文化施設や民間文化団体への助成支援を行っている。広域自治体設置の文化振興財団が自前の劇場の指定管理を外れ、県内の文化振興に専念するのは特異な事例ともいえるが、県内の文化振興のあり方のひとつとして、参照する意味はある。

愛知県芸術劇場は、大規模なオペラ上演にも対応できる大ホール、残響豊かなコンサートホール、舞台空間を可変できる小ホールと全国に誇るハードがあり、1992年の開館から自主事業、貸館いずれもこの地域の舞台芸術の創造と発信の場として文化振興をリードし続けてきた劇場である。現在、愛知県文化振興事業団は指定管理受託2期目で、勅使川原三郎氏を芸術監督に迎えてダンスの分野で新しい舞台芸術作品を創作するなど、愛知県外からも集客できる公演を発信している。

こうした愛知県の状況をみれば、愛知県芸術劇場（愛知県文化振興事業団）には、ホール・劇場の本来の役割である、舞台芸術の創造と発信による文化振興がまずは求められるはずである。一方で、今回の調査から一部関係者ではあるが、中部地区内の市町ホールから「支援」のニーズがあることも把握できた。「連携」や「支援」をめぐる要望は、ホール・劇場によって相当に異なることが予想されるため、今後は県内・中部地区内の市町村ホールの要望を丁寧に把握しながら、他県の事例なども踏まえて、愛知らしい文化振興のあり方を検討する必要がある。

【資 料】 各公演 来場者アンケート 質問票

■あいちオーケストラフェスティバル 2021（中部フィルハーモニー交響楽団・愛知県芸術劇場）アンケート

コロナウィルス感染症への対応に関する調査項目も含まれており、最大 22 問ありますが、所要時間は 8 分程度です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。＊必須

1. 本日の公演情報をどこで見掛けましたか（該当するものすべてをお聞かせください）。＊

【G公演情報入手先】

- ☐ 愛知県芸術劇場からのDM
- ☐ チラシ
- ☐ 情報誌 AAC
- ☐ ポスター・看板など（愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅）
- ☐ メルマガ（劇場メンバーズニュース）
- ☐ 新聞
- ☐ テレビ・ラジオ
- ☐ 雑誌
- ☐ ウェブサイト（愛知県芸術劇場）
- ☐ 他のウェブサイト
- ☐ Twitter
- ☐ Facebook
- ☐ YouTube
- ☐ フリーペーパー
- ☐ 友人・知人からの情報
- ☐ その他〔 〕

2.本日の公演（内容）はご満足いただけましたか。＊【H 内容満足度】

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

3. 本日の公演（チケット価格）はご満足いただけましたか。＊【「チケット価格満足度」

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

4. 本日の公演にご来場された動機をお聞かせください（複数回答可）。＊【J来場動機】

- ☐ オーケストラに興味があった
- ☐ 中部フィルハーモニー交響楽団に興味があった
- ☐ 指揮者に興味があった
- ☐ 演奏曲に興味があった
- ☐ ライブエールプロジェクトに興味があった
- ☐ コンサートを生で鑑賞したかった

☐ 会社員
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ フリーランス
☐ 専業主夫・主婦
☐ 学生
☐ 無職
☐ その他〔 〕

- ☐ 愛知県 名古屋市長古寺市
- ☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- ☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- ☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- ☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
- ☐ 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
- ☐ 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
- ☐ 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
- ☐ 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
- ☐ 岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
- ☐ 岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
- ☐ 三重県
- ☐ 東京都
- ☐ 大阪府
- ☐ その他〔 〕

☐ 音楽（クラシック音楽、合唱、ジャズ、民俗音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、その他音楽）
☐ 演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、その他演劇）
☐ 舞踊（バレエ、現代舞踊、民俗舞踊、その他舞踊）
☐ 伝統芸能（能楽・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎、邦楽、邦舞、その他伝統芸能）
☐ 演芸（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、その他演芸）
☐ 特にない
☐ その他〔 〕

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

14. 「あまりそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」と感じられた理由をお聞かせください。【O対策が十分でないと感じた場合の理由】

15. 本日の公演では、一定の割合で間隔をあけた座席としました。もし、間隔を空けない配席でもご来場いただけましたか。【X間隔を空けない配席時の来場可能性】

- ☐ 来場する
- ☐ 迷うが来場する
- ☐ 迷って見合わせる
- ☐ 見合わせる
- ☐ 分からない

16. ～ 22.

————— 【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】 7 項目 以下該当 —————

————— 全アンケート 共通 7 項目 —————

1. 昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、2021 年 4 月から 9 月までの 6 ヶ月の期間に、ホール・劇場等で生の公演を鑑賞する回数は何回ありましたか。＊

【P コロナ禍のホール公演鑑賞回数】

- ☐ 0 回
- ☐ 1～2 回
- ☐ 3～5 回
- ☐ 6 回以上
- ☐ 分からない

2. 上記の回数は、コロナ禍以前の 2019 年 4 月から 9 月までの 6 ヶ月と比べて変化はありますか。＊【Q コロナ禍前後のホール公演鑑賞回数の変化】

- ☐ (2021 年は 2019 年より) 回数が大幅に減った
- ☐ (2021 年は 2019 年より) 回数がやや減った
- ☐ (2021 年は 2019 年と) 回数は同じくらいである
- ☐ (2021 年は 2019 年より) 回数は増えた
- ☐ 分からない

3. 今後、コロナ禍の状況が続くなかでは、ホール・劇場等に来場して生の公演を鑑賞したいと思いますか。＊【R 今後のコロナ禍における鑑賞動向】

- ☐ コロナ禍以前と同様に、変わらず鑑賞したい
- ☐ コロナ禍以前より回数は減るかもしれないが、鑑賞したい
- ☐ 感染拡大の状況を見ながら、鑑賞するか考える
- ☐ 今後しばらくは、鑑賞を控えようと思っている
- ☐ 分からない

4. 昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、2021 年 4 月から 9 月までの 6 ヶ月の期間に、ホール・劇場等での公演を、インターネットによるオンライン配信を利用して鑑賞しましたか。＊【S コロナ禍における配信の利用経験】

- ☐ 有料の配信のみ利用した
- ☐ 無料の配信のみ利用した
- ☐ 有料と無料、両方の配信を利用した
- ☐ 利用していない
- ☐ 分からない

- 5. 今後、コロナ禍の状況が続くなかでは、ホール・劇場等での公演をオンライン配信を利用して鑑賞したいと思いますか。＊【T 今後のコロナ禍における配信の利用動向】**
- ☐ 配信の視聴環境があり、生の公演料金と同額でも利用したい
☐ 配信の視聴環境があり、生の公演料金より安い場合は利用したい
☐ 配信の視聴環境があり、無料であれば利用したい
☐ 配信の視聴環境があるが、金額に関係なく利用したくない
☐ 配信の視聴環境がないので、利用したいができない
☐ 配信の視聴環境がなく、利用もしたくない
☐ 分からない
- 6. 今後、新型コロナウイルス感染症が終息した際に、ホール・劇場等での公演のオンライン配信がある場合、あなたの鑑賞方法について一番近いものをお聞かせください。＊【U 今後のコロナ終息時の鑑賞方法】**
- ☐ 配信の視聴環境がないので、ホール等に来場して鑑賞したい
☐ 配信の視聴環境があるが、オンライン配信は利用せず、ホール等に来場して鑑賞したい
☐ 配信の視聴環境があり、ホール等への来場を優先しながらも、公演によってはオンライン配信でも鑑賞したい
☐ 配信の視聴環境があり、オンライン配信を優先しながらも、公演によってはホール等に来場して鑑賞したい
☐ 分からない
- 7. ホール・劇場等への来場よりもオンライン配信を選ぶ場合に、基準となる条件をお聞かせ下さい（複数回答可）。＊【V オンライン配信の視聴を選ぶ際の基準となる条件】**
- ☐ 公演の開催地が、居住地・在勤地から遠方（隣接しない県外と想定）であること
☐ 配信がライブ配信（リアルタイム）であること
☐ アーカイブ配信（後日視聴可）の期間があること
☐ 配信料が生公演料金よりも安価であること
☐ 配信料が無料であること
☐ 配信料の支払い手続きが煩雑でないこと
☐ その他〔 〕

■あいちオーケストラフェスティバル 2021（セントラル愛知交響楽団・サラマンカホール）アンケート

1. 本日の公演情報をどこで見掛けましたか（該当するものすべてをお聞かせください）。＊
- 【G公演情報入手先】
- ☐ ダイレクトメール（愛知県芸術劇場）
 - ☐ ダイレクトメール（サラマンカホール）
 - ☐ 情報誌 AAC（愛知芸術文化センター）
 - ☐ 季刊誌「SALAMANCA MATE」「ふれあいだより“さらまんか”」
 - ☐ チラシ
 - ☐ ポスター
 - ☐ テレビ・ラジオ
 - ☐ 新聞記事

☐ 会社員

- ☐ その他〔　　　　　　　　　〕

□ 愛知県 名古屋市

- ☐ その他〔 〕

☐ 音楽（クラシック音楽、合唱、ジャズ、民俗音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、その他音楽）

- ☐ その他〔 〕

☐ とてもそう思う

- ☐ まったくそう思わない

15. 「あまりそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」と感じられた理由をお聞かせください。【〇対策が十分でないと感じた場合の理由】

16. 本日の公演では、一定の割合で間隔をあけた座席としました。もし、間隔を空けない配席でもご来場いただけましたか。【×間隔を空けない配席時の来場可能性】

- ☐ 来場する
- ☐ 迷うが来場する
- ☐ 迷って見合わせる
- ☐ 見合わせる
- ☐ 分からない

17. ～ 23.

以下【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】
共通 7 項目 (P92～P93) 該当

以上

■あいちオーケストラフェスティバル 2021（名古屋フィルハーモニー交響楽団・武豊町民会館）アンケート ※以下の内容を Web と紙面の両方で実施

コロナウイルス感染症への対応に関する調査項目も含まれており、最大 23 問ありますが、所要時間は 8 分程度です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 本日の公演情報をどこで見掛けましたか（該当するものすべてをお聞かせください）。

【G公演情報入手先】

- ☐ ダイレクトメール（愛知県芸術劇場）
- ☐ ダイレクトメール（武豊町民会館）
- ☐ 情報誌「AAC」（愛知芸術文化センター）
- ☐ チラシ（折込み）
- ☐ チラシ（愛知芸術文化センター／愛知県芸術劇場）
- ☐ チラシ（武豊町民会館）
- ☐ チラシ（その他）
- ☐ ポスター
- ☐ テレビ・ラジオ
- ☐ 新聞（記事）
- ☐ 新聞（広告）
- ☐ 雑誌
- ☐ フリーペーパー
- ☐ 看板など（愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅）
- ☐ 吊りバナー広告など
- ☐ ウェブサイト（愛知県芸術劇場）
- ☐ ウェブサイト（武豊町民会館）
- ☐ 他のウェブサイト
- ☐ メールマガジン（愛知県芸術劇場）
- ☐ メールマガジン（武豊町民会館）
- ☐ Twitter（愛知県芸術劇場）
- ☐ Twitter（武豊町民会館）

7. あなたの性別【B性別】

8. あなたの年齢【C年齢】

9. あなたのお住まい【D居住地】

- 99

☐ はじめて
☐ 年 1～2 回
☐ 年 3～5 回
☐ 年 6 回以上

☐ 会社員
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ フリーランス
☐ パート、アルバイト
☐ 専業主夫・主婦
☐ 学生
☐ 無職
☐ その他〔 〕

- ☐ 愛知県 名古屋市
- ☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- ☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- ☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- ☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
- ☐ 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
- ☐ 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
- ☐ 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
- ☐ 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
- ☐ 岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
- ☐ 岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
- ☐ 三重県
- ☐ 東京都
- ☐ 大阪府
- ☐ その他〔 〕

- ☐ クラシック音楽
- ☐ ジャズ
- ☐ J-POP
- ☐ 演歌
- ☐ その他音楽
- ☐ 現代演劇、児童演劇、人形劇
- ☐ ミュージカル
- ☐ その他演劇
- ☐ バレエ
- ☐ ダンス
- ☐ 能楽・狂言

- ☐ 新聞記事
- ☐ 新聞広告
- ☐ 雑誌
- ☐ フリーペーパー
- ☐ 看板など（愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅）
- ☐ 吊りバナー広告など
- ☐ ウェブサイト（愛知県芸術劇場）
- ☐ ウェブサイト（長久手市文化の家）
- ☐ 他のウェブサイト
- ☐ メールマガジン（愛知県芸術劇場）
- ☐ メールマガジン（長久手市文化の家）
- ☐ Twitter（愛知県芸術劇場）
- ☐ Twitter（長久手市文化の家）
- ☐ Facebook（愛知県芸術劇場）
- ☐ Facebook（長久手市文化の家）
- ☐ LINE（長久手市文化の家）
- ☐ Instagram（長久手市文化の家）
- ☐ YouTube
- ☐ 友人・知人からの情報
- ☐ その他〔 〕

2. 本日は、あいちオーケストラフェスティバル 2021（全 4 公演）の 3 回目の公演です。

1 回目（10/15 愛知県芸術劇場・中部フィルハーモニー交響楽団）、2 回目（11/4 サラマンカホール・セントラル愛知交響楽団）の公演にはご来場いただきましたか。【W オーケストラフェスティバル（他公演）への来場】

- ☐ 愛知県芸術劇場での公演に来場した
☐ サラマンカホールでの公演に来場した
☐ 来場していない

3. 本日の公演（内容）はご満足いただけましたか。【H 内容満足度】

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

4. 本日の公演（チケット価格）はご満足いただけましたか。【1 チケット価格満足度】

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

5. 本日の公演にご来場された動機をお聞かせください（複数回答可）。【J来場動機】

- ☐ オーケストラに興味があった
☐ 愛知室内オーケストラに興味があった
☐ 指揮者に興味があった
☐ ソリストに興味があった

☐ まったくそう思わない

15. 「あまりそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」と感じられた理由をお聞かせください。【〇対策が十分でないと感じた場合の理由】

16. 本日の公演では、一定の割合で間隔をあけた座席としました。もし、間隔を空けない配席でもご来場いただけましたか。【×間隔を空けない配席時の来場可能性】

☐ 来場する

☐ 迷うが来場する

☐ 迷って見合わせる

☐ 見合わせる

☐ 分からない

17. ～ 23.

以下【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】

共通 7 項目 (P92～P93) 該当

以上

■あいちオーケストラフェスティバル 2021 (長久手市文化の家・愛知室内オーケストラ) アンケート

〔長久手市文化の家実施 紙面アンケート〕

アンケートのお願い

本日はご来場いただきありがとうございました。

今後の参考にさせていただきますので、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

●性別 ☐ 男性 ☐ 女性

●年代

☐ 9 歳以下 ☐ 10 代 ☐ 20 代 ☐ 30 代 ☐ 40 代 ☐ 50 代 ☐ 60 代 ☐ 70 代 ☐ 80 歳以上

※お子さま同伴の方 (お子さまの人数: 人、年齢: 歳)

●住まい

☐ 長久手市 (地区:) ☐ 愛知県 (市・町・村)

☐ 名古屋市 ☐ 県外 (都・道・府・県)

●文化の家は

☐ 今回初めて ☐ 数年に 1 回 (☐ 週・☐ 月・☐ 半年・☐ 年) に 1 回以上

1. 本日の公演はいかがでしたか?

☐ とても良かった ☐ 良かった ☐ 普通 ☐ あまり良くなかった ☐ 良くなかった

2. 初めて本公演のことを知ったきっかけを教えてください。

☐ 文化の家からの DM (郵送チラシ) ☐ 情報誌等 (誌名:)

☐ 文化の家の公式サイト・SNS ☐ 新聞 (新聞名:)

☐ チラシ (入手場所:) ☐ 口コミ

☐ 出演者の紹介・Web サイト・SNS ☐ その他 ()

3. 本日の公演にご来場にいただいた理由をお聞かせください (複数回答可)。

☐ 内容に興味を引かれたから ☐ 文化の家が主催するものだから

☐ 料金が手頃だから ☐ 出演者を知っているから

☐ 知人に誘われたから ☐ その他 ()

●本日のご感想、その他お気づきの点などございましたらお聞かせください。

(公演内容、開催時間、交通アクセス、広報、スタッフの対応についてなど)

コロナウィルス感染症への対応に関する調査項目も含まれており、最大 22 問ありますが、所要時間は 8 分程度です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。＊必須

- 106

☐ 会社員
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ フリーランス
☐ 専業主夫・主婦
☐ 学生
☐ 無職
☐ その他〔 〕

- 愛知県 名古屋市長
- 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
- 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
- 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
- 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
- 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
- 岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
- 岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
- 三重県
- 東京都
- 大阪府
- その他〔 〕

☐ 音楽（クラシック音楽、合唱、ジャズ、民俗音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、その他音楽）
☐ 演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、その他演劇）
☐ 舞踊（バレエ、現代舞踊、民俗舞踊、その他舞踊）
☐ 伝統芸能（能楽・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎、邦楽、邦舞、その他伝統芸能）
☐ 演芸（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、その他演芸）
☐ 特にない
☐ その他〔 〕

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

108

以下【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】

共通7項目（P92～P93）該当

■「DaBY アソシエイトコレオグラファー鈴木竜トリプルビル」アンケート

1. どちらの公演をご覧になりましたか。【A公演日】

2. 本日の公演情報をどこで見掛けましたか（該当するものすべてをお聞かせください）。

□ 愛知県芸術劇場からの DM

3. 愛知県芸術劇場にて10月1日-3日に開催した公演「TRIAD DANCE PROJECT ダンスの系譜学」には、ご来場いただきましたか。【Wダンスの系譜学への来場】

4. 本日の公演（内容）はご満足いただけましたか。【H 内容満足度】

- 109

5. 本日の公演（チケット価格）はご満足いただけましたか。【1 チケット価格満足度】

- ☐ とてもそう思う
- ☐ そう思う
- ☐ まあそう思う
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ まったくそう思わない

6. 本日の公演にご来場された動機をお聞かせください（複数回答可）。【J来場動機】

- ☐ ダンスが好き
- ☐ 公演の内容・テーマに興味があった
- ☐ 演目に興味があった
- ☐ 出演者に興味があった
- ☐ 出かけやすい曜日・開演時間だった
- ☐ 知人・友人・家族から誘われた
- ☐ テレビや新聞、情報誌の記事で興味を持った
- ☐ 愛知県芸術劇場主催の公演を毎回楽しみにしている
- ☐ その他〔 〕

7. 本日の公演のご感想や愛知県芸術劇場へのご意見・ご要望をお聞かせください。

【K感想・要望】

8. あなたの性別【B性別】

- ☐ 男性
- ☐ 女性

9. あなたの年齢【C年齢】

- ☐ 9 歲以下
☐ 10 歲代
☐ 20 歲代
☐ 30 歲代
☐ 40 歲代
☐ 50 歲代
☐ 60 歲代
☐ 70 歲代
☐ 80 歲以上

10. あなたのお住まい【D居住地】

- ☐ 愛知県 名古屋市
- ☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- ☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- ☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- ☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
- ☐ 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
- ☐ 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
- ☐ 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
- ☐ 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）

- ☐ 特にな
☐ その他〔 〕

15. 愛知県芸術劇場の新型コロナウイルス感染症対策は十分でしたか。【N劇場のコロナ対策】

- ☐ とてもそう思う
☐ そう思う
☐ まあそう思う
☐ あまりそう思わない
☐ そう思わない
☐ まったくそう思わない

16. 「あまりそう思わない」「そう思わない」「まったくそう思わない」と感じられた理由をお聞かせください。【O対策が十分でないと感じた場合の理由】

17. ～ 23.

以下【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】
 共通 7 項目 (P92～P93) 該当

以上

■久屋ぐるっとアート連携プロジェクト（クラウン・マイム・人形劇）

コロナウイルス感染症への対応に関する調査項目も含まれており、最大 17 問ありますが、所要時間は 7 分程度です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 本日の公演情報をどこで見掛けましたか（該当するものすべてをお聞かせください）。

【G公演情報入手先】

- ☐ 愛知県芸術劇場からの DM
☐ チラシ
☐ 情報誌 AAC
☐ ポスター・看板など（愛知芸術文化センター内・地下2階ビジョン・地下鉄栄駅）
☐ メルマガ（劇場メンバーズニュース）
☐ 新聞
☐ テレビ・ラジオ
☐ 雑誌
☐ ウェブサイト（愛知県芸術劇場）
☐ 他のウェブサイト
☐ Twitter
☐ Facebook
☐ YouTube
☐ フリーペーパー
☐ 友人・知人からの情報
☐ その他〔 〕

2. 本日の公演（内容）はご満足いただけましたか。【H 内容満足度】

- ☐ とてもそう思う
☐ そう思う
☐ まあそう思う

- ☐ 三重県
☐ 東京都
☐ 大阪府
☐ その他〔 〕

8. あなたの職業【E 職業】

- ☐ 会社員
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ フリーランス
☐ 専業主夫・主婦
☐ 学生
☐ 無職
☐ その他〔 〕

9. あなたの在勤地【F 在勤地】

- ☐ 愛知県 名古屋市
☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
☐ 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
☐ 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
☐ 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
☐ 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
☐ 岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
☐ 岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
☐ 三重県
☐ 東京都
☐ 大阪府
☐ その他〔 〕

10. あなたが普段よく出かける、ホール・劇場等の公演のジャンルをお聞かせください

（複数回答可）。【Mよく鑑賞に出かける公演ジャンル】

- ☐ 音楽（クラシック音楽、合唱、ジャズ、民俗音楽、ポピュラー音楽、歌謡曲、その他音楽）
☐ 演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、その他演劇）
☐ 舞踊（バレエ、現代舞踊、民俗舞踊、その他舞踊）
☐ 伝統芸能（能楽・狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎、邦楽、邦舞、その他伝統芸能）
☐ 演芸（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、その他演芸）
☐ 特にない
☐ その他〔 〕

11. ～ 17.

_____ 以下【新型コロナウイルス感染拡大を受けての公演鑑賞の動向】 _____
 _____ 共通 7 項目（P92～P93）該当 _____

以上

新型コロナウイルス感染症への対応に関する調査項目も含まれており、最大 17 問ありますが、所要時間は 7 分程度です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- ☐ 男性
- ☐ 女性

6. あなたの年齢【C年齢】

- ☐ 9 歲以下
☐ 10 歲代
☐ 20 歲代
☐ 30 歲代
☐ 40 歲代
☐ 50 歲代
☐ 60 歲代
☐ 70 歲代
☐ 80 歲以上

7 あなたのお住まい【D居住地】

- ☐ 愛知県 名古屋市
- ☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- ☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- ☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- ☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）
- ☐ 愛知県 東三河（豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡）
- ☐ 岐阜県 岐阜（岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡）
- ☐ 岐阜県 西濃（大垣市、海津市、養老郡、不破郡、安八郡、揖斐郡）
- ☐ 岐阜県 中濃（関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、郡上市、加茂郡、可児郡）
- ☐ 岐阜県 東濃（多治見市、中津川市、瑞浪市、恵那市、土岐市）
- ☐ 岐阜県 飛騨（高山市、飛騨市、下呂市、大野郡）
- ☐ 三重県
- ☐ 東京都
- ☐ 大阪府
- ☐ その他〔 〕

8. あなたの職業【E職業】

- ☐ 会社員
☐ 自営業
☐ 公務員
☐ フリーランス
☐ 専業主夫・主婦
☐ 学生
☐ 無職
☐ その他〔 〕

9 あなたの在勤地【F在勤地】

- ☐ 愛知県 名古屋市
- ☐ 愛知県 尾張（一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡、西春日井郡、丹羽郡）
- ☐ 愛知県 尾張海部（津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡）
- ☐ 愛知県 尾張知多（半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、知多郡）
- ☐ 愛知県 西三河（岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡）

発行：愛知県芸術劇場

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

調査委託：株式会社伊藤建築設計事務所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 1-15-15 桜通ビル エルイー創造研究室

発行年月：2022 年 1 月

